

(第一號樣式)

(用紙美濃形)

軍事救護願		救護ヲ受ケムクストル者						
本籍	住所	氏名	何某	何某	何某	何某	何某	何某
		生年月日						
		職業						
		被救資格						
		救護ノ種類ニ關スル希望						
		所屬部隊又ハ府	鎮守府					
		應召又ハ入營	年	月	日			
		兵種						
		官等級						
出願ノ由		(法第五條列記ノ生活不能ノ原因タル事由詳記)						

右之通ニ付救護被成下度候也

年 月 日  
知事 宛

出願人

戶主 其ノ他一家經理  
任ニ在ル者

何

某 印

備考

- 一 本樣式ハ救護ヲ受ケムトスル者一家二人以上ナル場合ノ樣式ナリ故ニ救護ヲ受ケムトスル者一人ノミナル場合ハ出願人ハ本人又ハ其ノ法定代理人トス
- 二 一家ニ於テ救護ヲ受ケムトスル者住所ヲ異ニスル場合ハ其ノ住所地市町村別ニ願書ヲ作製シ戶主其ノ他一家經理ノ任ニ在ル者ノ住所地市町村長ニ提出スヘシ
- 三 「被救護者資格」ノ欄ハ傷病兵ニ在リテハ兵役ヲ免セラレタル原因其ノ他ノ者ニ在リテハ下士兵卒又ハ傷病兵トノ續柄ヲ記載スルモノトス
- 四 「所屬部隊又ハ鎮守府」ノ欄傷病兵ニ在リテハ傷病ニ依リ兵役ヲ免セラレタル當時ノ部隊又ハ鎮守府ヲ記載スルモノトス



●軍事救護事務取扱ニ關スル件

(大正六年十二月十八日)  
(訓令甲第二十二號)

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場

軍事救護ハ生活ニ必要ナル限度ヲ超ユルヲ得サルヲ以テ收入アル者ニ對シテハ其ノ足ラサル所ヲ補フノ趣旨ヲ以テ取扱ヒ救護ノ程度方法ニ關シ意見ヲ付スルニ當リテハ慎重且公平ニ克ク被救護者ノ實情ヲ查察シテ眞ニ救護ノ趣旨ヲ貫徹セシムルニ努ムルト共ニ苟モ濫給ニ互ラサル様厚ク注意スヘシ又救護事務ニ關シテハ被救護者ノ住所地ト其ノ本籍地トノ間相互照復ヲ要スル事項夥カラサルヘキヲ以テ常ニ官公衙門ノ連絡ニ注意シ之カ往答事件ハ特ニ迅速處理ノ方針ヲ採リ救護上遺憾ナキヲ期スヘシ

●軍事救護法ニ依リ救護ヲ受クル者ノ取扱方

(大正七年一月十五日)  
(訓令甲第三號)

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場

軍事救護法ニ依リ救護ヲ受クル者アルトキハ郡長並市町村長ハ軍事救護名簿(第一號様式)ヲ設ケ落ニ其ノ異動ヲ整理スヘシ  
被救護者縣内他市町村ニ住所ヲ轉シタルトキハ市町村長ハ直ニ軍事救護名簿ノ謄本ヲ新住所地郡長住所ノ異動他郡長市町村長ニ送付スヘシ  
市町村長ハ軍事救護費受拂簿(第二號様式)ヲ設ケ其ノ受拂ヲ記載スヘシ

第一號様式

軍事救護名簿

(用紙美濃形)

指 令 年月日	救護開拓 年月日	救護 年月日	兵種、官等級、位勳、功、氏名	法第五 條ノ下 應召又ハ入隊年月日、 所屬部隊又ハ鎮守府	士卒又 兵役免除トナリタル當 時ノ部隊鎮守府又ハ病 院名並其ノ年月日	兵 ハ傷病 戰病死ノ場所及年月日	恩給及年金、賑恤金、 扶助料(權利者ノ續柄 氏名) 賜金	氏 名	生 年 月 日	職 業	本籍	住 所	出願人 氏名	被救護ノ種類	給與金品	摘 要



第三章 罹災救助

● 罹災救助ニ關スル規程

(大正八年三月三十一日)  
訓令甲第五號

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場

罹災救助ニ關スル規程左ノ通改正ス

罹災救助ニ關スル規程

第一條 災害ニ際シ罹災救助基金ノ支出ヲ要スト認ムルトキハ郡長又ハ市長ハ其ノ狀況ヲ詳具シ直ニ之ヲ報告スヘシ

第二條 罹災救助基金ノ救助ヲ請フ者アルトキハ市町村長ハ第一號乃至第八號書式ニ依リ食料其ノ他ノ仕譯書人員調書並資産及納稅調書ヲ差出スヘシ但シ町村長ハ所屬郡長ヲ經由スヘシ

第三條 罹災ノ狀況ニ依リ避難所、小屋掛、焚出及治療ノ救

第四編 感化恤救及社會事業 第三章 罹災救助

助ヲ要スト認ムルトキハ郡長又ハ市長ハ直ニ施行ニ著手シ同時ニ之ヲ報告スヘシ

第四條 郡長又ハ市長ニ於テ前條ノ救助ヲ施行シタルトキハ第九號乃至第十三號書式ノ仕譯書及物品購買代金若ハ物件借入損料人夫賃等ノ請求書ヲ徴シ之ヲ差出スヘシ

第五條 食料被服小屋掛材料就業ニ要スル資料器具及學用品ノ救助ハ其ノ種類數量日數ヲ指定シ郡長又ハ市町村長ヲシテ之ヲ施行セシムルコトアルヘシ

前項ニ依リ救助ヲ施行セシメタルトキハ郡長又ハ市町村長ハ物品購買代金ノ請求書ヲ徴シ之ヲ差出スヘシ但シ町村長ハ所屬郡長ヲ經由スヘシ

第六條 食料費被服費小屋掛材料費就業費及學用品費ヲ金錢ヲ以テ救助スルノ必要アリト認ムルトキハ郡長又ハ市長ハ其ノ理由ヲ詳具シ之ヲ申請スヘシ

前項ニ依リ金錢救助ヲ施行シタルトキハ第六號書式ニ依リ第一號乃至第五號仕譯書ニ基ク金錢領收書ヲ徴シ之ヲ差出スヘシ

第七條

罹災救助ニ際シ實費ヲ以テ支出スルモノニシテ其ノ材料又ハ貸金過當ナリト認ムルトキハ之ヲ減額若ハ削除スルコトアルヘシ

附則

本規程ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號 (二通)

食料仕譯書

何市(町村)

一白米何程

(戸主) 何之誰

此代金何程

外何名分

但壹石ニ付金何程(下米相場)

内

白米何程

何之誰

但人員何人一人米何合何日分

白米何程

何之誰

但、、、、、

白米何程

何之誰

但、、、、、

右之通ニ有之候也

年月日

右

市(町村)長 何之誰印

第二號 (二通)

被服仕譯書

何市(町村)

一被服何人分

(戸主) 何之誰

此代金何程

外何名分

但壹人ニ付金何程

内

被服何人分

何之誰

被服何人分

何之誰

被服何人分

何之誰

右之通ニ有之候也

年月日

右

市(町村)長 何之誰印

第三號 (二通)

小屋掛材料仕譯書

何市(町村)

一小屋掛材料家族三人以上何戸分

(戸主) 何之誰

此代金何程

外何人

但家族三人以上ハ一戸金何程同三人去滿ハ一

戸金何程

内

小屋掛材料家族三人以上

何之誰

同 半戸分

何之誰

同 家族三人未滿

何之誰

同 一戸分

何之誰

同 半戸分

何之誰

右之通ニ有之候也

年月日

右

市(町村)長 何之誰印

第四號 (二通)

器具(又ハ學用品費)仕譯書

第四編 感化恤救及社會事業 第三章 罹災救助

何市(町村)

何之誰

外何名分

一鍬何挺 代金何程 壹挺ニ付金何程

一鍬何挺 同 同

一鍬何挺 同 同

一何々 同 同

一何々 同 同

計金何程

内

何業

何之誰

一鍬何挺

一鍬何挺

一何々

何業

何之誰

一何々

一何々

右之通ニ有之候也

年月日 右

市(町村)長 何 之 誰印

(農具ノ救助ヲ請フモノハ別ニ耕作地反別取調書ノ添付ヲ要ス)

第五號 (一通)

資料仕譯書

何市(町村)

何 之 誰

外何名分

一種類何程

此代金何程壹石ニ付何程ノ割

一何々

此代金

一何々

此代金

計金何程

内

種類何程

何々

何々

右之通ニ有之候也

年月日 右

市(町村)長 何 之 誰印

(種穀ノ救助ヲ請フモノハ別ニ耕作地反別取調書ノ添付ヲ要ス)

第六號 (一通)

金錢領收書

一金何程

内

罹災救助費

食料費

但白米何程分一斗ニ付金何程

金何程

被服費

但被服何人分一人ニ付金何程

金何程

小屋掛材料費

但小屋掛材料費家族三人以上又ハ三人未滿

金何程

器具費

但何々何挺分一挺ニ付金何程

金何程

資料費

但種穀何程分一斗ニ付金何程

金何程

學用品費

但書籍文房具何人分一人ニ付金何程

右領收候也

年月日

何郡(市)町村大字番地

何 之 誰印

第七號 (一通)

人員取調書(他へ寄留又ハ他出不在者ハ除クヘシ)

何市(町村)

姓 名

何年何月何日生

父 名

何年何月何日生

母 名

何年何月何日生

妻 名

何年何月何日生

長男 名

何年何月何日生

何 々

何年何月何日生

右之通相違無之候也

年月日 右

市(町村)長 何 之 誰印

第八號 (一通)

資産及納稅調書

何市(町村)

何之誰

一所有地(地種別)何反步地價金何程

一建家(種類別)何棟建坪何程

一所有金預金何程

一何々(動産)何個見積價格何程

一何々、い、い

一直接國稅一ヶ年納額何程

一縣稅同上

右之通ニ有之候也

年月日 右

市(町村)長 何之 誰印

第九號 (二通)

焚出諸費仕譯書

一金何程

何市(町村)ニ係ル焚出シ諸費

内

金何程

白米何程代

但何月何日ヨリ何月何日迄何日間現人員何人此延何人  
ニ付一日米何程

内

金何程

金何程

金何程

但何月何日ヨリ何日迄何日間現人員何人此延何人一人  
ニ付一日金何程

内

金何程

金何程

但一升ニ付金何程

金何程

但壹貫目ニ付金何程

金何程

但何月何日ヨリ何日迄何日間現人員何人此延何人一人  
一日金何程

金何程

白米何程 壹石ニ付  
金何程  
白米何程 壹石ニ付  
金何程

雜費

梅干何程代

味噌何貫目代

人足賃

何々借入代

右之通相違無之候也

年月日

何市(町村)長 何之 某印

第十一號 (二通)

治療費仕譯書

一金何程

何市(町村)罹災者治療費

内

金何程

醫師手當

但何月何日ヨリ何日迄何日間何人分延日數何日一日金  
何程

金何程

金何程

但何藥何服分一服ニ付金何程患者何人何日分

金何程

何々、い、い

右之通相違無之候也

年月日

何市(町村)長 何之 某印

第十二號 (二通)

運搬用具費仕譯書

何市(町村)

何之誰

一所有地(地種別)何反步地價金何程

一建家(種類別)何棟建坪何程

一所有金預金何程

一何々(動産)何個見積價格何程

一何々、い、い

一直接國稅一ヶ年納額何程

一縣稅同上

右之通ニ有之候也

年月日 右

市(町村)長 何之 誰印

第九號 (二通)

焚出諸費仕譯書

一金何程

何市(町村)ニ係ル焚出シ諸費

内

金何程

白米何程代

但何月何日ヨリ何月何日迄何日間現人員何人此延何人  
ニ付一日米何程

内

金何程

金何程

金何程

但何月何日ヨリ何日迄何日間現人員何人此延何人一人  
ニ付一日金何程

内

金何程

金何程

但一升ニ付金何程

金何程

但壹貫目ニ付金何程

金何程

但何月何日ヨリ何日迄何日間現人員何人此延何人一人  
一日金何程

金何程

白米何程 壹石ニ付  
金何程  
白米何程 壹石ニ付  
金何程

雜費

梅干何程代

味噌何貫目代

人足賃

何々借入代

右之通相違無之候也

年月日

何市(町村)長 何之 某印

第十一號 (二通)

治療費仕譯書

一金何程

何市(町村)罹災者治療費

内

金何程

醫師手當

但何月何日ヨリ何日迄何日間何人分延日數何日一日金  
何程

金何程

金何程

但何藥何服分一服ニ付金何程患者何人何日分

金何程

何々、い、い

右之通相違無之候也

年月日

何市(町村)長 何之 某印

第十二號 (二通)

運搬用具費仕譯書



一金何程

何市(町村)運搬用具費

內

金何程

荷車借入料

但延何輛分一輛ニ付一日金何程

金何程

船借入料

但延何艘分一艘ニ付一日金何程

金何程

何々借入料

但何々

右之通ニ有之候也

年月日

郡(市)長 何

之 誰印

第十三號 (二通)

人夫費仕譯書

一金何程

何市(町村)人夫費

內

金何程

人夫費

但延何人分一人ニ付一日金何程

右之通ニ有之候也

年月日

郡(市)長 何

之 誰印

三重縣罹災救助基金管理及其支出ニ關スル規程

(明治三十二年八月十一日) (縣令第五十三號)

明治三十二年二月縣令第九號、大正六年二月同第三號、八年三月同第二六號改正

三重縣罹災救助基金管理及其支出ニ關スル規程 第十六條府縣制第四百三十三條ニ依リ內務大藏兩大臣ノ認可ヲ得テ左ノ通相定ム

第一條 三重縣罹災救助基金管理及其支出ニ關スル規程

一 現金ハ縣金庫又ハ現金管守者ヲシテ之ヲ保管セシム但シ縣金庫ヲシテ保管セシムルトキハ擔保トシテ其ノ金額以上ノ國債證書、勸業債券、日本興業銀行債券、農工債券、北海道殖産銀行債券ヲ領置ス

第二條 罹災救助ノ爲食料費、被服費、小屋掛材料費、就業費、學用品費、避難所費、小屋掛費、治療費、運搬用具費、人夫費ヲ支出スルハ左ノ程度ニ依ル

一 食料費 一人 一日 白米四合 雜費金貳錢

二 被服費 一人 自五月至九月 金貳圓 自十月至四月 金貳圓五拾錢

三 小屋掛材料費 一戸 家族三人以上 金拾參圓 同 三人未満 金拾圓

但シ家屋災害ニ罹ルモ尙小屋掛ヲ營ム用ニ充ツヘキ幾許ノ古材ヲ存スルモノハ半額トシ家族人員ノ計算ハ十五歳未満ノモノハ二人ヲ以テ一人トシ同居ノ家族ハ之ヲ算入ス

四 就業費 一戸 金貳拾五圓以內

五 學用品費 一人 金壹圓五拾錢以內

六 避難所費 小屋掛費 治療費 運搬用具費 人夫費 實費

市町村罹災救助資金補助方法

(明治三十九年二月九日) (縣令第八號)

明治四十二年一月縣令第三號、大正二年一月同第一號、一一年五月同第四一號改正

市町村罹災救助資金補助方法 議決ヲ經內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケ左ノ通相定ム

第一條 市町村罹災救助資金補助方法

市町村ニ於テ其ノ住民ノ災害ニ罹リタル者ヲ救助スル方法ヲ設ケ其ノ資金ヲ蓄積スルトキハ罹災救助基金ヨリ之ヲ補助ス

第二條 市町村罹災救助資金補助額ハ每年金三萬圓以內ニ於テ其ノ豫算ヲ定メ市町村ニ於テ其ノ年積立テタル金額ニ對

シ同額以内ノ金額ヲ交付シ該資金ニ編入セシム但シ其ノ積立額カ縣ノ補助豫算額ノ二十分ノ一ヲ超ユルトキ又ハ一時ニ資金ノ全部ヲ積立ツル場合ニ在リテハ補助ノ歩合ヲ減スルコトアルヘシ

第三條 罹災救助基金ノ貯蓄額ニシテ罹災救助基金法第三條ノ制限額ヲ下ルコトアルトキハ其制限額以上ニ達スルマテ補助ヲ停止ス

●市町村罹災救助資金監督規程

(明治三十九年二月二十七日) (縣令第十二號)

明治三十九年八月縣令第四二號、四〇年四月同第二九號、四一年六月同第四九號、四五年三月同第一七號、大正六年五月同第一六號、七年三月同第一三號、八年九月同第六四號改正  
三重縣市町村罹災救助資金監督規程左ノ運相定メ明治三十九年四月一日ヨリ施行ス  
市町村罹災救助資金監督規程

第一條 市町村ニ於テ罹災救助資金ヲ蓄積スルトキハ左ノ定額ヲ最低限度トシ毎年度ノ蓄積額ハ條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

戸數五百戸未満ノ町村 千五百圓  
戸數五百戸以上二千戸未満ノ町村 參千圓  
戸數二千戸以上ノ町村及市 六千圓

第二條 市町村罹災救助資金ハ罹災救助基金法第二條ノ規程ニ該當セサル場合ニ於ケル罹災者ヲ救助スル費用ニ充ツルノ外之ヲ他ノ費途ニ充ツルコトヲ得ス

第三條 市町村罹災救助資金ヨリ生スル收入ハ罹災救助費ニ充テ尙殘餘アルトキハ之ヲ資金ニ編入スヘシ

第四條 市町村罹災救助資金ノ元資ヲ費消スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ補充ノ方法ヲ定メ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 市町村罹災救助資金ノ蓄積額第一條所定ノ金額以上ニ達シタル市町村ニ於テハ其ノ永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ要スルカ爲若ハ天災事變等ノ爲市町村債ヲ起ス必要アル場合ニ限リ知事ノ許可ヲ受ク資金二分ノ一以内ノ金額ヲ一

●市町村罹災救助資金補助請求手續

(明治三十九年三月六日) (訓令甲第八號)

明治四〇年四月訓令甲第一八號、四一年六月同第三五號、大正三年二月同第三號改正

郡市役所  
町村役場

市町村罹災救助資金補助請求手續左ノ通相定ム  
市町村罹災救助資金補助請求手續

第一條 市町村罹災救助資金補助方法ニ依リ補助ヲ受ケムトスル市町村ハ其ノ年度ニ屬スル資金ノ蓄積了シタル後之ヲ請求スヘシ但シ第二條ノ期限ヲ過キ蓄積シタルモノニ在テハ次年度ニ於テ其ノ年分ト併セテ之ヲ請求スヘシ

第二條 前條ノ請求書ニハ別記書式ニ依リタル資金積立額計算書ヲ添付シ毎年十一月十五日マテニ市ハ知事ニ町村ハ郡長ニ差出スヘシ

第三條 郡長ニ於テ前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査

般會計ニ編入ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ補充ノ方法ヲ定メ併セテ知事ノ許可ヲ受クヘシ

前項繰入金ノ補充ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ金額及年月日ヲ知事ニ報告スヘシ

第六條 市町村罹災救助資金ノ運用ハ左ノ範圍ヲ出ツルコトヲ得ス

一 國債、地方債又ハ政府ノ特別ノ監督ヲ受クル銀行ノ債券ノ募集ニ應ジ若ハ其ノ證券ヲ買入ルコト

二 大藏省預金若ハ郵便貯金トナスコト

三 擔保ヲ徵シテ確實ナル銀行ニ利付預ケトナスコト

第七條 市町村罹災救助資金ノ管理及支出ニ關スル方法ハ市町村ニ於テ之ヲ定メ市ニ在リテハ知事、町村ニ在リテハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

シ其ノ集計表ヲ添付シ毎年十一月三十日マテニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

(別記)

市町村罹災救助資金積立額計算書

一金	大正	年度積立豫定額
内	大正	年月日一般會計ヨリ積立額
金	大正	年月日同上(二回ニ積立タルトキノ例)
金	補助請求額	
一金	大正	年度首現在額
内	現金	
金	預金	
金	公債社債券額面若干ノ原價	

第四章 行旅病人及行旅死亡人取扱

●行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護及取扱ニ關スル規程

(明治四十一年八月四日) 縣令第七十五號

明治四十二年一〇月縣令第九五號、四四年六月同

第三七號、大正七年五月同第二七號、八年九月同第

六七號、一三年四月同第一一號改正

行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護及取扱ニ關スル規程

左ノ通之ヲ定ム  
行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護及取扱ニ關スル規程

第一條 市町村長ニ於テ行旅病人行旅死亡人取扱法ニ依リ行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護若ハ取扱ヲ爲ストキハ其顛末ヲ知事ニ報告スヘシ

第四編 感化恤救及社會事業 第四章 行旅病人及行旅死亡人取扱

被救護者ノ引取ヲ爲ス者ナキトキハ現ニ救護ヲ爲ス市町村長ニ於テ引續キ其ノ事務ヲ取扱フヘシ

前二項ノ場合ニ於テ救護ノ日數二十日以上ニ及フトキハ二十日毎ニ其ノ情況ヲ報告スヘシ

第二條 前條ノ救護若ハ取扱ニ要スル費用ハ特別ノ事情アル場合ノ外ハ左ノ限度ニ依ルヘシ其ノ救護ヲ公私ノ施設又ハ私人ニ委託シ費用ヲ要スルトキ亦同シ

救護諸費

- 一 醫師診察料
- 一 同手術料
- 一 同診斷書料
- 一 藥價
- 以上ノ諸費ハ其ノ郡市醫師會ノ決定額以內
- 一 療養所借入料 一日 金貳拾錢以內
- 一 小屋掛料 一式 金五圓以內
- 一 入院料 下等實費
- 一 食料 一度 金拾錢以內

- 一 看護人雇料 一人ニ付 一晝夜 金七拾錢以内
- 一 産婆雇料 一人ニ付 一日 金壹圓以内
- 一 療養ニ關スル必要品費 一日 金叁拾錢以内
- 一 雜費 被服鏡具借入料其ノ他薪炭油等ノ諸費 一日 金叁拾錢以内
- 一 護送人夫費 一人ニ付 一日 金七拾錢以内
- 一 送還諸費
- 一 宿泊料 一夜 金壹圓五拾錢以内
- 一 食料 一度 金叁拾錢以内
- 一 汽車賃汽船賃車賃 下等賃費
- 一 附添人ヲ要スルトキハ宿泊料、汽車賃、汽船賃、車賃賃ハ被救護者ト同額トシ尙日當金壹圓以内ヲ給ス
- 取扱諸費
  - 一 屍體檢案及檢案書料 郡市醫師會ノ決定額以内
  - 一 屍體番人費 一人ニ付 一晝夜 金壹圓以内
  - 一 屍體運搬人夫費 一人ニ付 一日 金壹圓五拾錢以内
  - 一 假土葬費 一式 金五圓以内
  - 一 火葬費 一式 金五圓以内

一 廣告料

實費

- 第三條 官報若ハ新聞紙ニ公告ヲ爲スハ一回ヲ限度トシ看護人、産婆、送還附添人ハ各一人護送人夫、屍體番人、屍體運搬人夫ハ各二人以内トス
- 第四條 行旅死亡人ノ遺留品及行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護若ハ取扱ノ用ニ供シタル物件ハ左ノ場合ニ限り競賣ニ付セサルコトヲ得
  - 一 有價證券ハ時價以上ニ賣却シ得ヘキトキ
  - 一 其ノ他ノ物件ハ見積價格拾圓未滿ナルトキ
- 第五條 行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護又ハ取扱ノ用ニ供シタル物件ノ賣却代金ハ其ノ救護若ハ取扱費ノ總替金ニ戻入スヘシ
- 第六條 行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護若ハ取扱ニ係ル費用ノ辨償ヲ求ムルトキハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
  - 一 費用計算書
  - 一 仕拂金領收書
  - 一 遺留品又ハ不用品賣却調書

一 其ノ他關係書類

第七條 行旅病人及行旅死亡人取扱法第四條第十一條ニヨリ費用ノ辨償ヲ得タルトキハ計算書ヲ添附シ其旨知事ニ報告スヘシ

附則

本令ハ明治四十一年九月一日ヨリ施行ス

●北海道廳所屬行旅病人及行旅死亡人救護取扱ニ關スル手續

(明治三十二年八月五日)  
(訓令甲第七十九號)

- 郡市役所
- 町村役場

北海道廳所屬ニ係ル行旅病人及行旅死亡人救護取扱ニ關スル費用ノ支拂致病人引取方ハ支廳長ニ於テ取扱ハシムヘキ旨通牒有之候條右ニ關スル費用ノ辨償又ハ病人引取等ニ係ル事件ハ直ニ支廳長ニ請求又ハ申牒ノ手續ヲ爲スヘシ

第五章 社會事業

●社會事業調查會規程

(大正九年六月十一日) 告示第二百三十九號

社會事業調查會規程左ノ通定ム

第一條 社會事業調查會ハ知事ノ監督ニ屬シ社會事業ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第二條 調査會ハ會長一名副會長一名及委員若干名ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ内務部長副會長ハ警察部長委員ハ知事官房主事内務部各課長及警察部各課長ヲ以テ之ニ充ツ

前項ノ外知事ハ必要ニ依リ官吏吏員及學識經驗アル者ノ中ヨリ委員ヲ命シ又ハ囑託ス

第四條 會長ハ會務ヲ總理シ會長事故アルトキハ副會長之ヲ代理ス

第五條 調査會ニ幹事ヲ置キ委員ノ中ヨリ知事之ヲ命ス

第四編 感化恤救及社會事業 第五章 社會事業

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 調査會ニ書記ヲ置キ官吏吏員ノ中ヨリ知事之ヲ命ス

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第七條 調査會ハ毎月二回之ヲ開ク但シ必要ニ依リ臨時開會スルコトアルヘシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ施行ス

●社會事業費補助規程

(大正九年十二月三日) 縣令第七十號

大正一〇年一月縣令第六一號改正

社會事業費補助規程左ノ通定ム

社會事業費補助規程

第一條 社會改善ニ資スルノ目的ヲ以テ施行スル事業ニ對シ縣ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助ヲ受ケムトスルモノハ施設ヲ要スル事由ヲ詳記

シタル願書ニ左ノ書類ヲ添付シ毎年二月末日迄ニ知事ニ差出シ豫メ補助ノ認可ヲ受クヘシ

- 一、事業經營ノ狀況
- 二、施設ノ事業カ工事ノ施行ニ屬スルモノナルトキハ設計又ハ仕様書、圖面及工事ノ著手並其ノ竣工豫定期限
- 三、收支豫算書及前年度決算書但シ豫算ノ設ケナキモノハ收支見積計算書

第三條 補助ヲ受ケタル事業ハ其ノ施設ヲ變更シ又ハ之ヲ讓渡シ若ハ債務ノ擔保ニ供スルコトヲ得ス但シ豫メ知事ノ認可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條 知事ハ隨時吏員ヲシテ補助ノ認可ヲ爲シタルモノニ就キ實地調査ヲ爲サシメ其ノ他必要ナル命令ヲ發スルコトアルヘシ

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ其ノ既ニ受ケタル補助金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

- 一、詐欺ノ所爲ヲ以テ補助金ヲ受ケタルモノ
- 二、第三條ノ規定ニ違反シタルモノ

三、第四條ノ臨檢ヲ拒ミ又ハ同條ニ依リ發シタル命令ニ從ハサルモノ

第六條 本規程ニ依リ知事ニ差出ス願書又ハ屆書ハ所轄町村役場及郡市役所ヲ經由スヘシ

郡市長ハ第二條ノ補助願書ヲ受理シタルトキハ事業ノ適否及效果ヲ調査シ意見ヲ附シテ之ヲ達達スヘシ

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正八年四月三日重縣令第三十八號部務改善費補助規程ハ之ヲ廢止ス

●住宅組合法施行細則

(大正十年十二月二十七日)  
縣令第六十六號

附則 大正一四年四月縣令第二九號改正

住宅組合法施行細則左ノ通定ム

住宅組合法施行細則

第一條 住宅組合ノ設立許可申請書ニハ定款及事業方針書ノ

外組員ニ關スル調査ヲ添附スヘシ合併ニ依リ設立スル場合亦同シ

第二條 住宅組合ノ定款中一人ノ出資口數三十口以上ヲ取得スヘキコトヲ規定シタル場合ハ特ニ其ノ理由書ヲ添附スヘシ

第三條 住宅組合設立ノ許可アリタルトキハ組合長ハ遲滞ナク各口ニ付第一回ノ拂込ヲ爲スヘキ旨ヲ各組員ニ通知スルコトヲ要ス

設立ノ許可アリタル日ヨリ一月ヲ越ユルモ仍前項ノ拂込ヲ爲ササルトキハ遲滞ナク其ノ事由ヲ調査シ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第四條 前條ノ拂込ヲ爲シタルトキハ組合ハ遲滞ナク財産目録及貸借對照表ヲ調製スヘシ

第五條 組合總會招集ノ通知ヲ發シタルトキハ遲滞ナク其ノ會議ノ目的日時及場所ヲ知事ニ報告スヘシ但シ組合員ヨリ總會招集ノ請求アリタルトキハ其ノ理由書ヲ添附スヘシ

前項ノ會議ヲ終リタルトキハ二週間以内ニ決議録ノ謄本ヲ

添へ知事ニ報告スヘシ

第六條 住宅組合ニ於テ借入金ヲ爲シタルトキハ左記事項ヲ具シ速ニ知事ニ報告スヘシ

- 一 借入金額
- 二 借入先
- 三 利率
- 四 借入未済金額
- 五 借入年月日

第七條 住宅組合ニ於テ借入金ヲ償還シタルトキハ其ノ償還遲滞ナク左記事項ヲ具シ之ヲ知事ニ報告スヘシ

- 一 償還元利金額
- 二 償還先
- 三 償還年月日
- 四 借入年月日
- 五 償還未済金額

第八條 住宅組合ハ左記事項ニ付テハ遲滞ナク之ヲ知事ニ報告スヘシ

一 訴訟又ハ和解

二 會議規則其ノ他重要ナル規程ノ設定變更廢止

第九條 住宅組合法施行規則第十四條ノ規定ニ依リ讓渡シタル住宅ノ上ニ抵當權ヲ設定シ又ハ相當ノ擔保ヲ提供セシメタルトキハ遲滯ナク之ヲ知事ニ報告スヘシ

第十條 住宅組合法第十條ノ規定ニ依リ住宅ヲ火災保險ニ附シタルトキハ遲滯ナク左記事項ヲ具シ之ヲ知事ニ報告スヘシ

一 保險ニ附シタル建物ノ構造所在

二 保險契約締結ノ年月日

三 保險金額

四 保險期間

五 保險料及其ノ支拂方法

六 保險契約先

第十一條 住宅組合ニハ左ノ簿冊ヲ備付クヘシ

一 組合員名簿

二 出資拂込表

三 出資總額表

四 財產 臺帳

五 借地 臺帳

六 處務 日誌

七 出納 日記帳

八 收支 計算簿

九 借入金 臺帳

十 出資金其ノ他拂込金徵收簿

第十二條 理事又ハ清算人ハ住宅組合法第十六條第一項ノ規定ニ依リ準用シタル民法第七十條及第八十一條ノ規定ニ依リ破産ノ宣告ヲ受ケ若ハ破産宣告ノ請求ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第十三條 住宅組合又ハ利害關係人ハ住宅組合法第十六條第二項ノ規定ニ依リ準用シタル產業組合法第七十三條ノ二又ハ第七十三條ノ三ノ規定ニ依リ清算人ノ選任又ハ解任ノ必要アルトキハ其ノ旨知事ニ具申スヘシ

第十四條 住宅組合法、住宅組合法施行規則及本令ニ依リ知

段申請候也

年 月 日

住 所

設立者又ハ總代 何

某

知 事 宛

第二號書式

何々責任何々住宅組合事業方法書

(小文字ハ記載例ヲ示ス)

津市一區

一、事業區域

大正 年 月 日(又ハ 年間)

二、存立期間

三、出 資

參萬圓

イ、出資金總額

三百口

ロ、出資口數

百圓

ハ、出資一口ノ金額

第一回拂込ハ出資一口ニ付

ニ、出資拂込方法

金五圓

第二回以後住宅供給前ハ第一回拂込金ノ十分ノ一

事ニ提出スル書類ハ各ニ通定款及事業方法書ハ各三通ヲ調製シ主タル事務所所在地ノ郡市長ヲ經由スヘシ

第十五條 住宅組合設立許可申請書組合員ニ關スル調査事業方法書其ノ他ノ様式ハ別ニ定ムル所ニ準據スヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

住宅組合關係書類並帳簿様式

(大正十四年四月十七日) 告示第七十五號

住宅組合法施行細則第十五條ノ規定ニ依ル關係書類並帳簿様式左ノ通改正ス

住宅組合關係書類並帳簿様式

第一號様式

住宅組合設立許可申請書

今般住宅組合法ニ依リ何々責任何々住宅組合設立致度候ニ付御許可相成度別紙定款事業方法書組合員ニ關スル調査組合員別住宅表收支豫算書借入金償還年次及財源表相添ヘ此

第四編 感化恤救及社會事業 第五章 社會事業

住宅供給後ハ出資金額及之ニ對スル利子相當額ノ  
合算額ヨリ住宅供給前迄ニ拂込ミタル金額ヲ控除  
シタル殘額ヲ組合存立期間滿了迄ノ月數ニ依リ均  
等ニ分割シタル金額

四、事業

イ、事業費總額 參萬圓

(一)住宅建設費 參萬圓

(二)用地費 〇

ロ、事業費處辨方法

金 貳萬八千圓 借入金

借入先 三重縣住宅建設資金借入

利率 年四分八厘

借入ノ時 大正十四年度

据置及償還期間 大正十四年度ハ据置キ大正  
十五年度ヨリ十五年箇年間ニ

償還方法

組合員ノ出資金及利子相當額ノ拂  
込金ヲ以テ毎年八月二十五日、二  
月二十五日ノ二期ニ於テ各元利金  
千參百貳拾圓宛ヲ償還ス

金 貳千圓 出資金

第一回拂込出資金千五百圓、第二回以後第五回ニ至  
ル拂込出資金六百圓合計貳千圓ノ中貳千圓ヲ充當  
ス

ハ、事業ノ施行

(一)住宅建設

建築戸數 木造瓦葺平家五戸同二階家  
五戸

同上建坪數 延二百坪

事業ノ遂行 大正十四年四月工事ニ著手  
シ同年九月全部竣工

(備考) 住宅ヲ購入スルモノアルトキハ住  
宅建築ノ例ニ準シ別項トシテ之ヲ  
記載スヘシ

(二)用地ノ借入

住宅用地ハ組合員ノ希望ヲ斟酌シ事業區域内適當ノ  
場所ヲ借入レ地代共ノ他一切ノ費用ハ總テ當該組合  
員ノ負擔トス

(三)住宅所有權ノ移轉

住宅ノ所有權ハ出資金額二分ノ一ノ拂込ヲ了シタル  
トキ組合員ニ讓渡ス

(四)用地供給ノ方法

組合ノ有スル借地權、地上權又ハ使用權ハ住宅ノ所  
有權讓渡ト同時ニ組合員ニ無償讓渡ス

五、火災其ノ他ノ事由ニ因リ住宅滅失ノ場合  
ニ於ケル處理方法

イ、住宅ノ所有權カ組合ニ屬スル場合

六、出資口數増減ノ場合ニ於ケル拂込ノ方法

イ、出資口數増加ノ場合

増加組合員ハ増加口數ニ付設立當初ニ週リ増加ノ當  
時迄ニ拂込ムヘキ金額ヲ一時ニ増加直後ノ拂込期迄  
ニ拂込ヲナシ以後ハ定款ノ定ムル處ニ從ヒ毎月拂込

ロ、住宅ノ所有權カ組合員ニ屬スル場合

火災ノ爲住宅カ滅失シタル場合ニアリテハ組合ハ組  
合員ノ提供スル保險金額ノ範圍内ニ於テ再ヒ建設供  
給シ火災以外ノ原因ニヨル場合ハ組合員ノ希望アル  
時ニ限り當該組合員ノ計算ニ於テ建設供給ス





第四編 感化恤救及社會事業 第五章 社會事業  
 三、用地ノ月賦金額欄ニハ組合員力用地取得ノ爲毎月拂込ムヘキ金額ヲ記入スルコト

第五號様式 借入金償還年次及財源表

償還年度 及期日	償還金			同			財源			差引
	元 償還額	圓 利子額	圓 計	元 未償還	圓 前年度 繰越金	圓 出資 拂込金	圓 利子 拂込金	圓 預金 利子何々	圓 計	
合計										

備考  
 一、地代保険料ノ如ク償還財源トナラサルモノハ記載ヲ要セス  
 一、借入先ヲ異ニスル毎ニ調製ヲ要ス

第六號様式 大正 年度何々責任何々住宅組合收支豫算書  
 收入

科 目	本年 算年度 高度		前年 算年度 高度		比 較 増 減	附 記
	一、出 資 金	一、出 資 拂込 金	二、拂 込 金	一、組 合 經 費		
一、出 資 金						
一、出 資 拂込 金						
二、拂 込 金						
一、組 合 經 費						
二、火 災 保 險 料						
三、住 宅 用 地 貸 付 料						
三、雜 收 入						
一、預 金 利 子						
二、不 用 品 賣 却 代 金						
四、借 入 金						
一、借 入 金						

第四編 感化恤救及社會事業 第五章 社會事業

科目	支出		附記
	本年高度	前年度高度	
一、事務費			
一、諸給			
二、需用費			
二、會議費			
一、總會費			
二、雜費			
三、事業費			
一、建築費			
二、用地諸費			
三、雜費			
合計			
五、繰越金			
一、前年度繰越金			
合計			

科目	支出		附記
	本年高度	前年度高度	
四、管理費			
一、火災保險料			
二、用地賃借料			
五、借入金償還金			
一、元金償還金			
二、利子支拂金			
六、豫備費			
一、豫備費			
合計			

備考

- 一、收入支出ヲ經常臨時ノ二部ニ分ツノ必要アルトキハ其ノ性質ニ從ヒ之カ區分子爲スヘシ而シテ經常臨時ノ二部ニハ各計ヲ設ケ更ニ收入支出ノ合計ヲ掲記スヘシ
- 二、附記欄ニハ豫算ノ計算ノ基ク所ヲ明カナラシムヘシ
- 三、本例ノ外組合ノ實狀ニ應シ款項ヲ増減スルモノトス







第四編 感化恤救及社會事業 第五章 社會事業  
第十三號樣式 處務日誌

年	月	日	摘要
			摘要

備考

重要ト認ムル事項ヲ記載スルコト

第十四號樣式

出納日記帳

年	月	日	科目口座及憑號	摘要	受入高	拂出高	残高
					圓	圓	圓

第十五號樣式

項款何收支計算簿

年	月	日	摘要	豫算高	收入(支出)高	残高
				圓	圓	圓

備考

- 一 本簿ハ豫算ノ各款、項及總括別ニ口座ヲ設ケテ記載スルコト但シ事宜ニ依リテハ款ノ口座ヲ省略スルモ妨ナシ
- 一 決算ヲ爲ス場合ハ各口座記載末尾ニ合計額ヲ記載スルコト

第十六號樣式

借入金臺帳

債權者住所氏名	組合設立許可年月日及番號	借入年月日	借入金金額	事

第四編 感化恤救及社會事業 第五章 社會事業





備考

一組合員毎ニ口座ヲ設クルコト

種別欄ニハ毎月分ノ徴收月日ヲ記入シ取扱者捺印スルモノトス

第十八號樣式

財產目錄

種 資	目 事	項 目	產		負	
			金 額	圓	金 額	圓
拂込未濟出資金	口數又ハ何口等	出資金				
土地	地目及各坪數	借入金				
建物	棟數及坪數等	何々				
什器	品目點數					
預金	件數					
何々						
計						

第十九號樣式

貸借對照表

種 貸	目 事	方		借	
		金 額	圓	金 額	圓
拂込未濟出資金	地			借入金	
土地	地			何々	
建物	物			何々	
什器	器			何々	
預金	金			何々	
何々				何々	
計					

### 住宅組合法施行細則取扱手續

(大正十年十二月二十七日)  
(訓令甲第二十六號)

郡	役	所	
市	役	所	
町	村	役	場

住宅組合法施行細則取扱手續左ノ通定ム

住宅組合法施行細則取扱手續

#### 第一條

住宅組合ノ設立許可申請アリタルトキハ郡市長ハ左記事項ヲ調査シ事業計畫ノ當否ニ關シ意見ヲ具申スヘシ  
一 理事及監事タルヘキ者ノ性行地方ニ於ケル名望並組合事業ニ對スル經歷

二 區域内ニ於ケル住宅需給ノ狀況

三 組合ノ事業遂行上特ニ便宜ヲ得若シ障害トナルヘキ事情アラハ其ノ事情

四 住宅組合法施行細則第二條ニ規定シタル事項ノ當否

第二條 住宅組合ヨリ左ニ掲ケル事項ノ認可申請アリタルト

キハ郡市長ハ意見ヲ具申スヘシ但シ輕易ナル定款變更ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一 定款變更

二 合併

三 解散

合併ニ依リ設立スル組合ノ理事及監事力合併前ニ組合ノ理事及監事ニ非サル者ナルトキハ前條第一號ノ事項ニ付意見ヲ具申スヘシ

#### 第三條

住宅組合ヨリ理事及監事變更ノ届出アリタルトキハ其ノ重任ニ非サルモノニ付第一條第一號ノ事項ニ付意見ヲ具申スヘシ

#### 第四條

住宅組合法第十六條第二項ノ規定ニ依リ準用シタル産業組合法第二十四條ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ郡市長ハ意見ヲ具申スヘシ

#### 第五條

住宅組合法施行細則第六條ノ規定ニ依ル認可申請アリタルトキハ郡市長ハ各事項ヲ調査シ且意見ヲ具申スヘシ  
第六條 郡市長ハ組合ニ對シ命令ヲ發シ若ハ助長監督ニ關ス

第一條 社會狀態及生活狀態ヲ調査シ其ノ改善向上ヲ圖ル爲

特ニ必要ト認ムル地方ニ方面委員ヲ設置ス

#### 第二條

方面委員ハ篤志者、市町村吏員、警察官吏、學校關係者、神職、宗教家及社會事業關係者等ノ中ヨリ郡市長ノ推薦ニ依リ知事之ヲ囑託ス

#### 第三條

方面委員ハ名譽職トシ其ノ任期ヲ定メス  
第三條 方面委員ヲ設置スヘキ地方及其ノ員數ハ別ニ之ヲ定ム

一 地方ニ二名以上ノ方面委員ヲ置キタル場合ニ於テハ其ノ一名ヲシテ事務ノ連絡ヲ圖ラシム

#### 第四條

方面委員ノ職務左ノ如シ  
一、一般社會生活ノ實狀ヲ調査シ之カ改善向上ノ方法ヲ攻究スルコト

二、特ニ必要アルモノニ付テハ戶別的ニ其ノ生活狀態ヲ調査シ之ニ對シ匡濟方法ヲ講スルコト

三、各種社會事業機關トノ連絡ヲ保チ之カ利用ノ途ヲ講シ其ノ目的ノ達成ニ助力スルコト

### 方面委員設置規程

(大正十二年六月二十二日)  
(告示第二百五十八號)

三重縣方面委員設置規程左ノ通定ム

方面委員設置規程

第四編 感化恤救及社會事業 第五章 社會事業

四、社會事業ノ施設上必要ナル事項ニ關シ意見ヲ知事ニ提出スルコト

五、其ノ他特ニ委囑セラレタル事項ノ調査實行ニ當ルコト

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ●方面委員ヲ設置セシ市町村

(大正十二年十二月二十八日)  
(告示第五百六號)

大正十二年三重縣告示第二百五十八號三重縣方面委員設置規程ニ依リ左記市町村ニ方面委員ヲ設置ス

津 市

四日市市

宇治山田市

桑名郡桑名町、大山田村、益生村

安濃郡新町

阿山郡上野町

### ●同上ノ件

(大正十三年二月十九日)  
(告示第八十二號)

大正十二年三重縣告示第二百五十八號三重縣方面委員設置規程ニ依リ松阪町ニ方面委員ヲ設置ス

### ●同上ノ件

(大正十三年三月十四日)  
(告示第二百二十九號)

大正十二年三重縣告示第二百五十八號三重縣方面委員設置規程ニ依リ阿山郡城南村ニ方面委員ヲ設置ス

### ●部落細民ノ指導誘掖ニ關スル件

(大正八年四月二十九日)  
(訓令甲第十二號)

郡 市 長  
町 村 長

今ヤ戰後ノ世局ハ益々多端ニシテ時運ノ進轉ハ愈々急激ヲ加ヘ列國相競ヒテ戰時ノ創痍ヲ醫シ進テ宇内文化ノ一新ヲ圖ラ

ムトスルニ汲々タラサルナシ此ノ秋ニ方リ國運ノ發展ヲ期シ帝國ノ地歩ヲシテ更ニ其ノ重キヲ爲サシメムトセハ須ク國民一致融合最善ノ努力ヲ致シ益々國體ノ精華ヲ發揚セサルヘカラス惟フニ近時泰西ノ思潮急漸シ黨齟雜或ハ取捨ニ惑ヒ物價ノ昂騰平ヲ失シ生活ノ壓迫時ニ常軌ヲ逸セシム殊ニ細民部落中ニハ往々思慮堅實ヲ缺キ情ノ激スル所理非ヲ辨ヒスシテ輕舉ニ出ツル者アリ宜シク指導誘掖以テ其ノ理性ヲ啓發シ其ノ德操ヲ涵養スルト共ニ自ラ進テ其ノ境遇ヲ改善スルノ意志ヲ鞏固ニシテ一面一般社會ニ在リテモ動モスレハ之ヲ侮蔑シ或ハ叨ニ吟城ヲ設ケテ之ヲ擯斥スルカ如キ從來ノ弊風ヲ改メ誠意以テ之ニ接シ同情以テ之ヲ扶ク彼此調和共濟ノ實ヲ擧ケ一層報國盡忠ノ至誠ヲ輸スニ非スムハ帝國ノ前途夫レ或ハ寒心スヘキモノナキヲ保セサルナリ局ニ當ル者深ク此ノ趣旨ヲ體シ適切ナル畫策ヲ立テ不斷ノ努力ヲ加ヘ徒ニ功ヲ急カス以テ其ノ目的ヲ貫徹シ時代ノ要求ニ副ハムコトヲ望ム

第五編  
土  
木

目次

第五編 土木

第一章 工事

○三重縣工事執行規程……………	大 一三	告示 四九九	—
○三重縣工事執行規程ニ依リ開札ノ時參觀ニ關スル件……………	明三五	告示 三〇四	—
○縣ノ支辨ニ係ル工事執行手續……………	大 六	訓令甲 一〇	—
○工事竣工検査規程……………	大 六	訓令甲 一一	二
○工事進行歩合検査規程……………	明三七	訓令甲 二五	四
○工事用材料仕様書……………	明四一	告示 一六三	五
○土木工事ニ使用スル土石砂礫無料採取ノ件……………	大 六	告示 三八三	二
○土木工事ノ許可申請ニ關スル件……………	明四三	訓令甲 三一	二
○土木工事並發電用水利使用取締規則……………	大 六	縣令 二〇	二
○縣有汽船船子公共團體ノ起業ニ係ル工事ニ從事セシムル場合ノ規程……………	明三九	告示 二〇八	二九
○揚水機設置補助規程……………	大 九	縣令 六八	三〇

目次 第五編 土木 道路

○三重縣土木費支辨規程……………明三九 縣令 六六 三〇

○土木費支辨規程第一條及第二條ノ道路河海港灣ノ件……………明三九 告示 三三七 三二

○土木臺帳調製方……………明四〇 訓令甲 二五 四三

○土木費補助ニ關スル規程……………明四〇 訓令甲 三〇 七四

第二章 道路

○道路橋梁堤防等破損ノトキ通報方……………明二八 訓令甲 二〇 七九

○町村費支辨ニ係ル道路橋梁等急破ニ際シ修繕準備執行方……………明二〇 訓令 九六二 七九

○道路溝渠等直接公用廢止ノ分無代下付出願ノ際取調進達方……………明二四 訓令甲 三〇 七九

○府縣道路線認定……………大九 告示 一四七 七九

○府縣道路線追加認定……………大一二 告示 一五四 九四

○道路供用廢止……………大一一 告示 二八五 一一

○同上ノ件……………大一一 告示 三一五 一一

○同上ノ件……………大一一 告示 三一五 一一

○同上ノ件……………大一一 告示 三一五 一一

○同上ノ件……………大一一 告示 三一五 一一

○府縣道路線追加認定……………大一一 告示 三一五 一一

○府縣道ノ區域……………大九 告示 一四八 一一

○府縣道路ノ供用開始期日……………大九 告示 一四九 一一

○國道及府縣道ノ附屬物タル橋梁並渡船場ニ對シ其ノ供用開始ノ件……………大九 告示 一八四 一一

○國道及府縣道ノ附屬物タル橋梁並渡船場ノ區域……………大九 告示 一八五 一一

○國道ノ區域並其ノ供用開始期日……………大九 告示 一八六 一一

○市町村ニ於ケル道路元標ノ位置……………大九 告示 一五一 一一

○道路法ノ規定ニ依ル渡船場管理者指定……………大一一 告示 六八 一一

○道路法ノ規定ニ依ル橋梁管理者指定……………大一一 告示 二一二 一一

○並木保護規則……………明三五 縣令 四六 一一

○道路ノ並木取調報告ノ件……………明三五 訓令甲 七〇 一四八

○道路堤塘並木敷テ使用シ又ハ其敷地内ノ竹木雜草等特賣出願方……………明三五 縣令 三九 一五〇

○國有ニ屬スル堤塘道路及並木敷ニシテ市町村ニ於テ其費用ヲ負擔スルモノノ處置方……………明三五 訓令甲 五九 一五〇

○堤塘道路河川等ノ諸收入金徵收ニ關スル取扱方……………大六 告示 二一〇 一五一

○道路占用規程……………大一一 縣令 六八 一五一

○道路工事執行規程……………大九 縣令 六九 一五四

目次 第五編 土木 道路

○假定國縣道掃除規則.....	明一七	甲	九一	一五九
○假定國縣道掃除取扱手續.....	明一七	乙	二二八	一六一
○堤防保護規則.....	明二〇	縣令	三一	一六一

第三章 河川、港灣

○揖斐川支川認定.....	明三五	告示	一六八	一六三
○木曾川揖斐川及長良川ニ於ケル沿岸沿堤及河川附近ノ土地ノ區域.....	明三七	告示	二一九	一六三
○河川法準用河川ニ於ケル沿岸沿堤及河川附近ノ土地ノ區域.....	大七	告示	三〇	一六三
○河川法準用河川認定.....	大六	告示	二一一	一六五
○同上ノ件.....	大一〇	告示	二九六	一六六
○堤防其ノ他ノ工作物ヲ河川ノ附屬物ト認定.....	明三三	告示	一四七	一六六
○同上ノ件.....	明三二	告示	一八三	一六七
○同上ノ件.....	明三五	告示	一六九	一六八
○同上ノ件.....	明四〇	告示	一七六	一七〇
○同上ノ件.....	大一一	告示	二〇二	一七四

○揖斐川區域變更同川附屬物ノ認定及廢止.....	大二	告示	五六	一七六
○揖斐川及長良川區域變更同川附屬物ノ認定及廢止.....	大六	告示	三四六	一七六
○香取川竝江川ニ屬スル工作物ヲ河川ノ附屬物ト認定.....	大七	告示	一七六	一七八
○河川法準用河川ノ附屬物認定.....	大七	告示	三三二	一七八
○河川附屬物ニ關スル出願又ハ請求ハ東京第二土木出張所ヲ經由シ内務大臣ニ申請方.....	明三五	告示	一七一	二二二
○同上ノ件.....	大一〇	告示	二八六	二二三
○河川法施行及準用河川取締規則.....	大六	縣令	一八	二二三
○河川ノ水行ヲ障害スヘキ行爲取締方.....	明三五	訓令甲	六七	二二六
○木材伐出及川下取締規則.....	大元	縣令	一一	二二六
○桑名郡城南村地先川敷占用ヲ許ササル地名.....	明四一	告示	一六九	二二七
○河川管理員設置規程.....	大六	縣令	一一	二二八
○河川裏帳縦覽心得.....	明三四	告示	一二五	二二八
○四日市築港工事施行上必要アルトキ碇泊船舶等ニ對シ其ノ位置變更要求方.....	明四三	縣令	五九	二二九
○四日市港縣營上屋使用規程.....	大一一	告示	一六〇	二三一

第四章 砂防

○砂防法施行ノ土地ニ對スル一定ノ行爲禁止制限事項……………	六一〇	縣令	五五	二二五
○砂防ノ爲一定ノ行爲ヲ禁止制限スル土地ニ於テ特ニ作業ノ許可ヲ受ケントスルモノニ關スル書式……………	明三四	縣令	二	二二六
○砂防上禁止又ハ制限セラレタル土地ニ於テ特ニ作業ノ許可ヲ得タルモノノ木標建設ノ件……………	明三二	縣令	七七	二二七
○砂防管理員ヲ置クノ件……………	明三六	縣令	二四	二二八
○荒廢地復舊費補助金交付規程……………	明四四	縣令	四〇	二二八

第五章 軌道、鐵道

○道路又ハ堤塘上ニ軌道布設出願方……………	明三〇	縣令	三一	二三三
○軌道布設願書進達方……………	明三〇	訓令甲	二七	二三三
○軌道條例ニ依ル出願ニ關スル取扱方……………	明三四	訓令甲	七一	二三三
○軌道條例ニ依ル出願方ノ件……………	明三四	告示	二七三	二三三
○鐵道布設ノ爲メ道路橋樑溝渠運河等變換ノ場合出願方……………	明三〇	縣令	三九	二三六

○地方鐵道法施行規則ニ依ル申請書提出方ノ件……………	大九	告示	二二〇	二三六
----------------------------	----	----	-----	-----

第六章 官有土地、水面

○國有土地水面取扱規則……………	大一一	縣令	六二	二三七
○國有土地水面取扱規則施行手續……………	大一一	訓令甲	三二	二四四
○公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地ヲ生シタルトキ稅務署ヘ通告ノ件……………	明三八	訓令甲	三〇	二四四
○公共用地ノ興廢變更處分ノ場合稟議處分方……………	明三八	訓令甲	三七	二四六
○內務省所管官有地ノ所有權移轉ハ郡長ニ於テ登記申請ノ件……………	明四三	訓令甲	五	二四七
○縣ノ事業ニ要スル土地物件取扱手續……………	明四四	訓令甲	三九	二四七
○公用ニ供スル爲國ニ對シ無償ニテ不動産ヲ寄附セムトスルトキ申請方……………	明四〇	告示	一六五	二五五
○不動産ヲ國ニ寄附ノ申請アリタルトキ取扱方……………	明四〇	訓令甲	二四	二五五
○內務省主管ニ屬スル官有地ノ番號記載方……………	明三五	告示	二二九	二五六
○國有地ノ増減報告ノ件……………	大一一	訓令甲	二六	二五六



第七章 工區事務所

○土木工區設置ノ件……………明三五 縣令 三七 二五九

○工區 區 及 務所位置……………大九 告元 一三六 二五九

○工區主幹ヲ經由スヘキ書類ノ件……………明三五 訓令甲 六〇 二五九

第八章 雜

○民有地ノ土地ヲ許可シタルトキ稅務署ヘ通報方……………明三七 訓令甲 五七 二六一

○陸地測量部ニ於テ建設セル測量標ノ保護ニ關スル件……………明三六 訓令甲 五七 二六一

○陸海軍測量目標ニ對シ取締ノ件……………明二一 訓令 一〇九 二六一

○土地價格ニ關スル報告表様式……………明四〇 訓令甲 二 二六一

第五編 土木

第一章 工事

●三重縣工事執行規程

(大正十三年十月二十八日)  
(告示第四百九十九號)

三重縣工事執行規程縣參事會ノ議決ヲ經テ左ノ通改正ス  
三重縣工事執行規程

- 第一條 道路工事以外ノ經費支辨ニ屬スル工事ノ執行ニ付テハ道路工事執行令及道路工事執行規程ヲ準用ス
- 第二條 工用材料ノ購入勞力又ハ動力供給ノ場合ニ於テハ前條ノ例ニ依ル

附則

本規程ハ大正十三年十一月一日ヨリ施行ス  
大正五年七月縣告示第二百五十二號ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第五編 土木 第一章 工事

●三重縣工事執行規程ニ依リ開札ノ時參觀ニ關スル件

(明治三十五年十一月十一日)  
(告示第三百四號)

〔明治三十五年(十月)三重縣告示第二百九十八號三重縣工事執行規程第十六條第二項〕ニ依リ開札ノ時參觀セントスル入札人ハ開札時限三十分前マテニ名刺又ハ口頭ヲ以テ申出ツルコトヲ要ス

●縣ノ支辨ニ係ル工事執行手續

(大正六年三月三十日)  
(訓令甲第十號)

- 郡 役 所 警 察 署
- 警 察 分 署 縣 立 學 校
- 縣 立 病 院 測 候 所
- 農 事 試 驗 場 水 産 試 驗 場
- 農 事 講 習 所 國 兒 學 園
- 蠶 業 取 締 所

第五編 土木 第一章 工事

縣ノ支辨ニ係ル工事執行手續左ノ通定ム

縣ノ支辨ニ係ル工事執行手續

第一條 縣費ヲ以テ支辨スル工事及工事項材料ノ購入ハ本縣  
工事執行規程ニ依リ施行スヘシ

第二條 各麻長ハ配付セラレタル豫算ニ基キ工事ヲ施行シ又  
ハ工事項材料ノ購入ヲ爲スヘシ但シ豫算配付ノ際特ニ設計  
ノ認可ヲ受クヘキコトヲ指定シタルモノハ施行ニ先チ之ヲ  
稟議スヘシ

第三條 請負契約ハ各麻長之ヲ擔任スルモノトス

第四條 本手續ニ於テ麻長ト稱スルハ其ノ當該長ヲ謂フ

附則

第五條 本手續ハ大正六年四月一日ヨリ施行ス

第六條 明治四十五年三月訓令甲第十二號ハ本手續施行ノ日  
ヨリ廢止ス

● 工事竣工検査規程

(大正六年三月三十日  
訓令甲第十一號)

郡 役 所	警 察 署
警 察 分 署	縣 立 學 校
縣 立 病 院	測 候 所
農 事 試 驗 場	水 産 試 驗 場
農 事 講 習 所	國 兒 學 園
蠶 業 取 締 所	

工事竣工検査規程左ノ通相定ム

工事竣工検査規程

第一條 大正六年三月三重縣訓令甲第十號ニ依ル工事竣工檢  
査ハ本規程ニ依リ麻長又ハ其ノ指命シタル検査員之ニ行フ  
ヘシ

第二條 検査ハ工事項請負人ヲ立會ハシメ設計仕様書ニ照シ精  
密ニ之ヲ行フヘシ但シ時宜ニ依リ工事項請負人ヲ立會ハシメ  
サルコトヲ得

大正 年 月 日

検査員 氏 名

(第二號様式) 半紙半裁

檢 査 證

郡市 町大字 村大字

地内

此請負金

郡市 町大字 村大字

請負人

起 工 大正 年 月 日

竣 工 大正 年 月 日

契約期限 大正 年 月 日

検査月日 大正 年 月 日

右設計仕様書ニ照シ検査候處相違無之候也

大正 年 月 日

検査員 氏

名

此請負金額

郡市 町大字 村大字

地内

右検査ノ結果竣工セシコトヲ證ス

第五編 土木 第一章 工事

第三條 検査ノ結果適當ト認メタルトキハ別記第一號様式ノ  
竣工證明書ヲ交付スヘシ  
若シ設計仕様書ニ違フトキハ更ニ期限ヲ定メ改築又ハ修補  
ヲ命スヘシ

第四條 検査ヲ了リタルトキハ別記第二號様式ノ竣工検査書  
ヲ作り工費支拂證據書ニ添付スヘシ

第五條 本規程ハ工事項材料検査ノ場合ニ之ヲ準用ス

附則

第六條 本規程ハ大正六年四月一日ヨリ施行ス

第七條 明治三十七年三月三重縣訓令甲第二十四號ハ本令施  
行ノ日ヨリ廢止ス

(第一號様式) 半紙半裁

大正 年度 第 號

竣工證明書

郡市 町大字 村大字

地内

右検査ノ結果竣工セシコトヲ證ス

第五編 土木 第一章 工事

### ●工事進行歩合検査規程

(明治三十七年三月二十五日)  
訓令甲第二十五號

〔附註〕 大正六年三月訓令甲第一二號改正

- 郡 役 所 警 察 署
- 縣 立 學 校 測 候 所
- 農 事 試 驗 場 水 産 試 驗 場
- 明 野 勸 農 場

工事進行歩合検査規程左ノ通相定ム

#### 工事進行歩合検査規程

第一條 大正六年三月三重縣訓令甲第十號ニ依ル工事ニシテ

本縣工事執行規程第三十二條ニ依リ請負金ノ假渡ヲ爲サムトスルトキハ本規程ニ依リ進行歩合ヲ検査スヘシ

第二條 進行歩合ハ請負人ヨリ提出シタル内譯書ニ依リ工事ノ出來形及工場又ハ特ニ指定シタル場合ニ在ル材料(内譯書ニ明記シ)ヲ検査シ定ムヘシ  
工場又ハ特ニ指定シタル場所ニ在ルモ請負人ノ所有タル

### ●工事用材料仕様書

(明治四十一年五月一日)  
告示第百六十三號

〔附註〕 大正二年五月告示第一七一號改正

本縣ニ於テ使用スル工事用材料ノ内左ニ掲クルモノハ特ニ指定シタル場合ヲ除クノ外別冊仕様書ニ依ルモノトス

「ポートルランドセメント」

火山灰

消石灰

煉瓦

鐵具

塗料

沈床用材料

(別冊)

「ポートルランドセメント」仕様書

#### 第一章 總 則

第一條 「ポートルランドセメント」(以下單ニ「セメント」ト稱

第五編 土木 第一章 工事

コトヲ認メ難ク又ハ債務ノ爲差押ヘラレ若ハ債務ノ擔保ニ供シタル材料ハ進行歩合ニ算入スルコトヲ得ス

第三條 進行歩合ヲ検査シタルトキハ左ノ書式ニ依リ調書ヲ作り假渡金請求書ニ添付スルコトヲ要ス  
書 式

#### 工事進行歩合調書

名 稱	數 量	單 價	價 金	額
何 々			圓	
何 々			圓	
計 金				
此ノ十分ノ八				

右ノ通ニ候也

年 月 日

麻 長 氏

名 印

ス)ハ炭酸石灰若ハ石灰ト粘土トヲ能ク混合シ其ノ將ニ溶融セントスルニ至ル迄之ヲ熱灼シテ得タル處ノ燒塊ヲ粉碎シタルモノトス

第二條 供給スヘキ「セメント」ハ標詰トナスヘシ標ハ杉、縦ノ類ヲ以テ作り濕氣ヲ防クニ適當ナル紙子以テ内部ヲ貼り其ノ周圍ニ籠ヲ嚴重ニ嵌メ堅牢ノ構造タルヘシ但シ一標ノ「セメント」ノ量ハ正味三百八十封度以上トス

第三條 該「セメント」指定ノ納入場所ニ達シタルトキハ當廳ノ特ニ命シタル検査員ハ適宜標ノ構造及内部ヲ検査シ濕氣ヲ帯ヒタル形跡アリト認ムル品ヲ發見スルトキハ該一口ノ全部若ハ一部ヲ排斥スヘシ

前項ノ検査ニ合格シタルトキハ検査員ハ隨意ニ一個若ハ數個ノ標ヲ拔取り各標ヨリ供試標本トシテ若干量ノ「セメント」ヲ取出シ之ヲ當廳ノ標本箱ニ納ムヘシ但シ可成其ノ内部ニ濕氣ヲ感セサル様密封スヘシ

前各項ノ検査ニ合格シタル「セメント」ハ請負人ニ於テ將來濕氣ニ感スル虞ナキ様以前ノ如ク叮嚀ニ密閉シ當廳ノ設備

シタル貯藏場ニ貯藏シ第四條ニ記載スル試験ノ終了ヲ待ツ  
ヘシ

第四條 前條第二項ニ記載ノ各供試標本ニ付當廳ハ左ノ試験  
ヲ爲スヘシ但シ時宜ニ依リ其ノ一部ヲ省略スルコトアルヘ  
シ

- 一 硬化ノ緩急ニ關スル試験
- 二 硬化後平温ニ於ケル變形ニ關スル試験
- 三 硬化後高温ニ於ケル變形ニ關スル試験
- 四 純「セメント」ブリツケツト「耐伸力ニ關スル試験
- 五 標準砂ト「セメント」トノ混合ヨリ成レル「モルタル」  
ブリツケツト「耐伸力ニ關スル試験
- 六 粉末ノ程度ニ關スル試験
- 七 比重ニ關スル試験
- 八 化學的成分ニ關スル試験

第二章 硬化ノ緩急ニ關スル試験

第五條 淡水ヲ和シテ混捏シタル「セメント」ニ就キ硬化ノ始  
期ト其ノ終期トヲ測定スヘシ之カ爲ニ豫メ該「セメント」混

本條試験ノ際温度ハ可成攝氏十五度乃至十八度ノ間ニアル  
ヲ要ス

硬化ノ始期一時間ヨリ速カナルカ其ノ終期十二時間ヨリ遅  
キ「セメント」ハ之ヲ不合格品トス

第三章 硬化後平温ニ於ケル變形ニ關スル  
試験

第六條 前條第二項ニヨリ測定シタル適量ノ水ヲ和シテ調製  
シタル糊狀體ノ「セメント」ヲ玻璃板上ニ展延シ饅頭形ノ薄  
片四個ヲ作ルヘシ其ノ直径ハ一「デシメートル」トシ厚サハ  
中央ニテ大約二「センチメートル」タルヘシ

前項ノ薄片ハ濕氣ヲ帶ヒタル布片ヲ以テ之ヲ覆ヒ若ハ蓋ヲ  
具備セル箱中ニ靜置シ二十四時間ヲ經テ玻璃板ノ儘之ヲ淡  
水中ニ浸漬スヘシ水中ニアルコト二十七時間ニシテ該薄片  
ノ周邊ニ裂罅ヲ現ハシ其ノ他少シニテモ膨脹ノ狀ヲ呈シタ  
ルトキハ該「セメント」ヲ以テ不合格品トス

第四章 硬化後高温ニ於ケル變形ニ關スル  
試験

第五編 土木 第一章 工事

第七條 前條ニ於ケルト同様ノ薄片八個ヲ製シ同條第二項  
注意ヲ加ヘテ二十四時間之ヲ大氣中ニ存置シ然ル後玻璃板  
ヨリ剝離シテ四個ハ水ヲ盛リタル鍋中ニ納メ攝氏百度ノ濕  
熱ヲ以テ之ヲ煮沸シ六時間ヲ經テ徐々ニ冷却セシムヘシ又  
他ノ四個ハ爐火ニ架シタル金屬製板上ニ於テ一時間之ヲ乾  
燥スヘシ

前項薄片ニシテ膨脹龜裂ノ兆候ヲ呈シタルモノアルトキハ  
該「セメント」ヲ以テ不合格品トス

第五章 純「セメント」ブリツケツト「耐  
伸力ニ關スル試験

第八條 純「セメント」ニ「キログラム」ニ第五條第二項ニ依リ  
測定シタル適量ノ水量ヲ和シ同項ノ注意ヲ加ヘテ之ヲ混捏  
シテ糊狀體トシ然ル後砲金製ノ模型ニ詰メ「ブリツケツト」  
ヲ調製スヘシ「セメント」ニ「キログラム」ヲ以テ得ル處ノ糊  
狀體「セメント」ノ量ヲ以テ「ブリツケツト」六個ヲ作りテ尙  
餘リアルヘシ一回ニ混捏スル所ノ「セメント」ノ量ハ必ス一  
「キログラム」ヲ以テ限リトスヘシ

第六編 土木 第二章 工事

「ブリツケツト」ヲ製スルノ法ハ先ツ濕リタル布片ヲ以テ能ク型ヲ拭ヒ其ノ六個ヲ玻璃板上ニ竝列シ一回ノ混捏ニ由リテ得タル「セメント」ヲ該六個ノ型ニ盛り分ケ指ヲ以テ能ク壓シ詰メ尙緩テ以テ模型ノ側ヲ叩キ「セメント」ヲ充分減リ込マシメ而シテ其ノ稍硬化スルヲ俟テ小刀ニテ型ノ縁ヲ撫テ餘剰ヲ削除スヘシ

第五條ニ測定シタル硬化時間ヨリ短カカラサル時間ヲ經テ「ブリツケツト」ヲ其ノ模型ヨリ剝離スヘシ之ヲナスニハ模型ヲ玻璃板上ニ僅ニ七ラシ然ル後模型ノ兩片ヲ分離スヘシ模型ヨリ剝離シタル「ブリツケツト」ハ濕リタル大氣中ニ於テ硬化セシメ二十四時間ヲ經過シタル後之ヲ淡水中ニ浸漬スヘシ其ノ大氣中ニ存置スル間ハ第六條第二項ノ注意ヲ要ス水ハ二日ニ一回ツ、汲ミ替フルモノトス

「セメント」ノ各供試標本ニ對シ「ブリツケツト」十二個ヲ作ルヘシ其ノ六個ハ之ヲ七日ノ後ニ截斷シ他ノ六個ハ二十八日ノ後ニ之ヲ切斷スヘシ同時ニ截斷スル處ノ「ブリツケツト」六個ノ内三個ハ之ヲ第一回ノ混捏ニ依リテ得タル「ブ

リツケツト」中ヨリ採擇シ他ノ三個ハ次ノ混捏ニ係ルモノヨリ採擇スヘシ

前項ノ「ブリツケツト」浸水及切斷時間ハ「セメント」混捏ノ時期ヨリ之ヲ算測スルモノトス  
「ブリツケツト」切斷面ハ一平方吋トス同時ニ切斷シタル「ブリツケツト」六個中最弱ナルモノ二個ヲキ残り四個ノ成績ヲ平均シテ得タル處ノ耐伸力ヲ以テ其ノ際ノ耐伸力ト決定ス

第九條 純「セメント」「ブリツケツト」ノ七日後ニ於ケル耐伸力ハ切斷面一平方吋ニ付二百八十封度以上タルヲ要ス  
同上二十八日後ニ於ケル耐伸力ハ切斷面一平方吋ニ付四百六十封度以上タルヲ要ス  
耐伸力前二項ノ限度ニ達セサルトキハ其ノ「セメント」ヲ不  
合格品トス

第六章 標準砂ト「セメント」トノ混合ヨリ

成レル「モルタルブリツケツト」耐伸力ニ關スル試験

第十條 當廳貯藏ノ標準砂ハ一志郡鶴村ノ字五圭地先雲出川

吐口ニ於テ最モ石英質ニ富ミ雲母少ナキモノヲ撰ミテ採取シ充分長ク洗滌シタルモノニシテ砂粒ノ細度ハ一平方吋ニ付四百孔ヲ有スル金屬製ノ篩ヲ悉ク通過シ同九百孔ノ篩上ニ悉ク留止スルモノトス

重量ニテ「セメント」一標準砂三ノ割合ヲ以テ調製シタル膠泥ヲ標準「モルタル」ト稱シ耐伸力ノ試験ニ供スル「モルタルブリツケツト」ハ凡テ該標準「モルタル」ヲ以テ之ヲ製ス

「ブリツケツト」ノ切斷面ハ一平方吋トス其ノ製作方法ハ左ノ如シ

「セメント」一砂三ノ比例ニ於ケル混交物千二百「グラム」即チ「セメント」三百「グラム」ト砂九百「グラム」トヲ鐵製ノ鉢ニ盛り先ツ充分ニ之ヲ混合シ次ニ適量ノ淡水ヲ和シテ五分間之ヲ混捏スヘシ

適量ノ水トハ第五條ニヨリ測定シタル處ノ「セメント」一「キログラム」ニ要スル水量ノ十分ノ二ニ淡水五十四「グラ

ム」ヲ加ヘタルモノヲ云フ

第十一條 各供試標本ヲ以テ「ブリツケツト」十二個ヲ作ルヘシ之ニ要スル膠泥ハ之ヲ二回ニ混捏シ一回ノ量ヲ以テ「ブリツケツト」六個ニ充ツヘシ

模型ニ膠泥ヲ盛り「ブリツケツト」ヲ製スル方法ハ大體ニ於テ第八條ニ規定スル處ト大差ナキモノトス但シ膠泥ヲ型ニ打込ムハ鐵篋ヲ以テシ最初和カニ型ノ周邊ヲ叩キ次ニ強ク中央ヲ叩キ而シテ模型上ニ凸起セシ剩餘ハ小刀ヲ以テ之ヲ削リ去リ以テ其ノ仕上ヲ終ルモノトス鐵篋ハ當廳備付品中ヨリ適當ノモノヲ撰擇スルモノトス

作製後相當ノ時間ヲ經過スレハ模型ヲ除却シ「ブリツケツト」ヲ玻璃板上ニ竝列シバル儘濕リタル大氣中ニ於テ硬化セシメ二十四時間ヲ經テ淡水中ニ浸漬スヘシ其ノ大氣中ニ存置スル間ハ日光及空氣ノ流動ニ當ラサル様注意スヘシ水ノ汲替及「ブリツケツト」ノ切斷ニ關スル規定ハ凡テ第八條ヲ適用ス

第十二條 標準「モルタル」ノ七日後ノ耐伸力ハ切斷面一平方

時ニ付百封度以上ナルヲ要ス

同二十八日後ノ耐伸力ハ截断面一平方吋ニ付二百封度以上ナルヲ要ス

耐伸力前二項ノ制限ニ達セサルトキハ其ノ「セメント」ヲ不合格品トス

第七章 粉末ニ關スル試験

第十三條 粉末ノ細度ヲ試験スル爲左記三種ノ金屬製篩ヲ用

ウ

甲號篩 一平方吋ニ付 二千五百ノ孔眼ヲ有スルモノ

乙號篩 同 五千七百七十六ノ孔眼ヲ有スル

モノ

丙號篩 同 一萬ノ孔眼ヲ有スルモノ

先ツ「セメント」百「グラム」ヲ取り之ヲ前項三種ノ篩ニテ篩ヒ其ノ殘滓甲號篩ニテ零乙號篩ニテ千分ノ五丙號篩ニテ千分ノ十五ヲ超過セサルヲ要ス

前項制限中不適當ノモノアルトキハ之ヲ不合格品トス但シ甲號及乙號ノ篩ニ於ケル殘滓ニ付テハ其ノ場合ニヨリ酌量

カニ其ノ比重ヲ知ルヲ得ヘシ此ノ方法ニ依リ測定シタル「セメント」ノ比重三、〇ヨリ少ナキモノアルトキハ其ノ「セメント」ヲ不合格品トス

第九章 化學的成分ニ關スル試験

第十五條

化學的成分ニ關シテハ特ニ指定シタル場合ニ限り之ヲ試験ス此ノ場合ニ於テハ左ノ各號ニ適合セサル「セメント」ヲ以テ不合格品トス

一 定量分析ニ依リ硫酸(SO<sub>3</sub>)百分ノ一、五以上若ハ硫化物

ノ定量ニ堪ユヘキ分量ヲ含有セサルコト

二 定量分析ニ依リ苦土(MgO)百分ノ三以上ヲ含有セサルコト

ト

三 定量分析ニ依リ酸化鐵(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)百分ノ四以上ヲ含有セサル

コト

四 定量分析ニ依リ化合硅酸(SiO<sub>2</sub>)及礬土(AL<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)ノ合重量ノ石

灰(CaO)ニ於ケル比百分ノ四十二以上ヲ有スルコト

第十六條 (削除)

第十七條 (削除)

スルコトアルヘシ

第八章 比重ニ關スル試験

第十四條 「セメント」ノ比重ヲ試験スル爲當應備付ノ比重計ヲ用ウ器ハ玻璃製ノ瓶ニシテ上部中央ニ口アリ爰ニ玻璃製ノ管子立テ之ニ一立方「サンチメートル」ノ容積ニ對スル目ヲ盛り其ノ管ノ下端瓶ノ口ニ接スル處ハ充分摺り合セ液體ノ漏洩ナカラシメ上端ハ物ヲ注入スルニ適スル樣漏斗形ヲナサシム比重計ルニハ先ツ器ノ内ニ「テレピン」油若ハ石油ヲ適度ニ注入シ其ノ油ノ表面ニ於ケル目盛ヲ讀ミ次ニ「グラム」ノ「セメント」ヲ管ノ上端ヨリ遺漏ナキ樣徐々ニ投入シ其ノ充分器ノ底部ニ沈下スルヲ待テ再ヒ油ノ表面ニ於ケル目盛ヲ讀ムヘシ此ノ兩度ニ讀ミタル目盛ノ差ハ明カニ「セメント」十「グラム」ノ容積ヲ立方「サンチメートル」ニテ表ハスヘク而シテ攝氏四度ニ於ケル蒸溜水一立方「サンチメートル」ノ重量ハ一「グラム」ナルヲ以テ其ノ數ハ直チニ其ノ同一容積ニ於ケル前記ノ水ノ重量ヲ表ハスヘシ即チ之ヲ前記投入セル「セメント」ノ重量十「グラム」ニ比較セハ明

第十八條 (削除)

第十九條 (同上)

火山灰仕樣書

第一條 火山灰ハ噴火山ノ作用ニ依リ生シタル天然物ヲ充分乾燥セシメ之ヲ粉碎シテ得タルモノニシテ以下各條ノ事項

ニ適合スルモノタルヲ要ス

第二條 火山灰試験ノ爲使用スヘキ「セメント」ハ「ポートル」ノ「セメント」仕樣書ニ記載シタル事項ニ合格シタルモノ

ニシテ砂ハ同仕樣書第十條第一項ノ標準砂トス

第三條 火山灰ハ樽詰函入若ハ叭入トシ粉末ノ飛散スル處ナキ樣嚴重ニ裝置ヲナスヲ要ス

第四條 火山灰及「セメント」ヲ重量ニテ火山灰一「セメント」

一ノ比ニ調合シ適量ノ水ヲ和シテ混捏シタルモノニ就キ

「ポートル」ノ仕樣書第五條ノ標準針器ニ依リ測定シタル硬化ノ初期ハ一時間ヨリ速カラス又其ノ終期ハ十二時間ヨリ遅カラサルヲ要ス

火山灰及「セメント」ノ合計量一〇〇「グラム」ニ對スル前

項適量ノ水ハ「セメント」一〇〇、「グラム」ニ對スル「ポートランドセメント」仕様書第五條第二項ノ水量ニ一、一四ヲ乘シ四、七一「グラム」ヲ加ヘタル量ノ水ヲ云フ

第五條 火山灰及「セメント」ヲ前條ト同一ノ方法及割合ニテ水ト混捏シ「ポートランドセメント」仕様書第六條ニ準シ饅頭形薄片ヲ作り之ヲ以テ硬化後平温及高温ニ於ケル膨脹龜裂ニ關スル試験ヲナシ毫モ其ノ兆候ヲ認メサルヲ要ス

第六條 火山灰及「セメント」ヲ重量ニテ各等量ニ調合シ之ニ適量ノ水ヲ和シ「ポートランドセメント」仕様書第八條ニ準シ「ブリツケット」ヲ製作シ同條ノ方法ニ依リ浸水セシメ混捏後半數ハ七日間他ノ半數ハ二十八日間ヲ經過シタルトキ之ヲ切斷シ其ノ耐伸力一平方吋ニ付七日後ノ分百八十封度以上二十八日後ノ分二百八十封度以上ナルヲ要ス

前項適量ノ水トハ火山灰及「セメント」ノ合計量ト等量ナル「セメント」ニ對スル適度水量（「ポートランドセメント」仕様書第五條ニヨリ測定シタルモノ）ニ〇、七ヲ乘シテ得タル量ノ水ヲ云フ

第七條 火山灰百五十「グラム」「セメント」百五十「グラム」及砂九百「グラム」ヲ調合シ之ニ適量ノ水ヲ加ヘ「ポートランドセメント」仕様書第十條ノ方法ニ準シ「モルタルブリツケット」ヲ製作シ之ヲ浸水セシメ混捏後半數ハ七日間他ノ半數ハ二十八日間ヲ經過シタル時之ヲ切斷シ其ノ耐伸力一平方吋ニ付七日後ノ分七十封度以上二十八日後ノ分百五十封度以上ナルヲ要ス

前項適量ノ水トハ火山灰百五十「グラム」「セメント」百五十「グラム」ノ混合物ニ對スル前條第二項ノ水量ニ五十四「グラム」ヲ加ヘタル量ノ水ヲ云フ

第八條 火山灰ハ「ポートランドセメント」仕様書第十三條甲號篩ヲ全部通過シ乙號篩ニ於テ其ノ殘滓千分ノ三丙號篩ニ於テ其ノ殘滓千分ノ九ヲ超過セサルヲ要ス

第九條 火山灰ノ比重ハ二、二五以上ナルヲ要ス  
前項ノ比重ハ「ポートランドセメント」仕様書第十四條「セメント」ノ比重ヲ測定セル方法ニ準スルモノトス

第十條 檢査及試験ノ方法ニシテ特ニ明記セサルモノハ「ポ

「トランドセメント」仕様書記載ノ方法ニ準スルモノトス  
消石灰仕様書

第一條 消石灰ハ炭酸石灰ヲ熟灼シテ得タル塊ニ適量ノ水ヲ注キテ沸化セシメタルモノトス

第二條 消石灰ハ沸化後床ヲ有スル適當ノ小屋内ニ撒布シ遊離石灰ノ痕跡ヲ止メサルモノト認ムルニ至リ一平方吋ニ付四百孔ヲ有スル金屬製篩ヲ通過セシメ之ヲ完全ナル權若ハ叭ニ入レ粉末ノ飛散スル虞ナキ様嚴重ニ裝置ヲナスヲ要ス

第三條 消石灰ハ左ノ各號ノ事項ニ適合スルモノタルヲ要ス  
一 色澤  
純白ナルヲ要ス

二 篩目

第二條ノ篩ヲ全部通過スルコトヲ要ス

三 不純物ノ量

百分ノ十五以内ナルヲ要ス

四 遊離石灰ノ有無

消石灰ノ重量ニ於テ十分ノ四ノ水ヲ加ヘ糊狀體ト爲シ

第五編 土木 第一章 工事

之ヲ以テ饅頭形薄片ヲ作り硬化ヲ了スル以前ニ於テ乾燥セサル様注意ヲ加ヘ製作後七日間空氣中ニ存置シ毫モ龜裂ヲ生セサルヲ要ス

前記ノ薄片ヲ前同様ノ注意ヲ加ヘテ二晝夜空氣中ニ存置シ其ノ内或モノヲ一時間爐中ニ乾燥セシメ又他ノモノヲ三時間沸煮シ毫モ龜裂ヲ生セサルヲ要ス

五 耐伸力

消石灰ハ第四號同様ノ割合ヲ以テ水ヲ加ヘ糊狀體ト爲シ之ヲ以テ「ブリツケット」ヲ作り第四號同様ノ注意ヲ加ヘ製作後空氣中ニ存置シ其ノ耐伸力左ノ通タルヲ要ス

水ヲ混シタル後經過シタル日數	七	十四
耐伸力（一平方吋ニ付）	三十三封度以上	四十封度以上

消石灰ニ「ポートランドセメント」仕様書第十條ノ標準砂ヲ重量ニテ一ト三トノ割合ヲ以テ和シ之ニ重量ニテ〇、五ノ水ヲ混シ充分混捏シタル後「ブリツケット」ヲ

作り第四號同様ノ注意ヲ加ヘ製作後空氣中ニ存置シ其ノ耐伸力ハ左ノ通タルヲ要ス

水ヲ混シタル後經過シタル日數	七	十四
耐伸力(一平方吋ニ付)	二十五封度以上	三十封度以上

第四條 檢收及試験ノ方法ニシテ特ニ明記セサルモノハ「ポ

ートランドセメント」仕様書記載ノ方法ニ準スルモノトス

煉瓦仕様書

第一條 煉瓦ハ粘土及砂ヲ適度ニ捏リ合セ適當ノ形狀ニ固メ

テ之ヲ乾燥セシメ而シテ後之ヲ熱灼シテ得タルモノトス

第二條 形狀ハ規矩正シク各個不同アルヘカヲサレハ勿論特

ニ其ノ形ヲ指定シタルモノノ外ハ表裏前後左右相對スル面

ハ各竝行シ其ノ縁端、直線ナルヘク又相接スル兩面間ノ角

度ハ直角ナルヲ要ス

各面共平坦ニシテ凸凹アルヘカラスト雖過度ノ燃燒等ノ爲

滑カニ失スルハ「モルタル」附著ニ適セサルヲ以テ製造上相

當ノ注意ヲ要ス

第三條 其ノ寸法ハ特ニ指定シタル場合ノ外仕上ニ於テ長七

寸二分巾三寸五分厚一寸九分タルヲ要ス但シ長巾厚ニ於テ

各一分以内ノ伸縮ハ之ヲ許スコトアルヘシ

第四條 質ハ堅固緻密ニシテ疎密不同ナキハ勿論斑紋裂目

(乾割燒割破損等)氣泡等ノ缺點少ナク小石其ノ他ノ不純物

殊ニ石灰ハ可及的含有セサルヲ要シ之ヲ打テハ金屬ノ如キ

清音ヲ發スルモノタルヲ要ス

耐壓力ハ特ニ指定シタル場合ニ限り之ヲ試験ス此ノ場合ニ

於テハ一平方吋ニ付二噸以上ノ耐壓力ヲ有スルコトヲ要ス

第五條 吸水量ハ煉瓦ノ重量ノ十分ノ一ヲ超ユヘカラス之ヲ

檢定スルニハ試験用煉瓦十個ヲ適宜ニ擇ヒ乾燥器ニテ克ク

之ヲ乾燥シタル後大氣ノ溫度ト平均スルヲ待テ大氣中ニ於

テ各別ニ之ヲ秤量シ次ニ水中ニ浸シ四十四時間ヲ經テ再ヒ

之ヲ採リ出シ四時間大氣中ニ晒シ表面ノ水分全ク蒸發シ去

ルヲ待テ始メテ投水前ノ如ク各別ニ秤量シ之ヲ投水前ノ重

量ニ比較シテ各別ニ煉瓦重量ニ對スル吸水量ノ比ヲ見其ノ

最大ナルモノ七個ノ平均ヲ用ウ

第六條 比重ハ一、八若ハ其ノ以トタルヲ要ス之ヲ檢定スル

ニハ前條ノ煉瓦ノ容積ヲ各別ニ量リ之ト同積ノ攝氏四度蒸

溜水ノ量ヲ各別ニ算出シ各煉瓦ニ付前條ニ測定シタル大氣

中ノ重量ニ比較シ是等比重中最輕ナルモノ七個ノ平均ヲ用

ウ

鐵具仕様書

第一章 鑄鐵具

第一條 鑄鐵具ハ精良ナル鉄鐵ヲ以テ鑄造セラレタルモノニ

シテ古鐵ヲ混スルコトナク其ノ質ハ特ニ指定セラレタル場

合ヲ除クノ外其ノ破壞面灰色ニシテ細微ナル粒狀ヲナシ炭

素ノ最中位ニアルモノヲ要ス

第二條 鑄鐵具ハ其ノ形狀正確組織均一ニシテ鑄瑕、鑄痕、

鑄房、氣泡等ノ缺點ヲ存セサルヲ要ス

第三條 鑄鐵具ノ外面ハ充分滑カニ之ヲ仕上クルヲ要ス

前項ノ目的ヲ以テ製作者ハ其ノ鑄造ニ際シ型ヲ充分煖灸シ

テ黒鉛又ハ其ノ他ノ適當品ヲ之ニ塗り鑄造後本鐵具ノ砂ヨ

リ容易ニ分離スル様注意スヘシ

第五編 土木 第一章 工事

第四條 鑄鐵具ノ一部ニ他ノモノト當ニ磨擦シ磨滅ノ虞

場所アルトキハ之ヲ防クカ爲其ノ部分ニ限り當廳ノ指揮

從ヒ適當ニ其ノ表面ノ硬度ヲ高ムルヲ要ス

前項ノ目的ヲ以テ製作者ハ其ノ鑄型中ノ必要ナル部分ニ鐵

片ヲ附シ製作ニ際シ鐵具ノ其ノ部分ヲ急劇ニ冷却セシムル

カ若ハ他ニ適當ノ方法ヲ採ルヘシ

第五條 鑄鐵具中ニ必要ナル「ボールト」孔ノ類ハ鐵孔ヲ許サ

ス必ス錐採ノ方法ヲ以テ正確ニ之ヲ穿ツヲ要ス

第六條 當廳ハ必要ト認ムル場合ニ於テ鑄鐵具ト同一ノ鉄鐵

ニテ鐵具ト同時ニ巾一吋厚二吋長三吋六吋ノ試験材片ヲ鑄

造セシメ之ヲ徑間三呎ノ所ニ跨ラシメ此ノ中央ニ荷重ヲ加

ヘ順次二十八「ハンドレツドウエイト」ニ達セシムヘシ

前項試験ノ結果荷重其ノ程度ニ達セサルトキニ於テ破壞ヲ

始メ又ハ其ノ破壞ノトキ彎曲ノ度中央ニ於テ十六分ノ五吋

ニ滿タサルモノハ不合格品トス

第二章 鍊鐵具及鋼鐵具

第七條 鍊鐵材ハ其ノ耐伸力一平方吋ニ付二十二噸以上ニシ



テ其ノ破壊ノ場合ニ於ケル伸張ノ割合百分ノ二十以上断面縮少ノ割合百分ノ二十以上ナルヲ要ス

第八條 鋼鐵材ハ其ノ耐伸力一平方吋ニ付三十噸以上ニシテ其ノ破壊ノ場合ニ於ケル伸張ノ割合百分ノ二十五以上断面縮少ノ割合百分ノ四十以上ナルヲ要ス

第九條 前二條ノ鐵材ヲ以テ製作シタル鍊鐵具及鋼鐵具ハ其ノ形狀正確組織均一ナルヲ要シ皸裂其ノ他ノ缺點ナク又鍛接ハ特ニ之ヲ指定シタル場所ノ外決シテ之ヲ許サ、ルモノトス

第十條 鍊鐵具及鋼鐵具ハ其ノ形狀及重量ハ正確ナルヲ要スト雖特ニ指定セサル場合ニ於テハ公差トシテ其ノ延長每一個ニ付十六分ノ十三吋以内ノ増、其ノ重量總數ニ付百分ノ三以内ノ増減、每一個ニ付百分ノ五以内ノ増百分ノ二以内ノ減ヲ許スモノトス

前項ノ公差ヲ許スト雖緩釘孔、留串孔等ハ各所定ノ位置ニ正確ニ設ケルコトヲ要ス

第十一條 「ボールド」頭部ノ製作方法ハ全ク鍛接ヲナサ、ル

カ若ハ之ヲ赤熱ノ状態ニ於テ摺込ミ其ノ先端ノ徑ヲ十分ノ二以上元徑ヨリ大ナラシメタル後同質ノ鐵片ヲ卷付ケ完全ニ之ヲ鍛接セシムルモノトス

「ボールド」ノ頭、「ナット」及座鐵ハ特ニ其寸法ヲ指定セサル場合ニ於テハ頭及「ナット」ハ其ノ最少巾「ボールド」ノ徑ノ二倍以上其ノ厚ハ其ノ徑ト同一以上ニシテ座鐵ハ其ノ最少巾「ボールド」ノ徑ノ三倍以上其ノ厚其ノ三分ノ一以上ナルヲ要ス

第十二條 螺旋ハ其ノ如何ナル部分ヲ問ハス其ノ切込正確ニシテ雌雄完全ニ適合シ其ノ回轉自由ニシテ且弛ナキヲ要ス

「アツプセット」螺旋ヲ製作スルニハ「ロッド」ヲ赤熱ノ状態ニ於テ完全ニ摺込ミタル後其ノ上ニ螺旋切ヲナスカ若ハ當應ニ於テ承認シタル方法ニ依ルモノトス

「アツプセット」螺旋ノ各ノ徑ハ必ス元「ロッド」ノ徑ヨリ小ナラサルヲ要ス

第三章 雜則

計

二八、〇

第十三條 鐵具類ノ製作ヲ結了シタルトキハ供給者ハ白絞油ヲ以テ其ノ表面ヲ拭ヒ之ヲ當廳ノ指定スル場所ニ納付スヘシ

第十四條 當廳ハ各鐵具ヲ検査シ適當ト認ムル方法ニ依リ試験ヲナスヘシ

前項試験ノ爲當廳ハ供給品中ヨリ三個以内ヲ適宜ニ撰出シ之カ切斷ヲ命スルコトアルヘシ

前項切斷ノ結果不足ヲ生シタル鐵具ハ當廳ノ指定スル期限内ニ於テ代品ヲ納入スヘシ代品ノ試験ニ付テモ前項ヲ適用スルモノトス

第十五條 前條ノ試験ニ合格シタル鐵具ニハ指揮ニ從ヒ釘止トシテ入念ニ鉛丹ヲ塗抹スヘシ

塗料仕様書

第一條 白鉛「ペイント」ハ純粹ナル鉛白ヲ精製亞麻仁油ニテ研磨シタル硬練ノモノニシテ其ノ一罐ノ組成ハ左ノ通トス

鉛 白 二五、八 封度

精製亞麻仁油 二、二

第五編 土木 第一章 工事

計

二八、〇

原料トナルヘキ鉛白ハ其ノ粉末ノ細微ナルコト及濕氣ヲ含有セサルコトヲ要シ炭酸瓦斯ノ量ハ百分ノ十乃至十一半ナルヘク硫酸鉛、硫酸「カルシウム」、硫酸「バリウム」、陶土等ノ不純物ヲ含有セス研磨ノ後ト雖濕氣ニ感セサルヲ要ス

第二條 白亞鉛「ペイント」ハ純粹ナル亞鉛華ヲ用キ前條ノ如ク硬練シタルモノニシテ其ノ一罐ノ組成ハ左ノ通トス

亞鉛華 二四、四 封度

精製亞麻仁油 三、六

計

二八、〇

原料粉末ノ細微ナルコト及濕氣及不純物ヲ含ハセサルコトヲ要スルハ鉛白ノ場合ト同一ナルヘシ

第三條 鉛丹ハ其ノ色帶黃赤色其ノ粉末細微ニシテ不純物(洋朱、硫酸「バリウム」、陶土、酸化鐵、煉瓦末)等ノ量ハ百分ノ一、五ヲ超過セサルヲ要ス

本材料ハ罐詰トナシ一罐二十八封度入トス

第四條 煮亞麻仁油ハ精製亞麻仁油ヲ徐々ニ加熱シ油ノ煮沸

ヲ始ムルヤ絶ヘス攪拌シツ、加熱ヲ續ケ溫度攝氏二百三十度乃至二百五十度ニ至ルヲ待チテ漸次低熱セシメ百三十度乃至百五十度ノ時ニ於テ適當ノ乾燥劑ヲ加ヘ約一時間此ノ溫度ヲ保タシメタル後全ク加熱ヲ止メ漸次冷却セシメ得タルモノタルヲ要ス

前項乾燥劑ハ亞鉛性ノ「ペイント」ニ使用スル場合ニハ亞鉛性ノモノヲ要シ鉛性ノ「ペイント」ニ使用スル場合ニハ鉛性ノモノヲ要ス

本材料ハ粘稠性橙黄色ノ液體ニシテ固有ノ香ヲ有シ之ヲ顔料ト配合スルモ毫モ作用ヲ受クルコトナク諸材料ニ塗布シ一定ノ時間ヲ以テ乾燥固結シテ彈性ノ皮膜ヲ作り龜裂ヲ生セサルヲ要ス

比重ハ攝氏十五度半ノ溫度ニ於テ〇、九三五乃至〇、九五〇タルヘク樹脂油、礦脂油、「ベンゾール」「コロホニー」、魚油、「テレピン」油等ノ不純物ヲ含有セサルヲ要ス

乾燥度ハ前項ノ溫度ニ於テ二十四時間以内ノ程度トス

本材料ハ罐詰トナシ一罐五噸入トス(噸ハ英國ノ「ガロン」

ナリ以下同シ)

第五條 「テレピン」油ハ透明無色揮發性ノ液體ニシテ純粹ナルモノヲ要シ不純物(不揮發性脂油、礦脂油等)ノ量ハ百分ノ二、五ヲ超過セサルヲ要ス

本材料ハ罐詰トナシ一罐四噸入トス

第六條 「パテントドライヤ」ハ「ペイント」ノ色彩ヲ毀損セサルモノヲ要シ其ノ乾燥度ハ攝氏十五度半ノ溫度ニ於テ白鉛「ペイント」二十瓦煮亞麻仁油四瓦ニ二瓦ヲ混和シタルトキ十時間以内ノ程度トス

本材料ハ罐詰トナシ一罐二封度入トス

第七條 「ラツクワニス」ハ重量ニテ「シエルラツク」一、五「アルコール」八、三ノ配合ヨリ成ルモノニシテ松脂其ノ他ノ不純物ノ量ハ可及的含有セサルヲ要シ其ノ乾燥度ハ十五度半ノ溫度ニ於テ一時間半以内ニテ其ノ表面乾燥シ二十時間以内ニテ其ノ塗粧面ヲ輕石ニテ研磨シ得ルニ至レテ程度トス

本材料ハ罐詰若ハ袋詰トナシ一封度入トス

テ研磨シ得タルモノニシテ砂及其ノ他ノ不純物ヲ混有セサルヲ要ス

本材料ハ油ノ乾燥セサル様入念ニ之ヲ包ミ一玉十四封度入トス

第十條 煙煤ハ其ノ色純黒ニシテ粉末ハ細微ナルヲ要シ不純物(不燃燒ノ油分及「タール」等)ノ量ハ百分ノ三ヲ超過セサルヲ要ス

黃鉛、亞鉛、黃粉、群青、紺青等ノ顔料ハ總テ純粹ナルモノヲ要ス

第十一條 「コールター」ハ石灰ヲ乾溜シテ生スル暗黒色粘稠性油狀ノ液體ニシテ其ノ比重ハ一、一乃至一、二タルヘク水分及塵埃ヲ可及的含有セサルヲ要ス

本材料ハ罐詰トナシ一罐四噸入トス

第十二條 生石灰ハ純粹ナル炭酸石灰ヲ熱灼シテ得タルモノタルヲ要ス

第十三條 各材料ノ調合本仕様書ト異ナル點アルモ支障ナシト認メタル場合ハ之ヲ採用スルコトアルヘシ

第八條 「コーバルワニス」ハ亞麻仁油ニ乾燥劑ヲ混シ之ヲ熱シテ液面ニ薄膜ヲ生スルヲ度トシ火ヲ去リ漸次靜置シテ不溶解物ヲ沈降セシメ上層ノ清澄ナルヲ傾瀉シ之ニ「ゴムコーバル」ヲ別器ニ溶解セシメタルモノヲ和シ再熱シテ二液ヲ充分混合シ液ノ凝集スルコトナキ様斷ヘス攪拌シ濃稠ナル膠狀體トナルニ至テ放冷シ後更ニ「テレピン」油ヲ加ヘテ稀薄トナシ布ヲ以テ濾過シテ得タルモノニシテ重量ニテ次ノ割合ニ混和スルモノトス

「ゴムコーバル」 一一、五

亞麻仁油(亞麻仁油ヲ熱シテ乾燥劑ヲ混シテ得タルモノ) 一一、五

「テレピン」油 七五、〇

本材料ハ可及的純粹ニシテ色澤良好ナルヲ要シ褪色龜裂剝脫等ノ缺點ヲ生スルコトナク其ノ乾燥度ハ十五度半ノ溫度ニ於テ其ノ表面十三時間以内ニテ乾燥シ三十六時間ニシテ塗粧面ヲ輕石ニテ研磨シ得ルニ至ルヲ程度トス

本材料ハ罐詰トナシ一罐一噸入トス

第九條 「パテ」ハ重量ニテ炭酸石灰百ヲ煮亞麻仁油二十三ニ

本仕様書ニ定メタル各材料一罐一塚若ハ一玉ノ容積及重量ハ供給者ノ請求ニ依リ之カ變更ヲ許可スルコトアルヘシ

沈床用材料仕様書

第一條 粗朶ハ其ノ材種ヲ制限セスト雖木質緻密強靱ニシテ彈性ニ富ミ腐朽枯剛等ノ缺點ナク元口徑一寸二分以下ニシテ幹ニ著シキ屈曲ナク細枝ニ富ミタルモノヲ撰ヒ充分其ノ葉ヲ落シ去リタルモノタルヲ要ス

前項ノ粗朶ハ柔軟ナル蔓ノ類ヲ以テ三ヶ所以上結束シ束ノ大サハ適度ニ締付ケタル場合ニ元ヨリ一尺ノ處ニ於テ其ノ周圍二尺三寸以上六尺ノ處ニ於テ二尺五寸以上十尺ノ處ニ於テ一尺八寸以上ヲ要シ重量ニテ其ノ長九尺以上ノモノ十分ノ六以上内六二尺以上ノモノ總量ノ十分ノ二以上ヲ要シ六尺未満ノモノヲ包含スルヲ許サス

第二條 帶梢ハ其ノ質前條ノ通ニシテ屈曲少ナキモノヲ撰ヒ悉ク細枝ヲ拂ヒ去リタルモノタルヲ要ス

前項帶梢ノ長サハ十二尺乃至十四尺ニシテ元口徑七分乃至八分タルヘケ粗朶ト同様ニ三ヶ所以上ヲ結束シ二十五本ヲ

以テ一束トス

第三條 小杭ハ其ノ質緻密堅牢ナル材種ヲ撰ヒ眞直ナルモノニシテ打込ニ差支ナキ様町嚙ニ枝ヲ除去シ元口ヲ正シク鋸去シ先端ヲ三角形ニ削尖セルモノタルヲ要ス

小杭ノ長サハ四尺トシ元口徑一寸三分乃至一寸六分ノモノ十本ヲ以テ一束トス

第四條 三子繩ハ耐力ニ富ミタル藁ヲ三子ニ合セ固ク綯ヒタルモノニシテ元口ニ蛇口狀ノ輪ヲ附シ長サ十一尺元口徑八分トシ末ニ至ルニ從ヒ漸次其ノ太サヲ減シ六分ニ止ムルモノトス

前項ノ長及徑ハ其ノ寸法ヲ超過スト雖使用ニ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ採用スルコトアルヘシ

第五條 藁ニ子繩ハ耐力ニ富ミタル藁ヲ二子ニ固ク綯ヒタルモノニシテ元口徑四分以上長十尺ニ付重量二十匁以上ヲ要シ長百尺ヲ以テ一房トス

第六條 棕梠ニ子繩ハ純粹ノ棕梠纖維ヲ用キ固ク二子ニ綯ヒタルモノニシテ四分以上ノ徑ヲ要シ長百尺ヲ以テ一房トス

●土木工事ニ使用スル土石砂礫無料採取ノ件

(大正六年十月五日 告示第三百八十三號)

請負人ニ於テ縣ノ工事ニ使用スル土石砂礫ハ無料ニテ管内官有河川及沿海ニ於テ採取スルコトヲ得但シ採取ニ關シテハ所轄工區主幹ノ承認ヲ受クヘシ

●土木工事ノ許可申請ニ關スル件

(明治四十三年八月二日 訓令甲第三十一號)

郡	役	町	
市	役	所	
町	村	役	場

郡市町村及水利組合ニ於テ土木工事ノ施行ニ付許可ヲ申請スルトキハ其ノ工費ニ關聯スル歳入歳出豫算ノ決算書寫ヲ提出スヘシ

●土木工事並發電用水利使用取締規則

(大正六年八月二十八日 縣令第二十號)

大正一四年七月縣令第五〇號改正

土木工事並發電用水利使用取締規則

第一條 左ニ掲タルモノノ新築、改築、増築、變更、除却、浚渫、掘鑿又ハ復舊ニシテ新築ニ均シキモノ若ハ廢止ヲ爲サムトスル者ハ特ニ規程アルモノヲ除クノ外本則ニ依リ知事ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 道路、橋梁
- 二 河川、堤防、水制、護岸、運河、用惡水路、溝渠、灌排用揚水機、樋管、閘門、溜池、堰堤
- 三 港灣、船渠、埠頭、防波堤、棧橋、河海運河ノ沿岸物揚場
- 四 河海、運河、用惡水路、溝渠、溜池等ヨリ引水シ又ハ之ニ注入スル工事若ハ水車

五 第一號乃至第三號ノ設備物上下ニ施設スル工事

第二條 發電原動力ニ供スル爲河川其ノ他ノ水ヲ使用セムトスル者ハ本則ニ依リ知事ノ許可ヲ受クヘシ變更セムトスルトキ亦同シ

第三條 前各條ノ場合ニ於テ國有土地水面使用ノ必要アルトキハ大正十一年本縣令第六十二號ニ依リ本願書ニ併記スヘシ

第四條 第一條ニ依リ許可ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ左ノ書類及圖面ヲ添付スヘシ

- 一 計畫説明書
- 二 設計仕様書
- 三 潰地調査
- 四 維持方法書
- 五 實測圖(平面圖、縱断面) 及横断面圖
- 六 構造圖
- 七 公共團體ノ出願ニ在リテハ其ノ決議書ノ謄本
- 八 代理人ノ出願ニ在リテハ其ノ權限ヲ證スル書面

第五條 第二條ニ依リ知事ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ

左ノ事項ヲ記載シタル書面及圖面(馬力數百馬力以上ノモノハ)ヲ添付スヘシ

第一 起業ノ概要

一 起業者ノ住所職業及氏名(會社ナルトキハ其社名)

二 起業ノ目的、供給區域又ハ鐵道若ハ軌道經過地並其ノ圖面(縮尺約二十萬分ノ一)

(例ハ電燈ノ供給事業ナルトキハ何縣何郡何町村

内ノ燈火用、電力ノ供給事業ナルトキハ何鐵道、何

軌道、何鑛山何工場用、其ノ他電氣工業用ニ供スル

モノナルトキハ何所在地何製造所、何工場用ノ類)

三 取水河川(他ノ公有水面ヲ)名並取水口及放水口ノ位置

(例ハ取水河川幹川何川支(派)何川取水口何縣何

郡何町村何大字大字放水口何縣何郡何町村何大字何

字)

四 使用水量(毎秒時ニ付立方尺、湯水時ノ水量ヲ超過

口ノ位置ヲ記載スルコト)

三 水路豫測縱断面圖(縮尺横六千分ノ一以上縱二百分

ノ一以上トシ堰堤、取入口、隧道、開渠、發電所、

放水口其ノ他主要工作物ノ位置、取水口及發電所附

近ニ於ケル最高水位、平水位、最低水位ヲ記入シ高

低ノ基準ハ可成陸地測量部ノ水準、檢ニ準據スルコ

ト)

四 堰堤及水路ノ定規圖(縮尺ハ適宜トシテ形狀、材質

及構造ノ大要ヲ示スコト)

五 計畫説明大略

(取水河川ノ狀態及勾配、取水方法ノ大要、使用水量

決定ノ理由、水路断面算定ノ方法、水車ノ種類箇數、

掘鑿土砂ノ數量及處理方法、切取盛土法面ノ保護及

山地崩壞防止ノ方法ハ必ス之ヲ記載スルコト

特ニ貯水池又ハ河水ノ調整池ヲ設クルモノニ在リテ

ハ其ノ計畫ノ大要ヲ記載スルコト)

第三 取水河川ノ水量測定

五 第一號乃至第三號ノ設備物上下ニ施設スル工事

第二條 發電原動力ニ供スル爲河川其ノ他ノ水ヲ使用セムトスル者ハ本則ニ依リ知事ノ許可ヲ受クヘシ變更セムトスルトキ亦同シ

第三條 前各條ノ場合ニ於テ國有土地水面使用ノ必要アルトキハ大正十一年本縣令第六十二號ニ依リ本願書ニ併記スヘシ

第四條 第一條ニ依リ許可ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ左ノ書類及圖面ヲ添付スヘシ

- 一 計畫説明書
- 二 設計仕様書
- 三 潰地調査
- 四 維持方法書
- 五 實測圖(平面圖、縱断面) 及横断面圖
- 六 構造圖
- 七 公共團體ノ出願ニ在リテハ其ノ決議書ノ謄本
- 八 代理人ノ出願ニ在リテハ其ノ權限ヲ證スル書面

シテ水ヲ使用セムトスル場合ハ其ノ事由ヲ附記シ若

灌溉用水其ノ他ノ水利ニ影響ヲ有スル場合ニハ參考

トシテ之ニ要スル水量其ノ他ノ關係ヲモ記載スルコ

ト)

五 有效落差(曲尺ニテ示スコト)

六 馬力數(使用水量及有效落差ヨリ計算シタル理論馬

力數)及發電力(キロワット數)

七 水ノ使用期間

第二 水路工事

一 水路一覽圖(縮尺五萬分一ノ地形圖トシ堰堤、取水

口、隧道開渠、發電所、水路放水口等ノ位置及取水

箇所ニ於ケル流域境界線ヲ記載シ尙附近ニ於テ灌溉

其ノ他既許可ノ水利事業アルトキハ其ノ位置ヲ記入

スルコト特ニ貯水池又ハ河水ノ調整池ヲ設クルモノ

ニ在テハ其ノ位置ヲ記載スルコト)

二 水路豫測平面圖(縮尺一萬分ノ一以上トシ地形概略

ヲ表ハシ地名ヲ詳記シ取水口、水路、發電所、放水

第五編 土木 第一章 工事

- 一 流域面積（方里ヲ以テ單位トシ一方里ニ滿タサルモノハ其ノ小數ヲ表ハスコト）
- 二 流域ニ於ケル植林狀態（裸地、耕地、林野ノ面積、歩合等）
- 三 雨量觀測表（附近觀測所ノ調査ニシテ成ルヘク五年以上ニ互ルモノ）
- 四 取水口附近ニ於ケル流水量及其ノ測定ノ方法、時期並測定場所ノ橫斷面圖（橫斷面圖ノ縮尺ハ適宜トシ濁水低水及最高水位ヲ記入スルコト又水量測定ハ成ルヘク地形同一ノ場所ヲ選ミ異リタル數種ノ方法ニ依リ且濁水時ニ於テ數回之ヲ行フコト）
- 五 取水河川ノ勾配及河床（取水口ノ上流一千間ノ地點ヨリ放水路ノ下流一千間ノ地點ニ互ル取水河川本流ノ勾配並其ノ河床ノ狀態ヲ記載スルコト）
- 六 水量測定ニ關スル擔當技術者名ヲ附記スルコト
- 第四 工事費概算書（別紙様式ニ據ル）
- 第六條 第二條ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ許可ニ指定シタル

二 構造圖

- イ 堰堤（流水路、舟筏路、魚道、土砂吐等ヲ含ム）  
（取入口、沈砂池、土砂吐、余水路、制水門、隧道、閉渠、木樋、水路管、水路橋、水槽、放水路、水壓管、吸出管、水車、發電所並貯水池、河水ノ調整池等ノ構造圖）
- ロ 縮尺ハ適宜トシ構造ノ適否ヲ判定スル爲必要ナル水位ハ之ヲ記入スルコト）
- ハ 水路開設ニ伴ヒ施設スヘキ各種工作物ノ構造圖（縮尺ハ適宜トシ構造ノ適否ヲ判定スル爲必要ナル水位ハ之ヲ記入シ尙水路ト新舊工作物トノ關係ヲ明ニシタル 面圖及斷面圖ヲ添付スルコト又掘鑿土砂捨揚附屬工作物ノ構造ハ特ニ之ヲ記載スルコト）
- 三 工事説明書（水路選定ノ理由、水路實測圖及構造圖ニ示シタル各種工事設計ノ要領算式ヲ以テ計算シタルモノハ其ノ計算書ヲ添付スルコト）「工事施行ノ順序、作業方法、掘鑿土砂處理方法」「土坪計算表及土砂捨揚圖

第五編 土木 第一章 工事

期間内ニ許可ノ條項ニ準據シ左記各號ニ依リ水路實測圖、構造圖、工事説明書及工事費概算書ヲ製提出シ工事實施ノ認可ヲ受クヘシ

- 一 水路實測圖
- イ 平面圖（縮尺六千分一以上トシ水路ノ中心線、測點番號水路及附屬工作物ノ位置ヲ記入シ附近ノ地形ヲ明カナラシムルコト）
- ロ 縱斷面圖（縮尺横六千分一以上縱二百分一以上トシ測點番號、基準線「高ハ可成陸地測量部水準ニ準據スルコト」距離、遞加距離、地盤高、切取盛土ノ高、水路底面ノ高、計畫水位「水面勾配ヲ記入スルコト」並實測平面圖ニ示シタル水路及附屬工作物ノ位置等ヲ記入シ尙取水口及放水口ニハ最高水位、平水位、最低水位ヲ記入スルコト）
- ハ 橫斷面圖（縮尺二百分一以上トシ切取盛土面坪、計畫水位、法勾配、法面保護工事等ヲ記入シ各斷面圖ノ距離ハ土坪計算ニ必要ナル程度ト爲スコト）

ヲ添付シ各箇所ノ面積及土砂包容量ノ計算ヲ明示スルコト」等ヲ記載シ尙堰堤ニ付テハ地質ノ說明「試鑽ヲ行ヒタルモノハ其ノ成績表ヲ添付スルコト」ヲ爲シ且洪水時ニ於ケル水面ノ隆起及嵩水ノ影響ヲ圖示スルコト

貯水池及河水ノ調整池ヲ設ケル場合ニハ貯水容量「立方尺トシ其ノ計算書ヲ添付スルコト」及其ノ使用方法ヲ記載スルコト）

四 工事費概算書（工事費概算書中水路工事費ニ關スル各費目ヲ細別シ工事種類、長、數量、單價、金額及工法ノ摘要ヲ示スコト但シ特種ノモノニ付テハ別ニ設計書ヲ添付スルコト）

第八條 公共團體ノ起業ニシテ工事力其ノ公共團體ノ區域外ニ跨ルトキハ關係公共團體ノ議會ノ意見書ヲ添付スヘシ但公共團體ノ議會ニ於テ六十日以内ニ意見書ヲ提出セス又ハ之ヲ拒ミタルトキハ其ノ顛末ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第九條 私人ノ起業ニ係ルモノニシテ其ノ維持修繕費ヲ關係公共團體ニ於テ負擔スヘキ場合ニ在リテハ其ノ議會ノ決議書ノ贈本ヲ添付スヘシ

第十條 本則ニ依ル許可ノ際必要アリト認ムルトキハ命令書ヲ下付シ又ハ特殊ノ事項ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條 本則又ハ本則ニ依リ發シタル命令ニ依リ生スル權利義務ハ許可ヲ受タルニ非サレハ之ヲ他人ニ移シ又ハ貸付スルコトヲ得ス

第十二條 工事ハ許可ヲ受ケタル期限内ニ著手竣功シ其ノ都度届出ヘシ但シ天災其ノ他止ムヲ得サル事由ノ爲期限内ニ著手又ハ竣功スルコト能ハサルトキハ出願ニ依リ相當ノ延期ヲ與フルコトアルヘシ

第十三條 許可ヲ受ケタル後其ノ設計ヲ變更セムトスルトキハ許可ヲ受ケヘシ

第十四條 本則ニ依ル許可ノ際必要ト認ムルトキハ保證人ヲ立テシメ又ハ保證金ヲ納付セシムルコトアルヘシ但シ保證金ハ有價證券ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ價格ハ知事ノ査定スル所ニ依ル

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ許可ヲ取消シ若ハ其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ又ハ既ニ施設シタル工作物ヲ改築若ハ除却セシメ又ハ原形ニ回復ヲ命シ又ハ許可セラレタル事項ニ依リ生スル危害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲ命スルコトアルヘシ

一 詐欺ノ手段ヲ以テ許可ヲ受ケタルコトヲ發見シタルトキ  
二 許可ヲ受ケタル期限内ニ工事ニ著手又ハ竣功セサルトキ  
三 工事施行中若ハ施行後他ニ障害ヲ及ボシ又ハ及ボサムトスル虞アルトキ

充當シ尙不足アルトキハ之ヲ追徴ス

第十九條 本則第一條、第二條及第十三條ニ違背シ又ハ第十條第一項第一號ニ該當シタル私人ニ對シテハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料若ハ拘留ニ處ス

附則

本令ハ大正六年九月一日ヨリ施行ス

明治三十八年本縣令第四十二號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一 許可ヲ受ケスシテ工事ヲ施行シタルトキ  
二 許可ヲ受ケスシテ設計ヲ變更シ施行シタルトキ

第十七條 本則又ハ本則ニ基キテ發シタル命令ヲ履行スル爲ニ要スル費用ハ起工者ノ負擔トス

第十八條 義務者ニ於テ本則又ハ本則ニ基キテ命シタル義務ヲ履行セス若ハ之ヲ履行スルモ必要ノ期限内ニ終了スルノ見込ナキトキ又ハ其ノ履行ノ方法宜シキヲ得サルトキハ知事ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ第十四條ニ依リ保證金ヲ納付セルモノアルトキハ其ノ費用ニ

工事費概算書

項目	目	數量	單價	金額	摘要
創 立 費  水 路 工 事 費	用地費				
	堰堤費				
	取水口費				
	開渠費				
	隧道費				
	余水吐、土砂吐其 ノ他水路付屬工事費				
	水槽費				
	水管費				
	放水路費				
	掘鑿土砂處理費				
水車費					
諸建物費					
補償費					
何々費					

電氣工事費	雜工事費
測量及工事監督費	
豫備費	
計	

● 縣有浚渫船ヲ公共團體ノ起業ニ係ル工事ニ從事セシムル場合ノ規程

(明治三十九年七月三日)  
告示第二百八號

縣有浚渫船ヲ公共團體ノ起業ニ係ル工事ニ從事セシムル場合ノ規程左ノ通相定ム

縣有浚渫船ヲ公共團體ノ起業ニ係ル工事ニ從事セシムル場合ノ規程

第一條 縣ノ所有ニ係ル浚渫船(以下單ニ浚渫船ト謂フ)ハ縣工事ニ使用セサル場合ニ於テ縣下公共團體ノ起業ニ係ル浚渫工事ニ從事セシムルコトアルヘシ

第五編 土木 第一章 工事

前項ノ從事期間ハ六ヶ月以内トス

第二條 浚渫船ニヨリ浚渫工事ヲ施行セントスル公共團體ハ其ノ願書ニ左ノ各號ノ書類ヲ添附シ之ヲ知事ニ差出スヘシ

- 一 浚渫工事設計書及其ノ圖面
- 二 工費豫算書
- 三 工費支出方法書
- 四 公共團體ノ決議書

第三條 公共團體ノ工事ニ從事スル間ニ於ケル浚渫船ノ維持修繕費ハ其ノ團體ノ負擔トス

第四條 浚渫船ハ公共團體ノ工事ニ從事中ト雖縣ニ於テ必要ヲ生シタルトキハ其ノ工事ヲ中止セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ公共團體ニ損害アルモ之カ賠償ヲ爲サス

### 揚水機設置補助規程

(大正九年十一月十九日)  
(縣令第六十八號)

附則 大正一〇年四月縣令第四二號改正

揚水機設置補助規程左ノ通定ム

揚水機設置補助規程

第一條 土地ヲ改良スル目的ヲ以テ揚水機ヲ新設シ又ハ改良スルトキハ縣ハ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ直接工事ニ要シタル費用ノ百分ノ二十五以內トス

第三條 補助金ハ決算ニ依リ算定ス但シ補助指令ノ後増加シタル費用ニ對シテハ之ヲ補助セス

第四條 許可ヲ受ケスシテ工事中止シ、設計若ハ仕様ヲ變更シ其ノ他縣ノ命令ニ違背シタル場合又ハ施行緩漫ニシテ完成ノ見込ナシト認メタル場合ニハ補助指令ノ後ト雖之ヲ取消スコトアルヘシ

第四條ノ二 補助指令ノ後十五箇年以内ニ使用ノ目的ヲ變更ス

三重縣土木費支辨規程

第一條 左ノ各號ノ工事ニ要スル費用ハ縣之ヲ支辨ス

一 國道、府縣道ニ關スル工事

二 河川法ヲ施行若ハ準用シタル河川、知事ノ指定シタル河川及以上河川ノ放水路ニシテ知事ノ指定シタルモノ  
放海岸ノ工事

三 砂防法ニ基ク砂防工事

四 知事ノ指定シタル港灣ノ工事

第二條 市、町、村、町村組合、水利組合ノ事業又ハ其ノ負擔ニ關スル費用ニシテ左ノ各號ノ工事ニ要スル費用ハ豫算ノ範圍内ニ於テ縣之ヲ補助ス

一 市道、町村道ニシテ道路構造令又ハ街路構造令

スヘキ新設、改築工事若ハ災害復舊工事

知事ノ指定シタル河川、海岸ニ關スル新築、改築工事若ハ災害復舊工事

二 第一條ノ河川及海岸ノ堤塘ニ在ル樋管ノ工事

三 重要ナル船圖堤ノ修繕工事

第五編 土木 第一章 工事

シタルトキハ補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 補助金ヲ受ケムトスル者ハ前年度四月三十日迄ニ縣廳ニ到達スル様申請スヘシ

第六條 補助申請書ニハ設計書、仕様書、圖面、工費内譯書、認許ヲ要スルモノニ在リテハ認許書ノ謄本ノ外國體ニ在リテハ會議ノ決議書謄本ヲ添付スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 三重縣土木費支辨規程

(明治三十九年十一月十四日)  
(縣令第六十六號)

附則 明治四〇年七月縣令第三三號、四一年三月同第二一號、四三年二月同第一四號、大正六年一月同第二八號、七年一〇月同第四五號、九年四月同第二四號、一二年一〇月同第四六號改正

三重縣土木費支辨規程左ノ通相定ム

四 第一條ノ河川ニ關スル放水路内ノ重要工作物復築工事  
(水害ニ基因スルモノニ限ル)

五 知事ノ指定シタル港灣ノ工事

六 河川法ヲ施行若ハ準用シタル河川ニ關スル工事ニ因リテ必要ヲ生シタル他ノ工事

第三條 前條ニ掲ケル工事ニシテ後年ニ讓リテ害ナシト認ムルトキハ利害關係極テ小ナリト認ムルトキ其ノ他知事ニ於テ補助ノ必要ヲ認メサルトキハ之ヲ補助セス

第四條 知事ニ於テ非常災害ニ因ルモノト認メタル工事ニ要スル雜費ハ其ノ工費ノ百分ノ三以內ヲ市、町、村、町村組合又ハ水利組合ノ工事ニ要スル費用ノ内ニ算入スルコトヲ得

第五條 補助ノ金額ハ工事ニ要スル費用ニ對シ十分ノ五以內トス但シ有效面積四十坪以上ノ橋梁工事並隧道工事ニ對シテハ十分ノ七災害復舊工事ニ對シテハ十分ノ六迄特ニ補助ノ歩合ヲ増加スルコトヲ得

第六條 前條ノ金額ハ決算ニ依リ之ヲ算定ス但シ補助指令ノ



第五編 土木 第一章 工事

後増加シタル費用ニ對シテハ之ヲ補助セス

第七條 許可ヲ受ケスシテ工事ヲ中止シ若シハ設計ヲ變更シ其ノ他縣ノ命令ニ違背シタル場合又ハ施行緩漫ニシテ完成ノ見込ナシト認メタル場合ニハ補助指令ノ後ト雖之ヲ取消スコトアルヘシ

附則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治二十七年三重縣令第六十五號ハ之ヲ廢止ス

●土木費支辨規程第一條及第二條ノ道路河海港灣ノ件

(明治三十九年十一月十四日) 告示第三百三十七號

沿道 明治四三年一月告示第三五號、同年五月同第二六五號、四五年二月同第六一號、大正元年一月同第一二五號、二年五月同第二〇八號、三年五月同第一五二號、同第一七一號、六年一月同第四三八號、七年一月同第三一號、同年四月同第一七〇號、九年

四月同第一四六號、一〇年七月同第二五一號、一二年二月同第六六號、一二年四月同第一三八號改正  
三重縣土木費支辨規程第一條第二條ノ道路河海及港灣ハ左ノ通トス

規程第一條第二號ニ依レル河川

水曾川 桑名郡楠村大字松之木愛知縣界ヨリ下流  
揖斐川 桑名郡七取村大字西平賀岐阜縣界ヨリ下流  
長良川 桑名郡精村大字松之木愛知縣界ヨリ下流  
鍋田川 桑名郡木曾岬村大字加路戸新田ヨリ下流  
鈴鹿川 鈴鹿郡關町大字新所加太川落合ヨリ下流  
鈴鹿川派川 三重縣楠村大字南川分派口ヨリ下流  
中ノ川 河藝郡榮村大字磯山字久保井堰ヨリ下流  
田中川 河藝郡上野村大字上野伊勢街道橋梁ヨリ下流  
志登茂川 河藝郡一身田町大字平野平野井堰ヨリ下流  
安濃川 安濃郡雲林院村、河内道橋梁ヨリ下流  
岩田川 安濃郡神戶村大字野田安濃川溢水吐口ヨリ

相川 一志郡高茶屋村大字小森上野天神川落合ヨリ下流  
碧川 一志郡鶴村大字笠松惡水落合ヨリ下流  
三渡川 一志郡米ノ庄村大字中ノ庄堀坂川落合ヨリ下流  
雲出川 一志郡竹原村大字竹原八手俣川落合ヨリ下流  
雲出川派川 一志郡矢野村字前川原新田分派口ヨリ下流  
中村川 一志郡豐地村大字島田井堰ヨリ下流  
愛宕川 飯南郡港村大字高町屋里道板橋下惡水落合ヨリ下流  
勢々川 飯南郡西黒部村大字西黒村下御絲道石橋ヨリ下流  
金剛川 飯南郡朝見村惡水落合ヨリ下流  
柳田川 飯南郡柿野村大字横野仁柿川落合ヨリ下流  
腋江川 桑名郡古濱村大字御衣野落合川落合ヨリ下

多度川 桑名郡多度村大字小山字尾津崎美濃街道ヨリ下流  
員辨川 員辨郡白瀨村大字本瀨古曾根字西中森界ヨリ下流  
鎌田川 員辨郡阿下喜村大字阿下喜字北川原田切川及員野川落合ヨリ下流  
田切川 員辨郡十社村大字鹽崎字落合二ノ瀨川落合ヨリ下流  
朝明川 三重郡千種村大字千草字大井ヨリ下流  
海藏川 三重郡羽津村字川尻井堰ヨリ下流  
三瀨川 三重郡菰野村大字菰野字畑之谷有堤ヨリ下流  
天白川 三重郡日永村大字日永北濱鹿化川落合ヨリ下流  
内川 鈴鹿郡椿村大字大野字一ノ井有堤郡ヨリ下

安樂川 鈴鹿郡野登村大字邊法寺野登村役場道橋梁ヨリ下流

長田川 名賀郡上津村大字伊勢地青山川落合ヨリ下流

柘植川 阿山郡東柘植村大字中柘植倉部川落合ヨリ下流

服部川 阿山郡布引村大字廣瀨馬野川落合ヨリ下流

名張川 名賀郡箕曲村大字夏見青蓮寺川落合ヨリ下流

黒田川 名賀郡錦生村大字矢川三谷川落合ヨリ下流

稜川 多氣郡下御絲村大字内座字川端惡水落合ヨリ下流

中川 多氣郡東黒部村大字乙部里道ヨリ下流

笹笛川 多氣郡大淀村大字山大淀松阪道橋梁ヨリ下流

大堀川 多氣度會郡界ヨリ下流

外城田川 度會郡豐濱村大字野依磯井堰ヨリ下流

宮川 度會郡瀧原村大字船木大内山川落合ヨリ下流

馬瀨川 度會郡御園村大字長屋宮川分派口ヨリ下流

大湊川 度會郡御園村大字小林宮川分派口ヨリ下流

檜尻川 度會郡神社町大字小木直角堤ヨリ下流

勢田川 宇治山田市大字河崎町字正淨坊ヨリ下流

勢田川派川 宇治山田市大字船江町分派口ヨリ下流

五十鈴川 左岸 宇治山田市大字今在家町字東賀集樂  
右岸 同市大字館町字下館神宮地  
神宮地界ヨリ下流

五十鈴川派川 度會郡四郷村大字朝熊字橋谷川落合ヨリ下流

五ヶ所川 度會郡五ヶ所村飯満道橋梁ヨリ下流

加茂川 志摩郡加茂村大字船津字寺谷谷川ヨリ下流

磯部川 志摩郡磯部村大字下之郷野川落合ヨリ下流

池田川 志摩郡磯部村大字穴川波切港池田橋ヨリ下流

萩原川 北牟婁郡二郷村地内錦村役場道橋梁ヨリ下流

堤部ヨリ 下流

亦羽川 北牟婁郡赤羽村大字十須字此ヶ野道  
右岸 同郡 同村 大字 同字元谷道路ヨリ下流

船津川 北牟婁郡船津村大字上里古川落合ヨリ下流

銚子川 北牟婁郡相賀村大字便ノ山平尾谷川落合ヨリ下流

中ノ川 河藝郡榮村大字磯山字前田井堰ヨリ下流

北山川 南牟婁郡神川村大字神ノ上奈良縣ヨリ下流

音無川 南牟婁郡上川村大字小船和歌山縣界ヨリ下流

瀧川 右岸 阿山郡壬生野村大字山畑字子守道路  
左岸 同郡 同村 大字同字西ノ崎道路ヨリ下流

三戸川 右岸 北牟婁郡赤羽村大字島原字サイキヨ  
左岸 同郡 同村 大字同字中ヶ谷有堤部ヨリ下流

往古川 右岸 北牟婁郡船津村大字船津字雲千代有  
左岸 同郡 同村 大字中里字大平界ヨリ下流

安濃川放水路 安濃郡新町三四堤防放水口ヨリ岩田川落合ニ至ル

規程第一條第二號ニ依レル放水路

一 耕地地三町歩以上ヲ保護スヘキ爲堤防若ハ護岸ノ必要ヲ認ムル海岸

一 人家十戸以上ヲ保護スヘキ爲堤防若ハ護岸ノ必要ヲ認ムル海岸

一 人家一戸ヲ耕地地三反歩ニ換算シテ第一項ニ該當セシメ得ヘキ海岸

以上各項ニ該當スルモ利害關係ノ小ナルモノハ規程第二條第一號ノ海岸ニ編入シ若クハ之ヲ除ク

規程第一條第四號ニ依レル港灣

四日市港 (舊防波堤設備區域内ヲ除ク)

波切港

規程第二條第一號ニ依レル河川

堀切川 河藝郡榮村大字磯山字六人堀井堰ヨリ下流  
 田中川 河藝郡上野村大字上野字大道有堤部ヨリ下流  
 志登茂川 河藝郡高野尾村有堤部ヨリ下流  
 穴倉川 安濃郡村主村大字南神山有堤部ヨリ下流  
 岩田川 安濃郡神戸村大字野田字林垣内有堤部ヨリ下流  
 相川 安濃郡藤水村大字垂水字黒木有堤部ヨリ下流  
 出雲川 一志郡八幡村大字川上字「シタガノ」谷川落合ヨリ下流  
 長野川 安濃郡高宮村大字三郷谷川落合ヨリ下流  
 榑原川 一志郡七栗村大字大鳥字川原有堤部ヨリ下流  
 八手俣川 一志郡多氣村大字下多氣字上村有堤部ヨリ下流

波瀨川 一志郡波瀨村字鳥沖有堤部ヨリ下流  
 中村川 一志郡字氣郷村大字小原字岩垣内谷川落合ヨリ下流  
 三渡川 一志郡阿坂村大字小阿坂字向川谷川落合ヨリ下流  
 岩内川 飯南郡伊勢寺村大字伊勢寺字宮ノ沖有堤部ヨリ下流  
 堀坂川 飯南郡伊勢寺村大字伊勢寺字塚部有堤部ヨリ下流  
 坂内川 飯南郡大河内村大字坂内字御所谷川落合ヨリ下流  
 金剛川 飯南郡花園村大字山室字角田有堤部ヨリ下流  
 名古屋須川 飯南郡神戸村大字田原字原口有堤部ヨリ下流  
 榑田川 飯南郡森村蓮川落合ヨリ下流  
 孫川 飯南郡神山村大字上崎路字向根方有堤部ヨリ下流

禊川 飯南郡漕代村大字法田大井手堰ヨリ下流  
 多度川 桑名郡多度村大字多度字八重口有堤部ヨリ下流  
 肱江川 桑名郡古美村大字美鹿字村中有堤部ヨリ下流  
 大山田川 桑名郡大山田村大字播磨字奥新田砂留石堰堤ヨリ下流  
 員辨川 員辨郡立田村大字篠立字新道有堤部ヨリ下流  
 相場川 員辨郡中里村大字鼎村後谷川落合ヨリ下流  
 田切川 員辨郡十社村大字川原字落支有堤部ヨリ下流  
 二ノ瀬川 員辨郡十社村大字二ノ瀬字落川原有堤部ヨリ下流  
 員野川 員辨郡十社村大字小原一色字北垣内有堤部ヨリ下流

山田川 員辨郡山郷村大字南中津原字石ノ州有堤部ヨリ下流  
 明智川 員辨郡笠田村大字上笠田六把野用水路ヨリ下流  
 戸上川 員辨郡大泉村大字東一色字大谷有堤部ヨリ下流  
 藤川 員辨郡神田村大字山田字長箴有堤部ヨリ下流  
 嘉例川 員辨郡神田村大字嘉例川字上小屋田有堤部ヨリ下流  
 多志田川 員辨郡治田村大字別名字多志田有堤部ヨリ下流  
 青川 員辨郡治田村大字新町字谷口有堤部ヨリ下流  
 源太川 員辨郡丹生川村大字丹生川中同郡北石加村大字石轉東界有堤部ヨリ下流  
 宇賀川 員辨郡三里村界有堤部ヨリ下流

三 孤子川 三重郡界ヨリ下流  
 辨 天 川 員辨郡神田村大字六把野字辨天山ヨリ下流  
 田 光 川 三重郡朝上村大字田光字城山砂防指定地界ヨリ下流  
 田 口 川 三重郡朝上村大字田光字戸井越有堤部ヨリ下流  
 杉 谷 川 三重郡朝上村大字杉谷字東川原有堤部ヨリ下流  
 海 藏 川 三重郡鶴川原村大字池底字西久保有堤部ヨリ下流  
 竹 谷 川 三重郡縣村大字北野字鱈池有堤部ヨリ下流  
 金 溪 川 三重郡菰野村大字菰野字蔭谷有堤部ヨリ下流  
 矢 合 川 三重郡櫻村大字櫻村字椿尾有堤部ヨリ下流  
 天 白 川 三重郡四郷村大字八王寺字北野有堤部ヨリ下流  
 鹿 化 川 三重郡川島村大字川島字西廣有堤部ヨリ下流

鈴 鹿 川 鈴鹿郡關町大字新所字權現有堤部ヨリ下流  
 小 野 川 鈴鹿郡關町大字木崎字大嶮有堤部ヨリ下流  
 椋 川 鈴鹿郡龜山町大字羽若字樋口有堤部ヨリ下流  
 安 樂 川 鈴鹿郡野登村大字安阪山字蓬原有堤部ヨリ下流  
 八 島 川 鈴鹿郡庄内村大字原村字福宜谷川落合ヨリ下流  
 御 幣 川 鈴鹿郡椿村大字小岐須字雨條有堤部ヨリ下流  
 鍋 川 鈴鹿郡椿村大字山本字殿山有堤部ヨリ下流  
 鎌 夕 谷 川 三重郡小山田村大字山田字大欠有堤部ヨリ下流  
 足 見 川 三重郡小山田村大字小山字足見川有堤部ヨリ下流  
 加 太 川 鈴鹿郡加太村中在家川落合ヨリ下流

長 田 川 名賀郡上津村大字瀧村字上切谷川ヨリ下流  
 青 山 川 名賀郡上津村大字伊勢地字道筋地内舊郡道矢持上津線橋梁ヨリ下流  
 川 上 川 名賀郡矢持村大字霧生和木川落合ヨリ下流  
 前 深 瀨 川 名賀郡種生村大字高尾字出合谷川ヨリ下流  
 枅 川 名賀郡比自岐村大字摺見字一ノ井有堤部ヨリ下流  
 久 米 川 阿山郡友生村大字界外有堤部ヨリ下流  
 服 部 川 阿山郡阿波村大字上阿波字高瓦城高瓦城川落合ヨリ下流  
 馬 野 川 阿山郡布引村大字奥馬野字川原田谷川落合ヨリ下流  
 柘 植 川 阿山郡東柘植村大字上柘植字北浦平川落合ヨリ下流  
 瀧 川 阿山郡壬生野村大字山畑字砂原有堤部ヨリ下流  
 倉 部 川 阿山郡東柘植村大字上柘植新海道橋梁ヨリ下流

川 合 川 阿山郡玉瀧村大字榎山字北政所瀧谷川落合ヨリ下流  
 靱 田 川 阿山郡靱田村大字下友田字辻前水口街道橋梁ヨリ下流  
 名 張 川 一志郡太郎生村奈真縣界ヨリ下流  
 青 蓮 寺 川 名賀郡箕曲村大字青蓮寺奈真縣界ヨリ下流  
 黒 田 川 名賀郡錦生村大字安部田奈真縣界ヨリ下流  
 瀧 川 名賀郡瀧川村大字柏原字木戸口谷川落合ヨリ下流  
 小 波 田 川 名賀郡美濃波多村大字上小波田字井ノ口有堤部ヨリ下流  
 佐 奈 川 多氣郡佐奈村大字前村字ナバキ谷川落合ヨリ下流  
 外 城 田 川 多氣郡西外城田村大字森庄字庵ノ前有堤部ヨリ下流  
 宮 川 多氣郡大杉谷村大字大杉字平瀧谷川落合ヨリ下流

ヨリ下流

大内山川 度會郡大内山村字下リ谷川落合ヨリ下流

ヨリ下流

一ノ瀬川 度會郡一ノ瀬村大字川上字河内沖谷川落合

ヨリ下流

横輪川 度會郡沼木村大字上野字日向有堤部ヨリ下

流

勢田川 度會郡宮本村大字勢田字瀧ノ口有堤部ヨリ

下流

五十鈴川 宇治山田市大字館町御裳瀧川落合ヨリ下流

五十鈴川派川 度會郡四郷村大字朝熊分派口ヨリ下流

朝熊川 度會郡四郷村大字朝熊字堂ノ前有堤部ヨリ

下流

五ヶ所川 度會郡五ヶ所村大字切原字堀田有堤部ヨリ

下流

伊勢路川 度會郡藤原村大字伊勢路字大切間有堤部ヨ

ヨリ下流

押淵川 度會郡藤原村大字齋田字水平齋田川落合ヨ

リ下流

大江川 度會郡中島村大字大江字カトカ有堤部ヨリ

下流

道方川 度會郡中島村大字道方字ノボリ有堤部ヨリ

下流

東宮川 度會郡鶴倉村大字東宮字富田有堤部ヨリ下

流

伊勢地川 度會郡吉津村大字村山字ヤキ尾有堤部ヨリ

下流

村山川 度會郡吉津村大字村山字明星有堤部ヨリ下

流

古和川 度會郡島津村大字古和浦字大河内河有堤部ヨ

リ下流

磯部川 志摩郡磯部村大字惠利原字草ヲキ有堤部ヨ

リ下流

野川 志摩郡磯部村大字山田字楠原有堤部ヨリ下

流

加茂川 志摩郡加茂村大字松尾字堀切有堤部ヨリ下

流

池田川 志摩郡磯部村大字穴川字斧峠有堤部ヨリ下

流

河内川 志摩郡加茂村大字河内字藤ヶ瀬有堤部ヨリ

下流

河内川 度會郡吉津村大字河内字尾原有堤部ヨリ下

流

赤羽川 北牟婁郡赤羽村大字十須字樋ノ口有堤部ヨ

リ下流

三戸川 北牟婁郡赤羽村大字島原字柳瀬ヨリ下流

下流

往古川 北牟婁郡船津村大字船津字雲千代ヨリ下流

下流

船津川 北牟婁郡船津村大字河内字山神前有堤部ヨ

第五編 土木 第二章 工事

尾呂志川 南牟婁郡尾呂志村大字上野字柗ヶ久保有堤

部ヨリ下流

第五編 土木 第一章 工事

四十二

- 坂本 川 南牟婁郡尾呂志村大字坂本字大和有堤部ヨリ下流
- 大又 川 南牟婁郡飛鳥村大字大又字坪田池田谷川落合ヨリ下流
- 尾 川 南牟婁郡神川村大字尾川字大田井向神木川落合ヨリ下流
- 板 屋 川 南牟婁郡入鹿村大字大栗須字ホソダ有堤部ヨリ下流
- 楊 枝 川 南牟婁郡上川村大字楊枝川字中須平有堤部ヨリ下流
- 相野谷 川 南牟婁郡相野谷村大字桐原字サガリヤ平谷川落合ヨリ下流
- 相野 川 南牟婁郡相野谷村大字平尾井字古殿山有堤部ヨリ下流
- 奥 川 北牟婁郡錦村字伯父ヶ谷ハ干ス 地内谷川合流點ヨリ下流

規程第二條第一號ニ依レル海岸

- 一 耕宅地一町歩半以上ヲ保護スル爲堤防若ハ護岸ノ必要ヲ認ムル海岸
  - 一 人家五戸以上ヲ保護スル爲堤防若ハ護岸ノ必要ヲ認ムル海岸
  - 一 人家一戸ヲ耕宅地三段歩ニ換算シテ第一項ニ該當セシメ得ヘキ海岸
- 以上各項ニ該當スルモ利害關係ノ小ナルモノハ之ヲ除ク
- 規程第二條第五號ニ依レル港灣
- 一 四日市港 (舊防波堤設備區域内)
  - 一 鳥羽港

●土木臺帳調製方

(明治四十年七月五日訓令甲第二十五號)

- 郡、市、町、村
- 町村組合
- 水利組合

明治三十九年縣令第六十六號第二條第一號ノ道路河川及海岸同第二號ノ樋管同第三號ノ船圍堤同第四號ノ工作物及同第五號ノ港灣ニ付テハ各其ノ管理者タル公共團體ニ於テ別紙様式ニ依リ土木臺帳ヲ調製シ來十月三十一日限リ當廳ニ差出スヘシ但シ町、村、町村組合及郡部ニ於ケル水利組合ニ係ル分ハ所轄郡役所又市部ニ於ケル水利組合ニ係ル分ハ所轄市役所ヲ經由スルコトヲ要ス

土木臺帳更正ノ必要ヲ生シタルトキハ其必要ヲ生シタル日ヨリ六ヶ月以内ニ前項ノ手續ニ依リ其ノ更正ヲ申請スヘシ

土木臺帳ハ當廳、所轄郡市役所及管理者タル公共團體ニ於テ各一通ヲ存置スルモノトス

第五編 土木 第一章 工事

四十三

明治二十六年訓令甲第十一號ハ之ヲ廢止ス



































●土木費補助ニ關スル規程

(明治四十年七月十九日) 訓令甲第三十號

郡、市、町、村  
町村組合 水利組合

土木費補助ニ關スル規程左ノ通定ム

土木費補助ニ關スル規程

第一條 土木費ニ對シ縣ノ補助ヲ受ケテ工事ヲ施行セントスルトキハ會議ノ決議ヲ經テ左ノ書類ヲ添ヘ前年度四月三十日迄ニ申請スヘシ但シ災害復築等ニ付テハ其ノ都度申請期限ヲ指定スヘシ

- 一 工事設計仕様書(第一號書式ニ依ル)
- 二 圖面

明治三十九年縣令第六十六號第二條第一號及第五號ノ工事ニ付テハ其ノ施工區域ノ實測平面圖縱橫斷面圖其ノ位置關係ヲ知り得ヘキ附近地ノ平面略圖及特種工作物ノ構造圖

同第二號乃至第四號ノ工事ニ付テハ其ノ位置關係ヲ知り得ヘキ附近地ノ平面略圖及工作物ノ構造圖

同第一號及第五號ノ工事ニシテ復舊ヲ目的トスル修繕工事ニ付テハ其ノ位置關係ヲ知り得ヘキ附近地ノ平面略圖及特種工作物ノ構造圖

三 潰地一筆限調書

流域兩管轄以上ニ跨ル河川ノ工作物ノ新築改築若ハ除却ノ工事ニ付テハ前項第一號及第二號ノ書類及圖面ヲ各貳通添附スルコトヲ要ス

第二條 補助ノ指令ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ費用支出ノ方法及起工竣工ノ月日ヲ定メ當廳ニ届出ツヘシ但シ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ  
當廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ指令ノ前ニ於テ補助ノ見込額ヲ内牒スルコトアルヘシ

第三條 工事ノ施行ニ付テハ當廳ノ指揮監督ヲ受クヘシ  
工事ヲ請負ニ付スル場合ニハ本縣工事施行規程ヲ準用スヘシ

第四條 工事竣工シタルトキハ當廳ニ届出検査ヲ受クヘシ但シ検査ノ上設計仕様書若ハ圖面ニ違フトキハ期日ヲ指定シ改築ヲ命スヘシ

第五條 左ニ掲クル事項ハ當廳ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 工事設計ノ變更
- 二 起工竣工期限ノ變更
- 三 工事ノ休止若ハ廢止

第六條 補助金ハ竣工検査済ノ後之ヲ下付スルモノトス但シ補助額五百圓以上ノモノハ左ノ區分ニ依リ其ノ進行高ノ十分ノ八以内ノ内渡ヲ爲スコトアルヘシ

- 一 五百圓以上千圓以下 五分以上進行シタルトキ 一回
  - 一 千圓以上 四分以上進行シタルトキ 一回
  - 一 五千圓以上 三分以上進行シタルトキ 一回
  - 一 一萬圓以上 二分以上進行シタルトキ 一回
- 前項内渡金ハ補助取消ノ場合ニハ之ヲ還納セシムルモノトス

第七條 工事ニ要セル費用ハ補助金全部ノ下付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ支拂ヲ了シ支拂済ノ日ヨリ十日以内ニ收

支明細書及證書ヲ提出シテ検査ヲ受クヘシ  
前項ノ検査ハ町、村、町村組合又ハ水利組合ニ屬スルモノ

ニ就テハ所轄郡役所ニ於テ町村組合又ハ水利組合ノ事業ニシテ他郡市ニ跨ルモノ及郡又ハ市ノ事業ニ就テハ當廳ニ於テ之ヲ行フ但シ郡役所ノ検査ニ屬スヘキモノト雖特ニ必要ヲ認ムルトキハ當廳ニ於テ検査ヲ行フコトアルヘシ  
郡役所ハ前項ノ検査ヲ了シタルトキハ其ノ成績ヲ七日以内ニ當廳ニ報告スヘシ

第一項ノ期間内ニ支拂ヲ了スルコト能ハサルカ又ハ書類ヲ提出シ難キトキハ相當ノ期日ヲ定メ認可ヲ受クヘシ

附則

本規程ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十五年三重縣訓令甲第六十一號ハ之ヲ廢止ス



第五編 土木 第一章 工事

金何程  
殘金何程

地租年額何程ノ百分ノ八  
町費

内

金何程  
金何程

十分ノ四

縣補助費  
町費

第二章 道路

●道路橋梁堤防等破損ノトキ通報

方 (明治二十八年四月二日)  
(訓令甲第二十號)

郡市役所  
町村役場

地方稅支辨ニ屬スル道路橋梁堤防等天災地變等ニヨリ破損ヲ生シタルトキハ市町村長ニ於テ其個所及破損ノ概況ヲ記シ即時所屬土木區事務所ニ通報ス可シ

●町村費支辨ニ係ル道路橋梁等急

破ニ際シ修繕準備執行方

(明治二十年八月二日)  
(訓令第九百六十二號)

郡役所  
戶長役場

町村費ヲ以テ支辨スル河川ノ儀ハ本年(三月)本縣令第三十二

第五編 土木 第二章 道路

號堤防保護規則ニ準據スヘキハ勿論道路橋梁急破ニ際シハ馬ノ通行ヲ遮斷スル等無之様豫メ之カ急破修繕ノ準備ヲ行ハシ置クヘシ

●道路溝渠等直接公用廢止ノ分無

代下付出願ノ際取調進達方

(明治二十四年三月六日)  
(訓令甲第三十號)

郡市役所

道路溝渠等直接公用廢止セシ分其ノ修理保存負擔ノ廉ヲ以テ無代下付出願出ノ節ハ實地ニ就キ官有財産管理上必要ノ有無及反別ノ當否取調意見書ヲ添ヘ進達スヘシ

●府縣道路線認定

(大正九年四月一日)  
(告示第四百七十七號)

沿道 大正一〇年五月告示第二一一號、一二年四月間  
第一五五號改正

府縣道ノ路線左ノ通認定ス



津 岐阜線 津ヨリ岐阜縣廳所在地ニ達スル路線

起 點 津市

經過地 國道一號路線重用(桑名郡桑名町大字桑名字京町ニ於テ分岐)桑名郡多度村

終 點 岐阜縣界桑名郡多度村

津 大津線 津市ヨリ滋賀縣廳所在地ニ達スル路線

起 點 津市

經過地 國道一號路線重用(津市大字上濱町ニ於テ分岐)河藝郡一身田町、標本村、鈴鹿郡關町、國道二號路線重用

終 點 滋賀縣界鈴鹿郡坂下村

津 奈良線 津市ヨリ奈良縣廳所在地ニ達スル路線

起 點 津市

經過地 津市大字南堀端經由安濃郡新町、長野村、阿山郡阿波村、山田村、上野村、島ヶ原村

終 點 京都府界阿山郡島ヶ原村

津 新山線 津市ヨリ和歌山縣廳所在地ニ達スル路線

起 點 津市

經過地 國道一號路線重用(飯南郡松阪町大字日野町ニ於テ分岐)飯南郡大石村、宮前村、波瀬村

終 點 奈良縣界飯南郡波瀬村(高見峠)

津 龜山線 津市ヨリ鈴鹿郡役所所在地ニ達スル路線

起 點 津市

經過地 津大津線重用(河藝郡高野尾村字下り町ニ於テ分岐)鈴鹿郡晝生村(下ノ中停車場前經由)、龜山町、國道二號路線重用

終 點 鈴鹿郡龜山町

津 名張線 津市ヨリ名賀郡役所所在地ニ達スル路線

起 點 津市

經過地 國道一號路線重用(津市大字岩田町ニ於テ分岐)一志郡久居町、戸木村、大三村、名賀郡阿保町

終 點 名賀郡名賀町

津 木本線 津市ヨリ南牟婁郡役所所在地ニ達スル路線

起 點 津市

經過地 津和歌山線重用(飯南郡松阪町大字黒田町ニ於テ分岐)多氣郡相可町、度會郡瀧原村

終 點 北牟婁郡長島町、尾鷲町、南牟婁郡飛鳥村

大泉原四日市線 員辨郡大泉原村ヨリ四日市市ニ達スル路線

起 點 員辨郡大泉原村

經過地 員辨郡大長村、三重郡大矢知村、國道一號路線重用

終 點 四日市市

大泉原關ヶ原線 員辨郡大泉原村ヨリ岐阜縣不破郡關ヶ原町ニ達スル路線

起 點 員辨郡大泉原村

經過地 員辨郡阿下喜村、立田村

終 點 岐阜縣界員辨郡立田村

大泉原楚原停車場線 員辨郡大泉原村ヨリ楚原停車場ニ達スル路線

終 點 員辨郡大泉原村

第五編 土木 第二章 道路

線

起 點 員辨郡大泉原村

經過地 大泉原關ヶ原線重用(員辨郡大泉原村大字楚原ニ於テ分岐)

終 點 楚原停車場

多度大泉原線 桑名郡多度村ヨリ員辨郡大泉原村ニ達スル路線

起 點 桑名郡多度村

經過地 桑名郡古濱村、古美村、大泉原四日市線重用

終 點 員辨郡大泉原村

多度停車場線 桑名郡多度村ヨリ多度停車場ニ達スル路線

起 點 桑名郡多度村

經過地 津岐阜線重用(桑名郡多度村大字小山ニ於テ分岐)

終 點 多度停車場

桑名停車場線 桑名郡桑名町ヨリ桑名停車場ニ達スル路線

起 點 桑名郡桑名町

經過 地 津岐早線重用(桑名郡大山田村大字桑名ニ於テ分岐)

終 點 桑名停車場

桑名彦根線 桑名郡桑名町ヨリ滋賀縣犬上郡彦根町ニ達スル路線

起 點 桑名郡桑名町

經過 地 國道一號路線重用(桑名郡桑名町大字福江町ニ於テ分岐)員辨郡神田村、大泉原四日市線重用、大泉原關ヶ原線重用(員辨郡白瀬村大字山口ニ於テ分岐)

終 點 滋賀縣界員辨郡白瀬村(鞍掛峠)

大泉原桑名停車場線

員辨郡大泉原村ヨリ桑名停車場ニ達スル路線

起 點 員辨郡大泉原村

經過 地 桑名彦根線重用(桑名郡益生村大字矢田ニ於テ分岐)

終 點 桑名停車場

富田停車場線 三重郡富田町ヨリ富田停車場ニ達スル路線

起 點 三重郡富田町

經過 地 國道一號路線重用(三重郡富田町大字東富田ニ於テ分岐)

終 點 富田停車場

四日市港線 四日市市ヨリ四日市港ニ達スル路線

起 點 四日市市

經過 地 四日市市中町通、蓬萊橋、昌榮橋經由

終 點 四日市港

四郷四日市停車場線 三重郡四郷村ヨリ四日市停車場ニ達スル路線

起 點 三重郡四郷村

經過 地 國道一號路線重用(四日市市大字濱田字新田町ニ於テ分岐)四日市市四ツ谷町經由

終 點 四日市停車場

四日市停車場線 四日市市ヨリ四日市停車場ニ達スル路線

起 點 三重郡菰野村

經過 地 四日市八日市線重用(員辨郡治田村大字別名經由、大泉原關ヶ原線重用)

終 點 岐阜縣界員辨郡立田村

菰野龜山線 三重郡菰野村ヨリ鈴鹿郡龜山町ニ達スル路線

起 點 三重郡菰野村

經過 地 四日市八日市線重用(三重郡菰野村大字宿野ニ於テ分岐)鈴鹿郡深伊澤村、國道二號路線重用

終 點 鈴鹿郡龜山町

神戸石薬師線 河藝郡神戸町ヨリ鈴鹿郡石薬師村ニ達スル路線

起 點 河藝郡神戸町

經過 地 河藝郡河曲村、鈴鹿郡牧田村、國道二號路線重用

終 點 鈴鹿郡石薬師村

起 點 桑名郡桑名町

經過 地 津岐早線重用(桑名郡大山田村大字桑名ニ於テ分岐)

終 點 桑名停車場

桑名彦根線 桑名郡桑名町ヨリ滋賀縣犬上郡彦根町ニ達スル路線

起 點 桑名郡桑名町

經過 地 國道一號路線重用(桑名郡桑名町大字福江町ニ於テ分岐)員辨郡神田村、大泉原四日市線重用、大泉原關ヶ原線重用(員辨郡白瀬村大字山口ニ於テ分岐)

終 點 滋賀縣界員辨郡白瀬村(鞍掛峠)

大泉原桑名停車場線

員辨郡大泉原村ヨリ桑名停車場ニ達スル路線

起 點 員辨郡大泉原村

經過 地 桑名彦根線重用(桑名郡益生村大字矢田ニ於テ分岐)

終 點 桑名停車場

富田停車場線 三重郡富田町ヨリ富田停車場ニ達スル路線

起 點 三重郡富田町

經過 地 國道一號路線重用(三重郡富田町大字東富田ニ於テ分岐)

終 點 富田停車場

四日市港線 四日市市ヨリ四日市港ニ達スル路線

起 點 四日市市

經過 地 四日市市中町通、蓬萊橋、昌榮橋經由

終 點 四日市港

四郷四日市停車場線 三重郡四郷村ヨリ四日市停車場ニ達スル路線

起 點 三重郡四郷村

經過 地 國道一號路線重用(四日市市大字濱田字新田町ニ於テ分岐)四日市市四ツ谷町經由

終 點 四日市停車場

四日市停車場線 四日市市ヨリ四日市停車場ニ達スル路線

起 點 三重郡菰野村

經過 地 四日市八日市線重用(員辨郡治田村大字別名經由、大泉原關ヶ原線重用)

終 點 岐阜縣界員辨郡立田村

菰野龜山線 三重郡菰野村ヨリ鈴鹿郡龜山町ニ達スル路線

起 點 三重郡菰野村

經過 地 四日市八日市線重用(三重郡菰野村大字宿野ニ於テ分岐)鈴鹿郡深伊澤村、國道二號路線重用

終 點 鈴鹿郡龜山町

神戸石薬師線 河藝郡神戸町ヨリ鈴鹿郡石薬師村ニ達スル路線

起 點 河藝郡神戸町

經過 地 河藝郡河曲村、鈴鹿郡牧田村、國道二號路線重用

終 點 鈴鹿郡石薬師村

石薬師加佐登停車場線 鈴鹿郡石薬師村ヨリ加佐登停車場ニ達スル

路線

起 點 鈴鹿郡石薬師村

經過 地 國道二號路線重用(鈴鹿郡高津瀬村大字高

宮ニ於テ分岐)

終 點 加佐登停車場

龜山停車場線 鈴鹿郡龜山町ヨリ龜山停車場ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡龜山町

經過 地 國道二號路線重用(鈴鹿郡龜山町大字西町

ニ於テ分岐)

終 點 龜山停車場

關停車場線 鈴鹿郡關町ヨリ關停車場ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡關町

經過 地 國道二號路線重用(鈴鹿郡關町大字新所ニ

於テ分岐)

終 點 關停車場

上野一身田線 河藝郡上野村ヨリ同郡一身田町ニ達スル路

線

起 點 河藝郡上野村

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡栗真村大字小川

ニ於テ分岐)河藝郡一身田町、極樂橋、中

ノ橋經由

終 點 河藝郡一身田町

椋本一身田線 河藝郡椋本村ヨリ同郡一身田町ニ達スル路

起 點 河藝郡椋本村

經過 地 津大津線重用(河藝郡大里村大字窪田ニ於

テ分岐)

終 點 河藝郡一身田町

阿波椋本線 阿山郡阿波村ヨリ河藝郡椋本村ニ達スル路

起 點 阿山郡阿波村

經過 地 安濃郡河内村、津大津線重用

終 點 河藝郡椋本村

終 點 河藝郡椋本村

線

起 點 一志郡久居町

經過 地 津名張線重用(一志郡久居町字東口ニ於テ

分岐)國道一號路線重用(一志郡高茶屋村

大字小森ニ於テ分岐)

終 點 高茶屋停車場

矢野高茶屋停車場線 一志郡矢野村ヨリ高茶屋停車場ニ達スル路

起 點 一志郡矢野村

經過 地 一志郡雲出村大字本郷經由、久居高茶屋停

車場高重用

終 點 高茶屋停車場

久居家城線 一志郡久居町ヨリ同郡家城村ニ達スル路線

起 點 一志郡久居町

經過 地 一志郡本村、高岡村、大井村

終 點 一志郡家城村

家城松山線 一志郡家城村ヨリ奈良縣宇陀郡松山町ニ達

石薬師加佐登停車場線 鈴鹿郡石薬師村ヨリ加佐登停車場ニ達スル

路線

起 點 鈴鹿郡石薬師村

經過 地 國道二號路線重用(鈴鹿郡高津瀬村大字高

宮ニ於テ分岐)

終 點 加佐登停車場

龜山停車場線 鈴鹿郡龜山町ヨリ龜山停車場ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡龜山町

經過 地 國道二號路線重用(鈴鹿郡龜山町大字西町

ニ於テ分岐)

終 點 龜山停車場

關停車場線 鈴鹿郡關町ヨリ關停車場ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡關町

經過 地 國道二號路線重用(鈴鹿郡關町大字新所ニ

於テ分岐)

終 點 關停車場

上野一身田線 河藝郡上野村ヨリ同郡一身田町ニ達スル路

線

起 點 河藝郡上野村

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡栗真村大字小川

ニ於テ分岐)河藝郡一身田町、極樂橋、中

ノ橋經由

終 點 河藝郡一身田町

椋本一身田線 河藝郡椋本村ヨリ同郡一身田町ニ達スル路

起 點 河藝郡椋本村

經過 地 津大津線重用(河藝郡大里村大字窪田ニ於

テ分岐)

終 點 河藝郡一身田町

阿波椋本線 阿山郡阿波村ヨリ河藝郡椋本村ニ達スル路

起 點 阿山郡阿波村

經過 地 安濃郡河内村、津大津線重用

終 點 河藝郡椋本村

終 點 河藝郡椋本村

線

起 點 一志郡久居町

經過 地 津名張線重用(一志郡久居町字東口ニ於テ

分岐)國道一號路線重用(一志郡高茶屋村

大字小森ニ於テ分岐)

終 點 高茶屋停車場

矢野高茶屋停車場線 一志郡矢野村ヨリ高茶屋停車場ニ達スル路

起 點 一志郡矢野村

經過 地 一志郡雲出村大字本郷經由、久居高茶屋停

車場高重用

終 點 高茶屋停車場

久居家城線 一志郡久居町ヨリ同郡家城村ニ達スル路線

起 點 一志郡久居町

經過 地 一志郡本村、高岡村、大井村

終 點 一志郡家城村

家城松山線 一志郡家城村ヨリ奈良縣宇陀郡松山町ニ達

津 港 線 津市ヨリ津港ニ達スル路線

起 點 津市

經過 地 國道一號路線重用(津市大字津字分部町ニ

於テ分岐)津市大字津字築地町經由

終 點 津港

新町津停車場線 安濃郡新町ヨリ津停車場ニ達スル路線

起 點 安濃郡新町

經過 地 津奈良線重用(安濃郡新町大字古河ニ於テ

分岐)津市大字津塔世西裏經由、國道一號

路線重用(津市大字下部田字荒畑ニ於テ分

岐)

終 點 津停車場

津阿漕停車場線 津市ヨリ阿漕停車場ニ達スル路線

起 點 津市

經過 地 津名張線重用(津市大字岩田町ニ於テ分岐)

終 點 阿漕停車場

久居高茶屋停車場線 一志郡久居町ヨリ高茶屋停車場ニ達スル路

スル路線

起 點 一志郡家城村  
 經過 地 一志郡八知村、八幡村  
 終 點 奈良縣界一志郡伊勢地村  
 宮前六軒停車場線  
 起 點 飯南郡宮前村  
 經過 地 一志郡多氣村、宇氣郷村、豐地村、中原村  
 大三松阪線重用（一志郡豐田村大字權現前ニ於テ分岐）  
 終 點 六軒停車場  
 竹原大石停車場線  
 起 點 一志郡竹原村  
 經過 地 一志郡下ノ川村、宮前六軒停車場線重用（一志郡多氣村大字上多氣ニ於テ分岐）飯南郡柿野村大字上仁柿經由、津和歌山線重用  
 終 點 大石停車場  
 上野四日市線 阿山郡上野町ヨリ四日市市ニ達スル路線

起 點 阿山郡上野町

經過 地 津奈百線重用（阿山郡上野町大字上野字農人町ニ於テ分岐）阿山郡府中村、東柘植村

終 點 鈴鹿郡加太村、國道二號路線重用

四日市市

柘植停車場線 阿山郡東柘植村ヨリ柘植停車場ニ達スル路線

起 點 阿山郡東柘植村

經過 地 上野四日市線重用（阿山郡東柘植村大字上柘植ニ於テ分岐）

終 點 柘植停車場

柘植草津線 阿山郡東柘植村ヨリ滋賀縣栗太郡草津町ニ達スル路線

起 點 阿山郡東柘植村

經過 地 阿山郡東柘植村大字上柘植字倉部經由

終 點 滋賀縣界阿山郡東柘植村

上野寺庄線 阿山郡上野町ヨリ滋賀縣甲賀郡寺庄村ニ達スル路線

上野名張線 阿山郡上野町ヨリ名賀郡名張町ニ達スル路線

線

起 點 阿山郡上野町

經過 地 阿山郡城南村、名賀郡古山村、藏持村、津名張線重用（名賀郡名張町字廣垣内ニ於テ分岐）

終 點 名賀郡名張町

上野月瀬線 阿山郡上野町ヨリ奈良縣添上郡月瀬村ニ達スル路線

起 點 阿山郡上野町

經過 地 上野名張線重用（阿山郡城南村大字久米ニ於テ分岐）名賀郡花垣村

終 點 奈良縣界名賀郡花垣村

名張初瀬線 名賀郡名張町ヨリ奈良縣磯城郡初瀬町ニ達スル路線

起 點 名賀郡名張町

經過 地 名賀郡錦生村

スル路線

起 點 一志郡家城村  
 經過 地 一志郡八知村、八幡村  
 終 點 奈良縣界一志郡伊勢地村  
 宮前六軒停車場線  
 起 點 飯南郡宮前村  
 經過 地 一志郡多氣村、宇氣郷村、豐地村、中原村  
 大三松阪線重用（一志郡豐田村大字權現前ニ於テ分岐）  
 終 點 六軒停車場  
 竹原大石停車場線  
 起 點 一志郡竹原村  
 經過 地 一志郡下ノ川村、宮前六軒停車場線重用（一志郡多氣村大字上多氣ニ於テ分岐）飯南郡柿野村大字上仁柿經由、津和歌山線重用  
 終 點 大石停車場  
 上野四日市線 阿山郡上野町ヨリ四日市市ニ達スル路線

スル路線

起 點 阿山郡上野町

經過 地 上野四日市線重用（阿山郡府中村大字佐那具ニ於テ分岐）阿山郡玉瀧村

終 點 滋賀縣界阿山郡玉瀧村

上野長野線 阿山郡上野町ヨリ滋賀縣甲賀郡長野村ニ達スル路線

起 點 阿山郡上野町

經過 地 上野寺庄線重用（阿山郡河合村大字馬場ニ於テ分岐）

終 點 滋賀縣界阿山郡丸柱村

上野伊賀上野停車場線 阿山郡上野町ヨリ伊賀上野停車場ニ達スル路線

起 點 阿山郡上野町

經過 地 津奈百線重用（阿山郡上野町大字上野字東町ニ於テ分岐）

終 點 伊賀上野停車場

終 點 奈良縣界名賀郡錦生村

山粕名張線 奈良縣宇陀郡室生村大字山粕ヨリ名賀郡名張町ニ達スル路線

起 點 奈良縣界名賀郡箕曲村

經過地 名賀郡箕曲村大字夏見經由名張箕曲線重用

終 點 名賀郡名張町

八知上野線 一志郡八知村ヨリ阿山郡上野町ニ達スル路線

起 點 一志郡八知村

經過地 名賀郡種生村、津名張線重用(名賀郡阿保町大字西法花寺ニ於テ分岐)名賀郡神戸村家城上野線重用

終 點 阿山郡上野町

松阪停車場線 飯南郡松阪町ヨリ松阪停車場ニ達スル路線

起 點 飯南郡松阪町

經過地 國道一號路線重用(飯南郡松阪町大字日野町ニ於テ分岐)

終 點 松阪停車場

松阪大口港線 飯南郡松阪町ヨリ大口港ニ達スル路線

起 點 飯南郡松阪町

經過地 國道一號路線重用(飯南郡松阪町大字本町ニ於テ分岐)

終 點 大口港

彌見宇治山田線 飯南郡彌見村ヨリ宇治山田市ニ達スル路線

起 點 飯南郡彌見村

經過地 飯南郡彌見村(櫻橋經由)多氣郡五ヶ谷村、丹生村、松阪丹生線重用(多氣郡丹生村大字野野尻ニ於テ分岐)津木本線重用(多氣郡佐奈村大字仁田ニ於テ分岐)多氣郡西外城田村、度會郡東外城田村、吉津田丸線、田丸停車場線重用(多氣郡田丸町大字田丸ニ於テ分岐)度會郡田丸町、城田村、宇治山田市中島町經由

終 點 宇治山田市

宇治山田神社港線 宇治山田市ヨリ神社港ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

經過地 宇治山田市大字一ノ木町、鍛冶屋垣外、河崎町經由

起 點 神社港

宇治山田大湊線 宇治山田市ヨリ度會郡大湊町ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

經過地 宇治山田神社港線重用(度會郡御蘭村大字新開ニ於テ分岐)度會郡神社町大字馬瀬經由

終 點 度會郡大湊町

大湊港線 度會郡大湊町ヨリ大湊港ニ達スル路線

起 點 度會郡大湊町

經過地 ○

終 點 大湊港

宇治山田鳥羽線 宇治山田市ヨリ志摩郡鳥羽町ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

相可大淀線 多氣郡相可町ヨリ同郡大淀村ニ達スル路線

起 點 多氣郡相可町

經過地 津木本線重用(多氣郡相可町大字相可字町屋ニ於テ分岐)多氣郡相可町大字弟國經由

經過地 國道一號路線重用(多氣郡齊宮村大字竹川ニ於テ分岐)多氣郡上御糸村大字佐田經由

終 點 多氣郡大淀村

宇治山田大淀線 宇治山田市ヨリ多氣郡大淀村ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

經過地 國道一號路線重用(度會郡小俣村字明野ニ於テ分岐)度會郡北濱村

終 點 多氣郡大淀村

宇治山田停車場線 宇治山田市ヨリ山田停車場ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

經過地 國道一號路線重用(宇治山田市大字豐川町ニ於テ分岐)

終 點 山田停車場

第五編 土木 第二章 道路

經過地 國道一號路線重用（宇治山田市大字岩淵町

ニ於テ分岐）度會郡濱郷村、二見町

終 點 志摩郡鳥羽町

宇治山田波切線 宇治山田市ヨリ志摩郡波切村ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

經過地 國道一號路線重用（宇治山田市大字浦田町

ニ於テ分岐）志摩郡磯部村、鵜方村

終 點 志摩郡波切村

宇治山田五ヶ所線 宇治山田市ヨリ度會郡五ヶ所村ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

經過地 國道一號路線重用（宇治山田市大字今在家町ニ於テ分岐）度會郡五ヶ所村大字切原經由

終 點 度會郡五ヶ所村

宇治山田吉津線 宇治山田市ヨリ度會郡吉津村ニ達スル路線

宇治山田市

經過地 彌見宇治山田線重用（宇治山田市大字辻久

留町ニ於テ分岐）度會郡小川郷村、中島村

鵜倉村

終 點 度會郡吉津村

五ヶ所鳥羽線 度會郡五ヶ所村ヨリ志摩郡鳥羽町ニ達スル路線

起 點 度會郡五ヶ所村

經過地 宇治山田五ヶ所線重用（度會郡五ヶ所村大字切原ニ於テ分岐）度會郡神原村、宇治山田波切線重用（志摩郡磯部村大字惠利原新開ニ於テ分岐）志摩郡磯部村、加茂村

終 點 志摩郡鳥羽町

鳥羽停車場線 志摩郡鳥羽町ヨリ鳥羽停車場ニ達スル路線

起 點 志摩郡鳥羽町

經過地 五ヶ所鳥羽線重用（志摩郡鳥羽町大字鳥羽

字本町ニ於テ分岐）志摩郡鳥羽町大字鳥羽

字本町經由

經過地 國道一號路線重用（宇治山田市大字岩淵町

ニ於テ分岐）度會郡濱郷村、二見町

終 點 志摩郡鳥羽町

宇治山田波切線 宇治山田市ヨリ志摩郡波切村ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

經過地 國道一號路線重用（宇治山田市大字浦田町

ニ於テ分岐）志摩郡磯部村、鵜方村

終 點 志摩郡波切村

宇治山田五ヶ所線 宇治山田市ヨリ度會郡五ヶ所村ニ達スル路線

起 點 宇治山田市

經過地 國道一號路線重用（宇治山田市大字今在家町ニ於テ分岐）度會郡五ヶ所村大字切原經由

終 點 度會郡五ヶ所村

宇治山田吉津線 宇治山田市ヨリ度會郡吉津村ニ達スル路線

宇治山田市

經過地 彌見宇治山田線重用（宇治山田市大字辻久

留町ニ於テ分岐）度會郡小川郷村、中島村

鵜倉村

終 點 度會郡吉津村

五ヶ所鳥羽線 度會郡五ヶ所村ヨリ志摩郡鳥羽町ニ達スル路線

起 點 度會郡五ヶ所村

經過地 宇治山田五ヶ所線重用（度會郡五ヶ所村大字切原ニ於テ分岐）度會郡神原村、宇治山田波切線重用（志摩郡磯部村大字惠利原新開ニ於テ分岐）志摩郡磯部村、加茂村

終 點 志摩郡鳥羽町

鳥羽停車場線 志摩郡鳥羽町ヨリ鳥羽停車場ニ達スル路線

起 點 志摩郡鳥羽町

經過地 五ヶ所鳥羽線重用（志摩郡鳥羽町大字鳥羽

字本町ニ於テ分岐）志摩郡鳥羽町大字鳥羽

字本町經由

終 點 鳥羽停車場

鳥羽港線 志摩郡鳥羽町ヨリ鳥羽港ニ達スル路線

起 點 志摩郡鳥羽町

經過地 五ヶ所鳥羽線重用（志摩郡鳥羽町大字鳥羽

字中ノ郷ニテ分岐）

終 點 鳥羽港

鳥羽的矢線 志摩郡鳥羽町ヨリ同郡的矢村ニ達スル路線

起 點 志摩郡鳥羽町

經過地 五ヶ所鳥羽線重用（志摩郡加茂村大字松尾

ニ於テ分岐）

終 點 志摩郡的矢村

鳥羽濱島線 志摩郡鳥羽町ヨリ同郡濱島町ニ達スル路線

起 點 志摩郡鳥羽町

經過地 五ヶ所鳥羽線重用（度會郡神原村大字山原

ニ於テ分岐）

終 點 志摩郡濱島町

和具波切線 志摩郡和具村ヨリ同郡波切村ニ達スル路線

第五編 土木 第二章 道路

路線

起 點 度會郡吉津村  
經過 地 度會郡島津村、北牟婁郡錦村、二郷村、津  
木本線重用

終 點 北牟婁郡長島町

吉津相可停車場 度會郡吉津村ヨリ相可停車場ニ達スル路線

起 點 度會郡吉津村

經過 地 宇治山田吉津線重用（度會郡吉津村大字河

内ニ於テ分岐）度會郡七保村、津木本線重  
用（多氣郡相可町大字相可字町屋ニ於テ分  
岐）相可大淀線重用

終 點 相可停車場

尾鷲引本線 北牟婁郡尾鷲町ヨリ同郡引本町ニ達スル路  
線

起 點 北牟婁郡尾鷲町

經過 地 津木本線重用（北牟婁郡相可村大字相可ニ  
於テ分岐）北牟婁郡相賀村大字渡利經由

終 點 北牟婁郡引本町

三瀬谷引本線 多氣郡三瀬谷村ヨリ北牟婁郡引本町ニ達ス  
ル路線

起 點 多氣郡三瀬谷村

經過 地 多氣郡萩原村、領内村、大杉谷村、北牟婁  
郡船津村、津木本線重用（北牟婁郡相賀村  
大字相賀ニ於テ分岐）尾鷲引本線重用

終 點 北牟婁郡引本町

尾鷲港線 北牟婁郡尾鷲町ヨリ尾鷲港ニ達スル路線

起 點 北牟婁郡尾鷲町

經過 地 津木本線重用（北牟婁郡尾鷲町大字南浦字  
土井町ニ於テ分岐）

終 點 尾鷲港

木本上市線 南牟婁郡木本町ヨリ奈良縣吉野郡上市町ニ  
達スル路線

起 點 南牟婁郡木本町

經過 地 津木本線重用（南牟婁郡飛鳥村大字小坂ニ

於テ分岐）

於テ分岐）南牟婁郡飛鳥村、五郷村

終 點 奈良縣界南牟婁郡神川村

木本新宮線 南牟婁郡木本町ヨリ和歌山縣東牟婁郡新宮  
町ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡木本町

經過 地 南牟婁郡阿田和村、鶴殿村

終 點 和歌山縣界南牟婁郡御船村（音無川渡船場）

入鹿木本港線 南牟婁郡入鹿村ヨリ木本港ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡入鹿村

經過 地 南牟婁郡尾呂志村、木本新宮線重用、津木  
本線重用（南牟婁郡木本町字本町ニ於テ分  
岐）

終 點 木本港

新鹿尾鷲線 南牟婁郡新鹿村ヨリ北牟婁郡尾鷲町ニ達ス  
ル路線

起 點 南牟婁郡新鹿村

經過 地 南牟婁郡荒坂村、南輪内村、北牟婁郡九鬼

第五編 土木 第二章 道路

村、尾鷲町大字行野浦經由、津木本線重用

終 點 北牟婁郡尾鷲町

新鹿木本線 南牟婁郡新鹿村ヨリ木本町ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡新鹿村

經過 地 南牟婁郡泊村、入鹿木本線重用

終 點 南牟婁郡木本町

白子四日市港線 河藝郡白子町ヨリ四日市港ニ達スル路線

起 點 河藝郡白子町

經過 地 國道一號路線重用（河藝郡白子町大字江島  
ニ於テ分岐）河藝郡若松村、三重郡楠村、  
鹽濱村、四日市港線重用

終 點 四日市港

●府縣道路線追加認定

(大正十二年四月十日)  
(告示第五百四十四號)

大正十二年四月一日府縣道ノ路線左ノ通過追加認定シ同日其ノ供用ヲ開始セリ

府縣道ニ認定路線

四日市多度線 四日市市ヨリ桑名郡多度村ニ達スル路線

起 點 四日市市

經過 地 大泉原四日市線重用(三重郡八郷村ニ於テ

分岐)員辨郡久米村大字赤尾、桑名彦根線

重用(員辨郡七和村大字星川ニ於テ分岐)桑

名郡古濱村、多度大泉原線重用

終 點 桑名郡多度村

桑名町停車場線 桑名郡桑名町ヨリ桑名町停車場ニ達スル路

起 點 桑名郡桑名町

經過 地 津岐早瀬重用(桑名郡桑名町大字今一色寺

部線)

町ニ於テ分岐)

終 點 桑名町停車場

菰野大泉原線 三重郡菰野村ヨリ員辨郡大泉原村ニ達スル

起 點 三重郡菰野村

經過 地 四日市八日市線重用(三重郡菰野村大字菰

野ニ於テ分岐)三重郡鶴川原村、同郡保々

村大字中野、員辨郡大長村大字南大社、大

泉原四日市線重用

終 點 員辨郡大泉原村

多度北大社停車場

場線 桑名郡多度村ヨリ北大社停車場線ニ達スル

起 點 桑名郡多度村

經過 地 四日市多度線重用(桑名郡古濱村大字中猪

飼ニ於テ分岐)員辨郡神田村

終 點 北大社停車場

北大社停車場

北大社停車場ヨリ府縣道大泉原四日市線ニ

終 點 桑名郡桑名町

梅戸井桑名線 員辨郡梅戸井村ヨリ桑名郡桑名町ニ達スル

起 點 員辨郡梅戸井村

經過 地 大泉原梅戸井線重用(員辨郡梅戸井村大字

梅戸ニ於テ分岐)大泉原四日市線重用(員辨

郡大長村大字長深ニ於テ分岐)員辨郡久米

村大字志知、四日市多度線重用(員辨郡久

米村大字赤尾ニ於テ分岐)桑名郡桑名町桑

名彦根線重用

終 點 桑名郡桑名町

富洲原桑名線 三重郡富洲原町ヨリ桑名郡桑名町ニ達スル

起 點 三重郡富洲原町

經過 地 三宅郡川越村大字高松、國道一號線重用

終 點 桑名郡桑名町

富洲原富田線 三重郡富洲原町ヨリ同郡富田町ニ達スル路

起 點 三重郡富洲原町

經過 地 三宅郡川越村大字高松、國道一號線重用

終 點 桑名郡桑名町

達スル路線

起 點 北大社停車場

經過 地 ○

終 點 員辨郡稻部村(府縣道大泉原四日市線)

大泉原梅戸井線 員辨郡大泉原村ヨリ同郡梅戸井村ニ達スル

起 點 員辨郡大泉原村

經過 地 大泉原四日市線重用(員辨郡大泉原村大字

北金井ニ於テ分岐)員辨郡大泉原村大字西方

經由

終 點 員辨郡梅戸井村

八日市桑名線 滋賀縣蒲生郡八日市町ヨリ桑名郡桑名町ニ

達スル路線

起 點 滋賀縣界員辨郡石樽村

經過 地 四日市八日市線重用(員辨郡石樽村ニ於テ

分岐)員辨郡三里村大字高柳經由、桑名彦

根線重用



第五編 土木 第二章 道路

線

起 點 三重郡富洲原町

經過 地 富洲原桑名線重用(三重郡富洲原村大字松原ニ於テ分岐) 國道一號線重用

終 點 三重郡富田町

富洲原富田停車場線 三重郡富洲原町ヨリ富田停車場ニ達スル路線

起 點 三重郡富洲原町

經過 地 富洲原富田線重用(三重郡富洲原町大字松原ニ於テ分岐)

終 點 富田停車場

菟野停車場線 三重郡菟野村ヨリ菟野停車場ニ達スル路線

起 點 三重郡菟野村

經過 地 四日市八日市線重用(三重郡菟野村大字菟野ニ於テ分岐)

終 點 菟野停車場

富田濱停車場ヨリ國道一號線ニ達スル路線

起 點 富田濱停車場

經過 地 ○

終 點 三重郡富田町大字茂福(國道一號線)

梅戸井四郷線 員辨郡梅戸井村ヨリ三重郡四郷村ニ達スル路線

起 點 員辨郡梅戸井村

經過 地 梅戸井桑名線、菟野大泉原線重用(三重郡

鵜川原村大字下鵜川原ニ於テ分岐) 三重郡

神前村、四日市八日市線重用(三重郡川島

村大字川島ニ於テ分岐) 三重郡川島村

終 點 三重郡四郷村

四郷神戸線 三重郡四郷村ヨリ河藝郡神戸町ニ達スル路線

起 點 三重郡四郷村

經過 地 梅戸井四郷線重用(三重郡四郷村大字八千

寺ニ於テ分岐) 三重郡内部村大字波木、國

道二號線重用(三重郡内部村大字栄女ニ於

テ分岐) 河藝郡河曲村、神戸石薬師線重用

終 點 河藝郡神戸町

石薬師神戸線 鈴鹿郡石薬師村ヨリ河藝郡神戸町ニ達スル

路線

起 點 鈴鹿郡石薬師村

經過 地 國道二號路線重用(鈴鹿郡石薬師村大字石

薬師ニ於テ分岐) 河藝郡河曲村大字山邊經

由四郷神戸線重用

終 點 河藝郡神戸町

庄野加佐登停車場線 鈴鹿郡庄野村ヨリ加佐登停車場ニ達スル路

線

起 點 鈴鹿郡庄野村

經過 地 國道二號路線重用(鈴鹿郡庄野村大字庄野

ニ於テ分岐)

終 點 加佐登停車場

龜山椋本線 鈴鹿郡龜山町ヨリ河藝郡椋本村ニ達スル路

線

第五編 土木 第二章 道路

起 點 鈴鹿郡龜山町

經過 地 龜山停車場線重用(鈴鹿郡龜山町大字西町

ニ於テ分岐) 鈴鹿郡龜山町大字安知本經由

津大津線重用

終 點 河藝郡椋本村

神戸伊勢若松停車場線 河藝郡神戸町ヨリ伊勢若松停車場ニ達スル

路線

起 點 河藝郡神戸町

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡玉垣村大字肥田

ニ於テ分岐) 河藝郡玉垣村大字土師

終 點 伊勢若松停車場

伊勢若松停車場ヨリ府縣道白子四日市港總

ニ達スル路線

起 點 伊勢若松停車場

經過 地 ○

終 點 河藝郡若松村(府縣道白子四日市港線)

神戸千代崎港線 河藝郡神戸町ヨリ千代崎港ニ達スル路線

起 點 河藝郡神戸町

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡玉垣村大字玉垣  
ニ於テ分岐)河藝郡玉垣村大字岸岡經由、  
白子四日市港線重用(河藝郡若松村大字南  
若松ニ於テ分岐)

終 點 千代崎港

河原田停車場一ノ宮線

河原田停車場ヨリ河藝郡一ノ宮村ニ達スル  
路線

起 點 河原田停車場

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡一ノ宮村大字高岡  
ニ於テ分岐)河藝郡一ノ宮村大字池田經由

終 點 河藝郡一ノ宮村

白子龜山線 河藝郡白子町ヨリ鈴鹿郡龜山町ニ達スル路  
線

起 點 河藝郡白子町

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡白子町大字江島  
ニ於テ分岐)河藝郡稻生村大字野町新田、鈴

鹿郡國府村大字國府國道二號路線重用

終 點 鈴鹿郡龜山町

神戶上野線 河藝郡神戸町ヨリ同郡上野村ニ達スル路線

起 點 河藝郡神戸町

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡神戸町大字地子  
町ニ於テ分岐)河藝郡稻生村、同郡桑村大  
字(永、國道一號路線重用)

終 點 河藝郡上野町

白子稻生線 河藝郡白子町ヨリ同郡稻生村ニ達スル路線

起 點 河藝郡白子町

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡白子町大字白子  
ニ於テ分岐)河藝郡稻生村大字野村新田經  
由

終 點 河藝郡稻生村

白子停車場線 河藝郡白子町ヨリ白子停車場ニ達スル路線

起 點 河藝郡白子町

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡白子町大字白子

終 點 白子停車場

白塚一身田線 河藝郡白塚村ヨリ同郡一身田町ニ達スル路  
線

起 點 河藝郡白塚村

經過 地 河藝郡一身田町大字平野經由、上野一身田  
線重用

終 點 河藝郡一身田町

神戸龜山線 河藝郡神戸町ヨリ鈴鹿郡龜山町ニ達スル路  
線

起 點 河藝郡神戸町

經過 地 神戸石藥師線重用(河藝郡神戸町大字西條  
ニ於テ分岐)河藝郡飯野村大字三日市、鈴  
鹿郡國府村大字平野、國道二號路線重用

終 點 鈴鹿郡龜山町

上野伊勢上野停車場線 河藝郡上野村ヨリ伊勢上野停車場ニ達スル  
路線

ニ於テ分岐)

起 點 河藝郡上野村

經過 地 國道一號路線重用(河藝郡上野村大字上野  
ニ於テ分岐)

終 點 伊勢上野停車場

椋本津線 河藝郡椋本村ヨリ津市ニ達スル路線

起 點 河藝郡椋本村

經過 地 安濃郡安西村、同郡安濃村、同郡安東村、  
新町津停車場線、津奈良線重用

終 點 津市

新町久居線 安濃郡新町ヨリ一志郡久居町ニ達スル路線

起 點 安濃郡新町

經過 地 津奈良線重用(安濃郡新町大字古河ニ於テ  
分岐)安濃郡神戸村大字牛田、津名張線重  
用

終 點 一志郡久居町

久居一身田線 一志郡久居町ヨリ河藝郡一身田町ニ達スル  
路線

起 點 一志郡久居町

經過地 津名張線重用(一志郡久居町字寺町ニ於テ分岐)安濃郡神戸村大字野田、津奈瓦線重用(安濃郡柳形村大字殿村ニ於テ分岐)椋本津線重用(安濃郡安東村ニ於テ分岐)安濃郡安東村大字川邊、椋本一身田線重用

終 點 河藝郡一身田町

上野久居線 阿山郡上野町ヨリ一志郡久居町ニ達スル路

起 點 阿山郡上野町

經過地 津奈瓦線重用(安濃郡高宮村大字五百野ニ於テ分岐)一志郡稻葉村、津名張線重用

終 點 一志郡久居町

久居松ヶ崎線 一志郡久居町ヨリ同郡松ヶ崎村ニ達スル路

起 點 一志郡久居町

經過地 久居家城線重用(一志郡久居町字本町ニ於テ分岐)一志郡松ヶ崎村ヨリ六軒停車場ニ達スル路

終 點 六軒停車場

波瀨久居線 一志郡波瀨村ヨリ同郡久居町ニ達スル路

テ分岐)一志郡桃園村、同郡豐田村、國道一號路線重用(一志郡松ヶ崎村大字三波ニ於テ分岐)

終 點 一志郡松ヶ崎村

松ヶ崎松阪線 一志郡松ヶ崎村ヨリ飯南郡松阪町ニ達スル路

起 點 一志郡松ヶ崎村

經過地 飯南郡港村大字大平尾經由、國道一號路線重用

終 點 飯南郡松阪町

松ヶ崎六軒停車場線 一志郡松ヶ崎村ヨリ六軒停車場ニ達スル路

起 點 一志郡松ヶ崎村

經過地 久居松ヶ崎線重用(一志郡天白村ニ於テ分岐)

終 點 六軒停車場

波瀨久居線 一志郡波瀨村ヨリ同郡久居町ニ達スル路

起 點 一志郡波瀨村

經過地 一志郡大井村大字井關、久居家城線重用

終 點 一志郡久居町

下ノ川波瀨線 一志郡下ノ川村ヨリ同郡波瀨村ニ達スル路

起 點 一志郡下ノ川村

經過地 一志郡波瀨村

終 點 一志郡波瀨村

阿保家城線 名賀郡阿保町ヨリ一志郡家城村ニ達スル路

起 點 名賀郡阿保町

經過地 津名張線重用(名賀郡阿保町大字阿保ニ於テ分岐)名賀郡種生村同郡矢持村大字霧生

終 點 一志郡境村

松阪大淀線 飯南郡松阪町ヨリ多氣郡大淀村ニ達スル路

起 點 一志郡家城村

經過地 飯南郡松阪町ヨリ多氣郡丹生村ニ達スル路

終 點 多氣郡丹生村

相可丹生線 多氣郡相可町ヨリ同郡丹生村ニ達スル路

起 點 多氣郡相可町

經過地 多氣郡津田村大字牧經由、松阪丹生線重用

終 點 多氣郡丹生村

齋宮田丸線 多氣郡齋宮村ヨリ度會郡田丸町ニ達スル路

起 點 飯南郡松阪町

經過地 津木ノ本線重用(飯南郡花園村大字藤部田ニ於テ分岐)飯南郡花園村大字山室、同郡茅廣江村、多氣郡津田村大字津留

終 點 多氣郡丹生村

松阪丹生線 飯南郡松阪町ヨリ多氣郡丹生村ニ達スル路

起 點 飯南郡松阪町

經過地 津木ノ本線重用(飯南郡花園村大字藤部田ニ於テ分岐)飯南郡花園村大字山室、同郡茅廣江村、多氣郡津田村大字津留

終 點 多氣郡丹生村

相可丹生線 多氣郡相可町ヨリ同郡丹生村ニ達スル路

起 點 多氣郡相可町

經過地 多氣郡津田村大字牧經由、松阪丹生線重用

終 點 多氣郡丹生村

齋宮田丸線 多氣郡齋宮村ヨリ度會郡田丸町ニ達スル路

起 點 飯南郡松阪町

經過地 津木ノ本線重用(飯南郡花園村大字藤部田ニ於テ分岐)飯南郡花園村大字山室、同郡茅廣江村、多氣郡津田村大字津留

終 點 多氣郡丹生村

線

起 點 多氣郡齋宮村

經過 地 國道一號路線重用(多氣郡齋宮村大字齋宮

ニ於テ分岐)多氣郡明星村大字有爾中吉津

田丸線重用

終 點 度會郡田丸町

齋宮大淀線 多氣郡齋宮村ヨリ同郡大淀村ニ達スル路線

起 點 多氣郡齋宮村

經過 地 國道一號路線重用(多氣郡明星村ニ於テ分

岐)多氣郡齋宮村大字平尾、宇治山田大淀

線重用

終 點 多氣郡大淀村

大淀北濱線 多氣郡大淀村ヨリ度會郡北濱村ニ達スル路

起 點 多氣郡大淀村

經過 地 宇治山田大淀線重用(度會郡北濱村大字東

大淀ニ於テ分岐)

田丸停車場線

田丸停車場線 度會郡田丸町ヨリ田丸停車場ニ達スル路線

起 點 度會郡田丸町

經過 地 ○

終 點 田丸停車場

吉津田丸線 度會郡吉津村ヨリ同郡田丸町ニ達スル路線

起 點 度會郡吉津村

經過 地 宇治山田吉津線重用(度會郡小川郷村大字

川口ニ於テ分岐)度會郡内城田村

終 點 度會郡田丸町

宇治二見線 宇治山田市大字今在家町ヨリ度會郡二見町

ニ達スル路線

起 點 宇治山田市大字今在家町

經過 地 宇治山田波切線重用(宇治山田市大字館町

ニ於テ分岐)度會郡四郷村大字中村、宇治

山田鳥羽線重用

終 點 度會郡二見町

錦瀧原線 北牟婁郡錦村ヨリ度會郡瀧原村ニ達スル路

第五編 土木 第二章 道路

終 點 度會郡北濱村

北濱宇治山田線 度會郡北濱村ヨリ宇治山田市ニ達スル路線

起 點 度會郡北濱村

經過 地 度會郡豐濱村、同郡小俣村字下小俣國道一

號路線重用

終 點 宇治山田市

小俣田丸線 度會郡小俣村ヨリ同郡田丸町ニ達スル路線

起 點 度會郡小俣村

經過 地 小俣宮川停車場線重用(度會郡小俣村字稻

場ニ於テ分岐)度會郡有田村大字湯田、齋

宮田丸線重用

終 點 度會郡田丸町

小俣宮川停車場線 度會郡小俣村ヨリ宮川停車場ニ達スル路線

起 點 度會郡小俣村

經過 地 國道一號路線重用(度會郡小俣村字西町ニ

於テ分岐)

終 點 宮川停車場

線

起 點 北牟婁郡錦村

經過 地 吉津長島線重用(度會郡柏崎村大字崎ニ於

テ分岐)津木本線重用

終 點 度會郡瀧原村

島津瀧原線 度會郡島津村ヨリ同郡瀧原村ニ達スル路線

起 點 度會郡島津村

經過 地 吉津長島線重用(度會郡島津村大字古和浦

ニ於テ分岐)度會郡柏崎村大字柏野經由、

津木本線重用

終 點 度會郡瀧原村

五ヶ所宿田會線 度會郡五ヶ所村ヨリ同郡宿田會村ニ達スル

路線

起 點 度會郡五ヶ所村

經過 地 五ヶ所島羽線重用(度會郡神原村大字神津

佐ニ於テ分岐)度會郡神原村大字神津佐、

志摩郡濱島町大字南張

終 點 度會郡宿田曾村

的矢波切線 志摩郡的矢村ヨリ同郡波切村ニ達スル路線

起 點 志摩郡的矢村

經過地 鳥羽的矢線重用(志摩郡的矢村大字の矢ニ

於テ分岐) 志摩郡的矢村大字三ヶ所經由、

志摩郡國府村、同郡甲賀村、同郡志島村、

同郡時名村、同郡名田村、宇治山田波切線

重用

終 點 志摩郡波切村

上野多羅尾線 阿山郡上野町ヨリ滋賀縣甲賀郡多羅尾村ニ

達スル路線

起 點 阿山郡上野町

經過地 津奈長線重用(阿山郡小田村字南代ニ於テ

分岐) 阿山郡新居村大字西山

終 點 滋賀縣界阿山郡新居村

島ヶ原停車場ヨリ奈長縣添上郡月瀨村ニ達

スル路線

起 點 島ヶ原停車場

經過地 津奈長線重用(阿山郡島ヶ原村字川南ニ於

テ分岐) 名賀郡花垣村大字白樫、上野月瀨

線重用

終 點 奈長縣界名賀郡花垣村

上野丹波市線 阿山郡上野町ヨリ奈長縣山邊郡丹波市町ニ

達スル路線

起 點 阿山郡上野町

經過地 上野月瀨線重用(名賀郡花垣村大字白樫ニ

於テ分岐) 名賀郡花垣村大字治田

終 點 奈長縣界名賀郡花垣村

家城上野線 一志郡家城村ヨリ阿山郡上野町ニ達スル路

起 點 一志郡家城村

經過地 阿保家城線重用(一志郡境村大字小杉ニ於

テ分岐) 一志郡境村大字大原、名賀郡矢持

村大字奥鹿野、津名張線重用(名賀郡上津

終 點 名張停車場

長島長島港線 北牟婁郡長島町ヨリ長島港ニ達スル路線

起 點 北牟婁郡長島町

經過地 津木本線重用(北牟婁郡長島町字上木町ニ

於テ分岐)

終 點 長島港

孤野湯ノ山線 三重郡菰野村ヨリ同村湯ノ山ニ達スル路線

起 點 三重郡菰野村

經過地 ○

終 點 三重郡菰野村(湯ノ山)

椿四郷線 鈴鹿郡椿村ヨリ三重郡四郷村ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡椿村

經過地 鈴鹿郡椿村大字大野字野田經由、三重郡水

澤村、同郡小山田村大字小山、梅戸井四郷

線重用

終 點 三重郡四郷村

小山田四郷線 三重郡小山田村ヨリ同郡四郷村ニ達スル路

終 點 阿山郡上野町

名張赤目瀨線 名賀郡名張町ヨリ同郡瀧川村赤目瀨ニ達ス

ル路線

起 點 名賀郡名張町

經過地 名張初瀨線重用(名賀郡箕曲村大字中村ニ

於テ分岐) 名賀郡瀧川村大字長坂

終 點 名賀郡瀧川村(赤目瀨)

名張箕曲線 名賀郡名張町ヨリ同郡箕曲村ニ達スル路線

起 點 名賀郡名張町

經過地 鍛冶町橋經由

終 點 名賀郡箕曲村

名張停車場線 名賀郡名張町ヨリ名張停車場ニ達スル路線

起 點 名賀郡名張町

經過地 名張初瀨線重用(名賀郡名張町字下横町ニ

於テ分岐)

線

起 點 三重郡小山田村

經過 地 椿四郷線重用

終 點 三重郡四郷村

小山田石薬師線 三重郡小山田村ヨリ鈴鹿郡石薬師村ニ達ス

ル路線

起 點 三重郡小山田村

經過 地 小山田四郷線重用（三重郡小山田村大字山

田ニ於テ分岐）鈴鹿郡久間田村、國道二號

路線重用

終 點 鈴鹿郡石薬師村

椿加佐登停車場

起 點 鈴鹿郡椿村

經過 地 猿野龜山線重用（鈴鹿郡深伊澤村大字伊船

ニ於テ分岐）鈴鹿郡高津瀬村、石薬師加佐

登停車場線重用

終 點 加佐登停車場

大三松阪線 一志郡大三村ヨリ飯南郡松阪町ニ達スル路

線

起 點 一志郡大三村

經過 地 津名張線重用（一志郡大三村大字二本木ニ

於テ分岐）久居家城線重用（一志郡高岡村

大字田尻ニ於テ分岐）一志郡川合村、同郡

中川村、同郡中原村大字黒野經由、國道一

號路線重用

終 點 飯南郡松阪町

大、三家城線 一志郡大三村ヨリ同郡家城村ニ達スル路線

起 點 一志郡大三村

經過 地 廣瀬橋經由、久居家城線重用

終 點 一志郡家城村

粥見八幡線 飯南郡粥見村ヨリ一志郡八幡村ニ達スル路

線

起 點 飯南郡粥見村

經過 地 津和歌山線重用（飯南郡宮前村大字赤桶ニ

於テ分岐）一志郡八幡村大字川上、家城松

山線重用

終 點 一志郡八幡村

粥見瀧原線 飯南郡粥見村ヨリ度會郡瀧原村ニ達スル路

線

起 點 飯南郡粥見村

經過 地 津和歌山線重用（飯南郡粥見村大字粥見ニ

於テ分岐）飯南郡粥見村大字粥見字下相津

經由、津木ノ本線重用

終 點 度會郡瀧原村

東黒部松阪線 多氣郡東黒部村ヨリ飯南郡松阪町ニ達スル

路線

起 點 多氣郡東黒部村

經過 地 飯南郡西黒部村松阪大淀線重用

終 點 飯南郡松阪町

東黒部相可線 多氣郡東黒部村ヨリ同郡相可町ニ達スル路

線

大三松阪線 一志郡大三村ヨリ飯南郡松阪町ニ達スル路

線

起 點 一志郡大三村

經過 地 津名張線重用（一志郡大三村大字二本木ニ

於テ分岐）久居家城線重用（一志郡高岡村

大字田尻ニ於テ分岐）一志郡川合村、同郡

中川村、同郡中原村大字黒野經由、國道一

號路線重用

終 點 飯南郡松阪町

大、三家城線 一志郡大三村ヨリ同郡家城村ニ達スル路線

起 點 一志郡大三村

經過 地 廣瀬橋經由、久居家城線重用

終 點 一志郡家城村

粥見八幡線 飯南郡粥見村ヨリ一志郡八幡村ニ達スル路

線

起 點 飯南郡粥見村

經過 地 津和歌山線重用（飯南郡宮前村大字赤桶ニ

於テ分岐）一志郡八幡村大字川上、家城松

山線重用

終 點 一志郡八幡村

粥見瀧原線 飯南郡粥見村ヨリ度會郡瀧原村ニ達スル路

線

起 點 飯南郡粥見村

經過 地 津和歌山線重用（飯南郡粥見村大字粥見ニ

於テ分岐）飯南郡粥見村大字粥見字下相津

經由、津木ノ本線重用

終 點 度會郡瀧原村

東黒部松阪線 多氣郡東黒部村ヨリ飯南郡松阪町ニ達スル

路線

起 點 多氣郡東黒部村

經過 地 飯南郡西黒部村松阪大淀線重用

終 點 飯南郡松阪町

東黒部相可線 多氣郡東黒部村ヨリ同郡相可町ニ達スル路

線

字船越

終 點 北牟婁郡桂城村

長島停車場長島 長島停車場ヨリ國道一號路線ニ達スル路線

起 點 長島停車場

經過 地 ○

終 點 桑名郡長島村(國道一號路線)

小山津島線 桑名郡多度村大字小山ヨリ愛知縣海部郡津

島町ニ達スル路線

起 點 桑名郡多度村大字小山

經過 地 ○

終 點 岐阜縣界桑名郡七取村

七取長島停車場 桑名郡七取村ヨリ長島停車場ニ達スル路線

起 點 桑名郡七取村

經過 地 桑名郡楠村大字下坂手、長島停車場長島線

重用

終 點 長島停車場

鼎阿下喜線 員辨郡中里村大字鼎ヨリ同郡阿下喜村ニ達

スル路線

起 點 員辨郡中里村大字鼎

經過 地 員辨郡十社村大字川原、阿下喜高須線重用

終 點 員辨郡阿下喜村

十社大泉原線 員辨郡十社村ヨリ同郡大泉原村ニ達スル路

線

起 點 員辨郡十社村

經過 地 員辨郡十社村大字東貝野、同郡笠田村大字

市之原、多度大泉原線重用

終 點 員辨郡大泉原村

阿下喜東停車場 阿下喜東停車場ヨリ十社大泉原線ニ達スル

山郷線 路線

起 點 阿下喜東停車場

經過 地 ○

終 點 員辨郡山郷村(十社大泉原線)

白瀬梅戸井線 員辨郡白瀬村ヨリ同郡梅戸井村ニ達スル路

線

竹永富洲原線 三重郡竹永村ヨリ同郡富洲原町ニ達スル路

線

起 點 三重郡竹永村

經過 地 三重郡竹永村大字永井、同郡保々村、同郡

下野村大泉原四日市線重用(三重郡大矢知

村大字大矢知ニ於テ分岐)三重郡富洲原町

大字松原、富洲原桑名線重用

終 點 三重郡富洲原町

大長四日市線 員辨郡大長村ヨリ四日市市ニ達スル路線

起 點 三重郡大長村

經過 地 三重郡保々村大字小牧經由、朝上四日市線

重用

終 點 四日市市

河原田停車場 河原田停車場ヨリ府縣道白子四日市港線ニ

達スル路線

起 點 河原田停車場

經過 地 河原田停車場一ノ宮線重用(三重郡河原田

朝上梅戸井線 三重郡朝上村ヨリ員辨郡梅戸井村ニ達スル

線路

終 點 員辨郡梅戸井村

經過 地 員辨郡白瀬村大字山口、同郡西藤原村、同

郡東藤原村大字東禪寺、同郡治田村、同郡

三里村

起 點 三重郡朝上村

經過 地 三重郡朝上村大字小島、梅戸井桑名線重用

終 點 員辨郡梅戸井村

朝上四日市線 三重郡朝上村ヨリ四日市市ニ達スル路線

起 點 三重郡朝上村

經過 地 三重郡竹永村大字竹成、菰野大泉原線、梅

戸井四郷線重用(三重郡縣村大字山瀬古ニ

於テ分岐)三重郡縣村、同郡三重村、四日

市八日市線重用

終 點 四日市市

第五編 土木 第二章 道路

村大字河原田ニ於テ分岐)三重郡楠村大字本郷

終 點 三重郡楠村(府縣道白子四日市港線)

場線 山本河原田停車場 鈴鹿郡椿村大字山本ヨリ河原田停車場ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡椿村大字山本

經過 地 鈴鹿郡久間田村、小山田石築師線重用(鈴鹿郡久間田村大字鹿間ニ於テ分岐)三重郡内部村、國道二號線重用(三重郡内部村大字小古曾ニ於テ分岐)國道一號線河原田停車場一ノ宮線重用

終 點 河原田停車場

野登龜山線 鈴鹿郡野登村大字安坂山ヨリ同郡龜山町ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡野登村大字安坂山

經過 地 鈴鹿郡野登村大字邊法寺、同郡龜山町大字羽若經由

終 點 鈴鹿郡龜山町

邊法寺加佐登停車場線 鈴鹿郡野登村大字邊法寺ヨリ加佐登停車場ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡野登村大字邊法寺

經過 地 鈴鹿郡川崎村、同郡高津瀬村大字廣瀬、椿加佐登停車場線重用

終 點 加佐登停車場

白川龜山線 鈴鹿郡白川村ヨリ同郡龜山町ニ達スル路線

起 點 鈴鹿郡白川村

經過 地 鈴鹿郡神邊村、野登龜山線重用

終 點 鈴鹿郡龜山町

明白子線 河藝郡明村ヨリ同郡白子町ニ達スル路線

起 點 河藝郡明村

經過 地 鈴鹿郡龜山町大字安知本、同郡晝生村、津龜山線重用(鈴鹿郡晝生村大字下ノ庄ニ於テ分岐)河藝郡天名村大字御園、同郡榮村大字五親經由、國道一號線重用

終 點 鈴鹿郡野登村

高宮椋本線 安濃郡高宮村ヨリ河藝郡椋本村ニ達スル路線

起 點 安濃郡高宮村

經過 地 安濃郡辰水村大字高座原、同郡草生村、同郡安西村大字小野平經由、椋本津線重用

終 點 河藝郡椋本村

辰水新町線 安濃郡辰水村ヨリ同郡新町ニ達スル路線

起 點 安濃郡辰水村

經過 地 安濃郡片田村大字長谷經由、津奈良線重用

終 點 安濃郡新町

家所新町線 安濃郡辰水村大字家所ヨリ同郡新町ニ達スル路線

起 點 安濃郡辰水村大字家所

經過 地 安濃郡村主村、同郡樺形村、津奈良線重用

終 點 安濃郡新町

草生新町線 安濃郡草生村ヨリ同郡新町ニ達スル路線

起 點 安濃郡草生村ヨリ同郡新町ニ達スル路線

經過 地 安濃郡草生村ヨリ同郡新町ニ達スル路線

終 點 安濃郡新町

終 點 河藝郡白子町

合川白塚線 河藝郡合川村ヨリ同郡白塚村ニ達スル路線

起 點 河藝郡合川村

經過 地 河藝郡黒田村、上野一身田線、國道一號路線、白塚一身田線重用

終 點 河藝郡白塚村

合川一身田線 河藝郡合川村ヨリ同郡一身田町ニ達スル路線

起 點 河藝郡合川村

經過 地 河藝郡大里村大字山室、椋本一身田線重用

終 點 河藝郡一身田町

天名庄野線 河藝郡天名村ヨリ鈴鹿郡庄野村ニ達スル路線

起 點 河藝郡天名村

經過 地 河藝郡飯野村大字三日市(道伯經由、白子龜山線重用(河藝郡飯野村大字三日市ニ於テ分岐)國道二號線重用

終 點 河藝郡飯野村

第五編 土木 第二章 道路



第五編 土木 第二章 道路

起 點 安濃郡草生村

經過 地 安濃郡村主村大字岡南、椋本津線、津奈良線重用

終 點 安濃郡新町

家城新町線 一志郡家城村大字藤ヨリ安濃郡新町ニ達スル路線

起 點 一志郡家城村大字藤

經過 地 一志郡八ツ山村、津奈良線重用（一志郡倭村大字中ノ村ニ於テ分岐）一志郡榑原村、同郡稻葉村大字蠅田、上野久居線、津奈良線重用

終 點 安濃郡新町

松尾久居線 飯南郡松尾村ヨリ一志郡久居町ニ達スル路線

起 點 飯南郡松尾村

經過 地 飯南郡伊勢寺村、一志郡阿阪村、宮前六軒停車場線重用（一志郡豊地村大字下ノ庄ニ

於テ分岐）一志郡中川村大字天花寺、大三松阪線重用（一志郡中川村大字宮古ニ於テ分岐）一志郡川合村大字須賀瀬久居家城線重用

終 點 一志郡久居町

宇氣郷松阪線 一志郡宇郷村ヨリ飯南郡松阪町ニ達スル路線

起 點 一志郡宇氣郷村

經過 地 一志郡宇氣郷村大字柚原、飯南郡大河内村大字坂内、津和歌山線重用

終 點 飯南郡松阪町

御杖名張線 奈良縣宇陀郡御杖村ヨリ名賀郡名張町ニ達スル路線

起 點 奈良縣界一志郡太生村

經過 地 名賀郡國津村、同郡比奈知村、山粕名張線重用

終 點 名賀郡名張町

川俣瀧原線 飯南郡川俣村ヨリ度會郡瀧原村ニ達スル路線

起 點 飯南郡川俣村

經過 地 多氣郡萩原村大字栗谷、三瀬谷引本線重用（多氣郡萩原村大字江島ニ於テ分岐）三瀬谷村、地藏越經由、津水ノ本線重用

終 點 度會郡瀧原村

伊勢寺松阪線 飯南郡伊勢寺村大字岩内ヨリ同郡松阪町ニ達スル路線

起 點 飯南郡伊勢寺村大字岩内

經過 地 飯南郡松江村、國道一號線

終 點 飯南郡松阪町

五ヶ谷大石停車場線 多氣郡五ヶ谷村ヨリ大石停車場ニ達スル路線

起 點 多氣郡五ヶ谷村

經過 地 多氣郡五ヶ谷村大字色太、彌見宇治山田線重用（多氣郡五ヶ谷村大字古江ニ於テ分岐）

第五編 土木 第二章 道路

多氣郡五ヶ谷村大字片野經由、津和歌山線重用

終 點 大石停車場

川添相可停車場線 多氣郡川添村ヨリ相可停車場ニ達スル路線

起 點 多氣郡川添村

經過 地 多氣郡川添村大字柳原、彌見宇治山田線重用（多氣郡西外城田村大字野中ニ於テ分岐）多氣郡相可町大字東池上經由

終 點 相可停車場

七保宇治山田線 度會郡七保村ヨリ宇治山田市ニ達スル路線

起 點 度會郡七保村

經過 地 度會郡中川村、同郡内城田村、吉津田丸線重用（度會郡内城田村大字柳橋ニ於テ分岐）度會郡下外城田村、彌見宇治山田線重用

終 點 宇治山田市

七保瀧原線 度會郡七保村ヨリ同郡瀧原村ニ達スル路線

起 點 度會郡七保村

經過地 津木本線重用

終點 度會郡澁原村

種原宇治山田線 度會郡種原村ヨリ宇治山田市ニ達スル路線

起點 度會郡種原村

經過地 度會郡沼木村大字横輪、宇治山田吉津線重用

終點 宇治山田市

長岡鳥羽線 志摩郡長岡村ヨリ同郡鳥羽町ニ達スル路線

起點 志摩郡長岡村

經過地 鳥羽的矢線重用

終點 志摩郡鳥羽町

御座和具線 志摩郡御座村ヨリ同郡和具村ニ達スル路線

起點 志摩郡御座村

經過地 志摩郡越賀村

終點 志摩郡和具村

玉瀧東柘植線 阿山郡玉瀧村(滋賀縣界)ヨリ同郡東柘植村ニ達スル路線

新堂停車場線 上野四日市線重用(阿山郡西柘植村大字新堂ニ於テ分岐) 阿山郡西柘植村大字御代

終點 阿山郡壬生野村(山田府中線)

山田上野線 阿山郡山田村ヨリ同郡上野町ニ達スル路線

起點 阿山郡山田村

經過地 阿山郡山田村大字出後、同郡友田村大字蓮池、同郡中瀬村、津奈良線重用

終點 阿山郡上野町

神戸名張線 名賀郡神戸村ヨリ同郡名張町ニ達スル路線

起點 名賀郡神戸村

經過地 名賀郡美濃波多村大字新田、上野名張線重用

終點 名賀郡名張町

花垣佐那古停車場線 名賀郡花垣村ヨリ依那古停車場ニ達スル路線

起點 名賀郡花垣村

第五編 土木 第二章 道路

經過地 滋賀縣界阿山郡玉瀧村

起點 阿山郡玉瀧村大字横山、上野寺庄線重用(阿山郡韮田村大字西湯舟ニ於テ分岐) 阿山郡韮田村大字東湯舟、柘植草津線重用

終點 阿山郡東柘植村

山田府中線 阿山郡山田村ヨリ同郡府中村ニ達スル路線

起點 阿山郡山田村

經過地 阿山郡山田村大字甲野、同郡壬生野村、上野四日市線重用

終點 阿山郡府中村

新堂停車場新堂線 新堂停車場ヨリ府縣道上野四日市線ニ達スル路線

起點 新堂停車場

經過地 阿山郡西柘植村(府縣道上野四日市線) 新堂停車場ヨリ山田府中線ニ達スル路線

終點 新堂停車場

名賀郡花垣村大字予野、上野名張線重用(名賀郡古山村大字菖蒲池ニ於テ分岐) 名賀郡依那古村大字森寺、八知上野線重用(名賀郡依那古村大字沖ニ於テ分岐)

終點 依那古停車場

阿波加太停車場線 阿山郡阿波村ヨリ加太停車場ニ達スル路線

起點 阿山郡阿波村

經過地 鈴鹿郡加太村字中在家、上野四日市線重用(鈴鹿郡加太村字市場ニ於テ分岐)

終點 加太停車場

布引阿保線 阿山郡布引村ヨリ名賀郡阿保町ニ達スル路線

起點 阿山郡布引村

經過地 名賀郡上津村大字勝地、家城上野線津名張線重用

終點 名賀郡阿保町

美旗停車場美濃波多線 美旗停車場ヨリ神戸名張線ニ達スル路線

起點 美旗停車場

終點 美旗停車場

百十四

百十五

起 點 美旗停車場

經過地 ○

終 點 名賀郡美濃波多村(神戸名張線)

種生美旗停車場 名賀郡種生村ヨリ美旗停車場ニ達スル路線

起 點 名賀郡種生村

經過地 名賀郡比奈知村大字瀧ノ原、同郡美濃波多村大字上小波田

終 點 美旗停車場

都介野名張線 奈良縣界山邊郡都介野ヨリ名賀郡名張町ニ達スル路線

起 點 奈良縣界名賀郡錦生村

經過地 笠間峠經由、名張初瀬線重用

終 點 名賀郡名張町

大杉谷長島線 多氣郡大杉谷村ヨリ北牟婁郡長島町ニ達スル路線

起 點 多氣郡大杉谷村

經過地 野又峠經由、北牟婁郡赤羽村、津木本線重用

終 點 北牟婁郡長島町

五郷木本線 南牟婁郡五郷村ヨリ同郡木本町ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡五郷村

經過地 南牟婁郡五郷村大字桃崎字湯谷、同郡神川村大字長原、同郡有井村、木本新宮線重用

終 點 南牟婁郡木本町

神川阿田和線 南牟婁郡神川村ヨリ同郡阿田和村ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡神川村

經過地 南牟婁郡神川村大字長井、同郡西山村大字長尾、入鹿木本港線、木本新宮線重用

終 點 南牟婁郡阿田和村

尾呂志新宮線 南牟婁郡尾呂志村ヨリ和歌山縣東牟婁郡新宮町ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡尾呂志村

經過地 河藝郡箕田村大字林崎經由、國道一號線重用

終 點 河藝郡神戶町

明合一身田線 安濃郡明合村ヨリ河藝郡一身田町ニ達スル路線

起 點 安濃郡明合村

經過地 安濃郡安濃村大字安濃、椋本一身田線重用

終 點 河藝郡一身田町

相可櫛田線 多氣郡相可町ヨリ飯南郡櫛田村ニ達スル路線

起 點 多氣郡相可町

經過地 津木本線重用(飯南郡射和村大字射和ニ於テ分岐)飯南郡櫛田村大字山添、國道一號線重用

終 點 飯南郡櫛田村

野登關線 鈴鹿郡野登村ヨリ同郡關町ニ達スル路線

起 點 飯南郡櫛田村

經過地 飯南郡射和村大字射和ニ於テ分岐)飯南郡櫛田村大字山添、國道一號線重用

終 點 飯南郡櫛田村

尾呂志木本線 南牟婁郡尾呂志村ヨリ同郡木本町ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡尾呂志村

經過地 南牟婁郡尾呂志村大字上野、同郡神志山村、同郡有井村、木本新宮線重用

終 點 南牟婁郡木本町

箕田神戶線 河藝郡箕田村ヨリ同郡神戶町ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡飛鳥村大字佐渡

經過地 津木本線重用(南牟婁郡飛鳥村大字小坂ニ於テ分岐)新鹿木本線重用

終 點 和歌山縣界南牟婁郡御船村

佐渡新鹿線 南牟婁郡飛鳥村大字佐渡ヨリ同郡新鹿村ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡飛鳥村大字佐渡

經過地 津木本線重用(南牟婁郡飛鳥村大字小坂ニ於テ分岐)新鹿木本線重用

終 點 南牟婁郡新鹿村

尾呂志木本線 南牟婁郡尾呂志村ヨリ同郡木本町ニ達スル路線

起 點 南牟婁郡尾呂志村

經過地 南牟婁郡尾呂志村大字上野、同郡神志山村、同郡有井村、木本新宮線重用

第五編 土木 第二章 道路

起 點 鈴鹿郡野登村  
經過地 鈴鹿郡白川村大字白木經由  
終 點 鈴鹿郡關町

時阿下喜線 岐阜縣養老郡時村ヨリ員辨郡阿下喜村ニ達スル路線

起 點 岐阜縣界員辨郡中里村

經過地 員辨郡中里村大字鼎字深尾、上相場、大泉

原關ヶ原重用

終 點 員辨郡阿下喜村

(大正十二年八月二十四日)  
告示第三百二十九號

府縣道八知上野線中名賀郡神戶村地内ニ於ケル路線ヲ左ノ通變更ス

舊路線

名賀郡神戶村大字古郡字森隣接民有地番二八一番地  
先ヨリ同村同大字字北川隣接民有地番五六二番ノ一  
地先ニ至ル

新路線

名賀郡神戶村大字古郡字隣接民有地番二八一番ノ地

變更ス

舊路線

飯南郡大石村大字大石字北向田隣接民有地番一四五  
番地先ヨリ同村同大字字高切隣接民有地番二四六番  
ノ地先ヲ經テ同村同大字同字隣接民有地地番二四一  
番地先ニ至ル

新路線

飯南郡大石村大字大石字北向田隣接民有地番一四五  
番地先ヨリ同村同大字字久保田一九九番地先ヲ經テ  
同村同大字同字二〇四番ノ一地先ニ至ル

(大正十三年三月十一日)  
告示第二百二十七號

府縣道白子四日市港線中四日市市大字末廣町地内ニ於ケル路線ヲ左ノ通變更ス

舊路線

四日市市大字濱田字南起官第二七七五番ノ二ヨリ同  
市大字末廣町字末廣町二三ノ一ヲ經テ同市大字末廣  
町字末廣町一三ノ二ニ至ル

新路線

四日市市大字濱田字南起官第二七七五番ノ二ヨリ同  
大字同字官第四四三〇番ノ二ヲ經テ同市大字末廣町

第五編 土木 第二章 道路

先ヨリ同村同大字同字隣接民有地番五三六番ノ地先  
ヲ經テ同村同大字字北川隣接民有地番五六二番ノ一  
地先ニ至ル

(大正十二年十二月十八日)  
告示第四百六十八號

府縣道宇治山田波切線中志摩郡波切村地内ニ於ケル路線ヲ左ノ通變更ス

舊路線

志摩郡波切村字小阪隣接民有地番一、一八八番地先  
ヨリ同村字葉直隣接民有地番一、〇七二番ノ六ノ地  
先ヲ經テ同村字中村隣接民有地番一七七番地先ニ至  
ル

新路線

志摩郡波切村字小阪隣接民有地番一、一八八番地先  
ヨリ同村字切畑隣接民有地番九二八番ノ一地先ヲ經  
テ同村字中村隣接民有地番一七四番ノ一地先ニ至ル

(大正十二年十二月二十五日)  
告示第四百八十七號

府縣道津和歌山線中飯南郡大石村地内ニ於ケル路線ヲ左ノ通

字末廣町一三ノ二ニ至ル

(大正十三年三月二十二日)  
告示第四百四十二號

府縣道大泉原關ヶ原線中員辨郡笠田村大字上笠田地内ニ於ケル路線ヲ左ノ通變更ス

舊路線

員辨郡笠田村大字上笠田字谷垣内隣接民有地番一九  
〇四番地先ヨリ同村同大字字山垣内隣接民有地番一  
九八二番地先ヲ經テ同村同大字同字隣接民有地番一  
九八三番地先ニ至ル

新路線

員辨郡笠田村大字上笠田字谷垣内隣接民有地番一九  
〇四番地先ヨリ同村同大字字山垣内隣接民有地番一  
九八三番地先ニ至ル

(大正十三年四月二十五日)  
告示第二百十六號

府縣道宮前六軒停車場線中一志郡中原村地内ニ於ケル路線ヲ左ノ通變更ス

第五編 土木 第二章 道路

**舊路線** 一志郡中原村大字須賀領字龍王野隣接民有地番一、二五五番地先ヨリ同村同大字字流田隣接民有地番二九四番同村大字津屋城字水池隣接民有地番一、二〇四番同字隣接民有地番一、一九九番同大字字大門隣接民有地番七七二番同字隣接民有地番八一六番同大字字沙入隣接民有地番八四九番同大字字横堤隣接民有地番一五三ノ一番地先ヲ經テ同村大字津屋城字横堤隣接民有地番一六七番地先ニ至ル

**新路線** 一志郡中原村大字須賀領字龍王野隣接民有地番一、二五五番地先ヨリ同村大字津屋城字二本松隣接民有地番一、二一四番同大字字水池隣接民有地番一、二〇番同大字字大門隣接民有地番七七五番地先ヲ經テ同村同大字字横堤隣接民有地番一六七番地先ニ至ル

(大正十四年二月十七日)  
(告示第六十號)

府縣道津名張線中名賀郡上津村大字下川原地内ニ於ケル路線

道路ノ敷地ヲ以テ道路ノ區域ト變更ス

(大正十四年四月二十四日)  
(告示第八十五號)

府縣道八知上野線中名賀郡阿保町大字阿保字法花寺ヨリ同郡神戸村大字比土字中谷ニ至ル區間ハ大正十三年十二月二十日竣功シタル改築道路ヲ以テ八知上野線ト變更ス

(大正十四年四月二十四日)  
(告示第八十六號)

府縣道和具波切線中船越、波切村地内ニ於ケル路線ヲ左ノ通變更ス

**舊路線** 志摩郡船越村字堂ノ上ヨリ同村字小田ヲ經テ同郡波切村字道筋ニ至ル

**新路線** 志摩郡船越村字堂ノ上ヨリ同郡波切村字平方ヲ經テ同村字道筋ニ至ル

(告示第二百二十八號)

府縣道上野名張線中名賀郡古山村大字菖蒲池ヨリ同郡薦原村

第五編 土木 第二章 道路

ヲ左ノ通變更ス

**舊路線** 名賀郡上津村大字下川原字六十刈隣接民有地番六四三番地先ヨリ同村同大字同字隣接民有地番六四四番地先ヲ經テ同村同大字同字隣接民有地番六六一番地先ニ至ル

**新路線** 名賀郡上津村大字下川原字六十刈隣接民有地番六四三番地先ヨリ同村同大字同字隣接民有地番六四五番ノ二地先ヲ經テ同村同大字同字隣接民有地番六六一番地先ニ至ル

(大正十四年三月三日)  
(告示第七十七號)

一志郡波瀨村字井ノ口地内府縣道下ノ川波瀨線中同村同字隣接民有地番五千八百十九番地先ヨリ同村同字隣接民有地番五千八百二十二番地先ヲ經テ同村同字隣接民有地番五千八百四十二番地先ニ至ル道路ノ區域ヲ同村同字隣接民有地番五千八百三十九番地先ヨリ同村同字隣接民有地番五千八百三十三番地先ヲ經テ同村同字隣接民有地番五千八百四十二番地先ニ至ル

大字西田原ニ至ル區間ハ大正十四年三月六日竣功シタル改築道路ヲ以テ上野名張線ト變更ス

(大正十四年五月二十二日)  
(告示第二百三十號)

府縣道桑名町停車場線ヲ左ノ通變更ス

**舊路線** 桑名郡桑名町ヨリ同町大字桑名村字五十三番ヲ經テ桑名町停車場ニ至ル

**新路線** 桑名郡桑名町ヨリ同町大字桑名村字御防田ヲ經テ同郡大山田村大字桑名字御防田隣接民有地番四一四番地タル桑名町停車場ニ至ル

●道路供用廢止

(大正十四年六月二十三日)  
(告示第二百八十五號)

左記道路ノ供用ヲ廢止ス

郡	飯南宮前	村	大字	字	地番	地目	全反別	變	更	後
同	同	同	同	同	一、四六ノ二 一、四五九ノ二	同	同	新地番 一、四六ノ二	新地目 同	廢止反別 一、四六ノ二 一、四五九ノ二

同上ノ件

(大正十四年七月七日)  
(告示第三百十五號)

左記道路ノ供用ヲ廢止ス

郡	多氣津田	村	大字	字	地番	地目	元反別	廢	止	後
同	同	同	同	同	二五八ノ二	同	同	新地番 二五八ノ四 二五八ノ七	廢道敷 同	廢止反別 二五八ノ四 二五八ノ七

同上ノ件

(大正十四年八月四日)  
(告示第三百四十八號)

左記道路ノ供用ヲ廢止ス

郡	飯南宮前	村	大字	字	地番	地目	全反別	廢	止	後
同	同	同	同	同	一、四六ノ二 一、四五九ノ二	同	同	新地番 一、四六ノ二 一、四五九ノ二	廢道敷 同	廢止反別 一、四六ノ二 一、四五九ノ二

同上ノ件

(大正十四年八月四日)  
(告示第三百四十九號)

左記道路ノ供用ヲ廢止ス

郡	多氣川添	村	大字	字	地番	地目	元反別	廢	止	後
同	同	同	同	同	四八ノ二	同	同	新地番 二〇〇ノ六	廢道敷 同	廢止反別 二〇〇ノ六

### 府縣道路線追加認定

(大正十三年七月一日)  
告示第三百二十五號

府縣道ノ路線左ノ追加認定シ即日其ノ供用ヲ開始ス  
梅戸井多度線 員辨郡梅戸井村ヨリ桑名郡多度村ニ達スル

路線

起 點 員辨郡梅戸井村

經過 地 大泉原梅戸井線、桑名彦根線重用(員辨郡  
大泉村大字大泉ニ於テ分岐) 員辨郡大泉村  
大字東一色字暮明經由、多度北大社停車場  
線重用

終 點 桑名郡多度村

丹生大石停車場  
線 多氣郡丹生村ヨリ大石停車場ニ達スル路線  
起 點 多氣郡丹生村

經過 地 彌見宇治山田線重用(多氣郡丹生村字西沖  
ニ於テ分岐) 飯南郡茅廣江村大字上出江經  
由、津和歌山線重用

終 點 桑名郡多度村

終 點 大石停車場

鵜方濱島線 志摩郡鵜方村ヨリ同郡濱島町ニ達スル路線

起 點 志摩郡鵜方村

經過 地 宇治山田波切線重用(志摩郡鵜方村字坂ノ  
下ニ於テ分岐) 鳥羽濱島線重用

終 點 志摩郡濱島町

木曾岬桑名線 桑名郡木曾岬村ヨリ同郡桑名町ニ達スル路  
線

起 點 桑名郡木曾岬村

經過 地 桑名郡伊曾島村、同郡桑名町字吉之丸、字  
三之丸經由、國道一號路線專用

終 點 桑名郡桑名町

美濃波多名張線 名賀郡美濃波多村ヨリ同郡名張町ニ達スル  
路線

起 點 名賀郡美濃波多村

經過 地 名賀郡萬原村、同郡藏持村大字大屋戸、津  
名張線重用

終 點 名賀郡名張町

(大正十四年四月十日)  
告示第六十號

府縣道ノ路線左ノ追加認定シ即日其ノ供用ヲ開始ス  
龍ノ谷尾鷲線 奈良、吉野郡上北山村大字白川字龍ノ谷ヨ  
リ三重縣北牟婁郡尾鷲町ニ達スル路線

起 點 奈良縣界北牟婁郡尾鷲町

經過 地 北牟婁郡尾鷲町大字中井浦字坂下經由

終 點 北牟婁郡尾鷲町

### 府縣道ノ區域

(大正九年四月一日)  
告示第四百四十八號

府縣道ノ區域ハ其ノ敷地ヲ以テ道路ノ區域ト定ム

### 府縣道路ノ供用開始期日

(大正九年四月一日)  
告示第四百四十九號

本日三重縣告示第四百四十七號ヲ以テ認定ヲ爲シタル府縣道路

第五編 土木 第二章 道路

線ニ對シテハ即日ヨリ道路ノ供用ヲ開始ス

### 國道及府縣道ノ附屬物タル橋梁

並渡船場ニ對シ其ノ供用開始ノ

件 (大正九年四月二十三日)  
告示第八十四號

國道及府縣道ノ附屬物タル橋梁並渡船場ニ對シテハ本月一日  
ヨリ其ノ供用ヲ開始ス

### 國道及府縣道ノ附屬物タル橋梁

並渡船場ノ區域

(大正九年四月二十三日)  
告示第八十五號

國道及府縣道ノ附屬物タル橋梁並渡船場ハ各造營物ノ區域ヲ  
以テ其ノ區域ト定ム

● 國道ノ區域並其ノ供用開始期日

(大正九年四月二十三日)  
(告示第百八十六號)

國道ノ區域並其ノ供用開始ノ期日ニ付テハ本月一日三重縣告示第百四十八號及同第百四十九號ニ定ムル所ニ據ル

● 市町村ニ於ケル道路元標ノ位置

(大正九年四月一日)  
(告示第百五十一號)

市町村ニ於ケル道路元標ノ位置ハ左記調書記載ノ道路ノ中央ト定ム

道路元標位置調書

郡市名	町村名	大字名	字名	隣接民有地地番	建設地點	備考
桑名	桑名町	桑名	吉津屋	一、三六四番	國道	桑名郵便局前
同	赤須賀村	獵師	口ノ割	一四一番ノ二	郡道	役場前
同	城南村	和泉	中具戸	二六九番ノ二	郡道	役場前
同	桑部村	桑部	三反田	五九一番	郡道	小學校前
同	在夏村	蓮花寺	小平太繩	一七〇番ノ二	郡道	小學校前
同	益生村	江場	北川	一、八八六番	郡道	役場前
同	大山田村	北別所	西下	一、一七九番ノ二	郡道	役場前
同	深谷村	下深谷部	北川原	四、〇八二番ノ二	府縣道	小學校前
野代村	力	尾	藥師	一、三八一番	郡道	役場前
古濱村	古	野	南條	一、〇七四番	府縣道	法泉寺前
古美村	多	宮	地	二七番	府縣道	役場前
七取村	香	取	元割	一八五番ノ一	郡道	役場前
楠村	下坂	手	一反	七九一番ノ一	郡道	役場前
長島村	長島	中	町	一〇四番ノ三	國道	小學校北辻
木曾岬村	西對海	下ノ	切	三七六番	郡道	役場前
伊曾島村	福吉	二ノ	割	三三一番ノ一	郡道	役場前
久米村	志知	平	群澤	三、六八一番	郡道	役場前
大長村	長	前	浪	二四〇番ノ五	府縣道	役場前
梅戸井村	南	金	井戸	九一〇番	郡道	役場前
三里村	平	塚	明	五一八番ノ一	郡道	役場前
丹生川村	丹生川	保	西	一、四七三番	郡道	役場前
石樽村	石樽	南	八幡	四八九番	府縣道	役場東南角
治田村	東	南	野	三二番ノ一	郡道	
東藤原村	石川	砂川	原	九六七番	郡道	









